

令和5年度
足立区ひとり親家庭アンケート調査
(豆の木アンケート調査)

報 告 書

令和6年3月



目 次

第1章 調査概要	3
1 調査目的	3
2 調査方法等	3
3 回収状況等	3
4 調査項目	4
5 報告書の見方	4
第2章 調査結果	7
1 世帯の基本情報について	7
(1) 世帯	7
(2) 年齢	8
(3) ひとり親になった際の年齢	9
(4) 最終学歴	10
(5) 子どもの人数	11
(6) 同居者の人数	12
(7) 住居形態	13
(8) 公営住宅への入居意向	14
(9) 公営住宅へ応募しない・入居を希望しない理由	15
2 養育費・親子交流（面会交流）等について	16
(1) ひとり親になった理由	16
(2) 養育費に関する相談相手（先）	17
(3) 養育費の受取り	19
(4) 養育費の取り決めの有無	20
(5) 養育費の取り決め方法	21
(6) 養育費の取り決めをしていない理由	22
(7) 親子交流（面会交流）に関する相談相手（先）	24
(8) 親子交流（面会交流）の有無	26
(9) 親子交流（面会交流）の頻度	27
(10) 親子交流（面会交流）の取り決めの有無	28
(11) 親子交流（面会交流）の取り決め方法	29
(12) 親子交流（面会交流）の取り決めをしていない理由	30
3 あなたの世帯の経済状況について	32
(1) 現在の暮らしの総合的な経済状況	32
(2) 生活費を賄うための経験	33
(3) 過去1年間、支払いができなかった費用	34
(4) 生活保護受給経験	35
(5) 世帯の年間収入	36

(6) 一ヶ月あたりの平均収入等.....	37
(7) 現在の預貯金額	41
(8) 一ヶ月あたりの平均支出等.....	42
4 就労状況等について	46
(1) 働き方の変化	46
(2) 現在の雇用形態	47
(3) 所有している資格	48
(4) 所有している資格が現在の仕事に役立っているか	49
(5) 就労収入を増やすために取得したい資格	50
(6) 現在の仕事・働き方を変えたいか	51
(7) 仕事や働き方を変えたい理由.....	52
(8) 現在、働いていない理由	53
(9) 今後も働く予定がない理由.....	54
5 お子さんのことについて	55
(1) 子育てについて感じること.....	55
(2) 子どもの進学（最終学歴）について.....	56
(3) 18歳以下の子どもが日常的に行っている家事等	57
(4) 18歳以下の子どもが日常的に行っている家事等の頻度	58
(5) 18歳以下の子どもが日常的に行っている家事等の1日あたりの時間.....	59
6 悩みごとや困ったことについて.....	60
(1) 悩みごと・困りごと	60
(2) 子を通じた親同士の交流の有無	62
(3) ひとり親の仲間や友人の有無.....	63
(4) ひとり親の仲間や友人がいない理由.....	64
(5) 悩みを相談した公的機関の窓口	65
(6) 参考にする情報媒体	67
(7) 利用したい支援やサービス.....	69
7 自由意見	71

第3章 調査票..... 75

第 1 章 調査概要

第1章 調査概要

1 調査目的

足立区では、ひとり親家庭を支える事業として、手当、医療費の助成に加え、就労支援や相談事業、交流事業を行っている。この取り組みをより充実、発展させていくためのひとり親家庭の状況等を把握し、基礎資料とすることを目的とする。

2 調査方法等

(1) 調査対象	児童育成手当(※)を受給している母子・父子世帯(6,069世帯)
(2) 調査方法	郵送配布、郵送・インターネット回収
(3) 調査期間	令和5年9月21日(木)～10月20日(金)

※ 児童育成手当について

下記のいずれかの状態にある18歳に到達した年度末までの児童を養育している父または母、または養育者に対して支給され、所得制限があります。

- ① 父母が婚姻解消
- ② 父または母が死亡
- ③ 父または母が重度の障がい
- ④ 父または母が生死不明
- ⑤ 母が婚姻によらないで出生した児童
- ⑥ 父または母が児童を引き続き1年以上遺棄している
- ⑦ 父または母が裁判所からのDV保護命令を受けた(平成24年8月から)
- ⑧ 父または母が法令により引き続き1年以上拘禁されている

3 回収状況等

発送数 (A)	宛先不明数 (B)	有効発送数 (C) = A - B	有効回収数 (D)	回収率 (E) = D / C
6,069件	32件	6,037件	1,327件	22.0%

4 調査項目

- (1) 世帯の基本情報について
- (2) 養育費・親子交流（面会交流）等について
- (3) あなたの世帯の経済状況について
- (4) 就労状況等について
- (5) お子さんのことについて
- (6) 悩みごとや困ったことについて

5 報告書の見方

- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。
- (5) 単純集計において、「無回答」が0件（0.0%）の場合、グラフ中では省略している。
- (6) クロス集計において、回答が0件（0.0%）の場合、グラフ中で省略している場合がある。
- (7) クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していない。よって「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合がある。また、分析軸となる項目の回答者数が少ない場合、グラフ化していない場合がある。
- (8) クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている。

ひとり親家庭のくらしに役立つ応援アプリ

ひとり親家庭向けの支援制度（助成、貸付、子育て等）や区内の施設をスマートフォンで検索できるほか、メールマガジンで配信しているイベント・講座開催情報などを掲載しています。



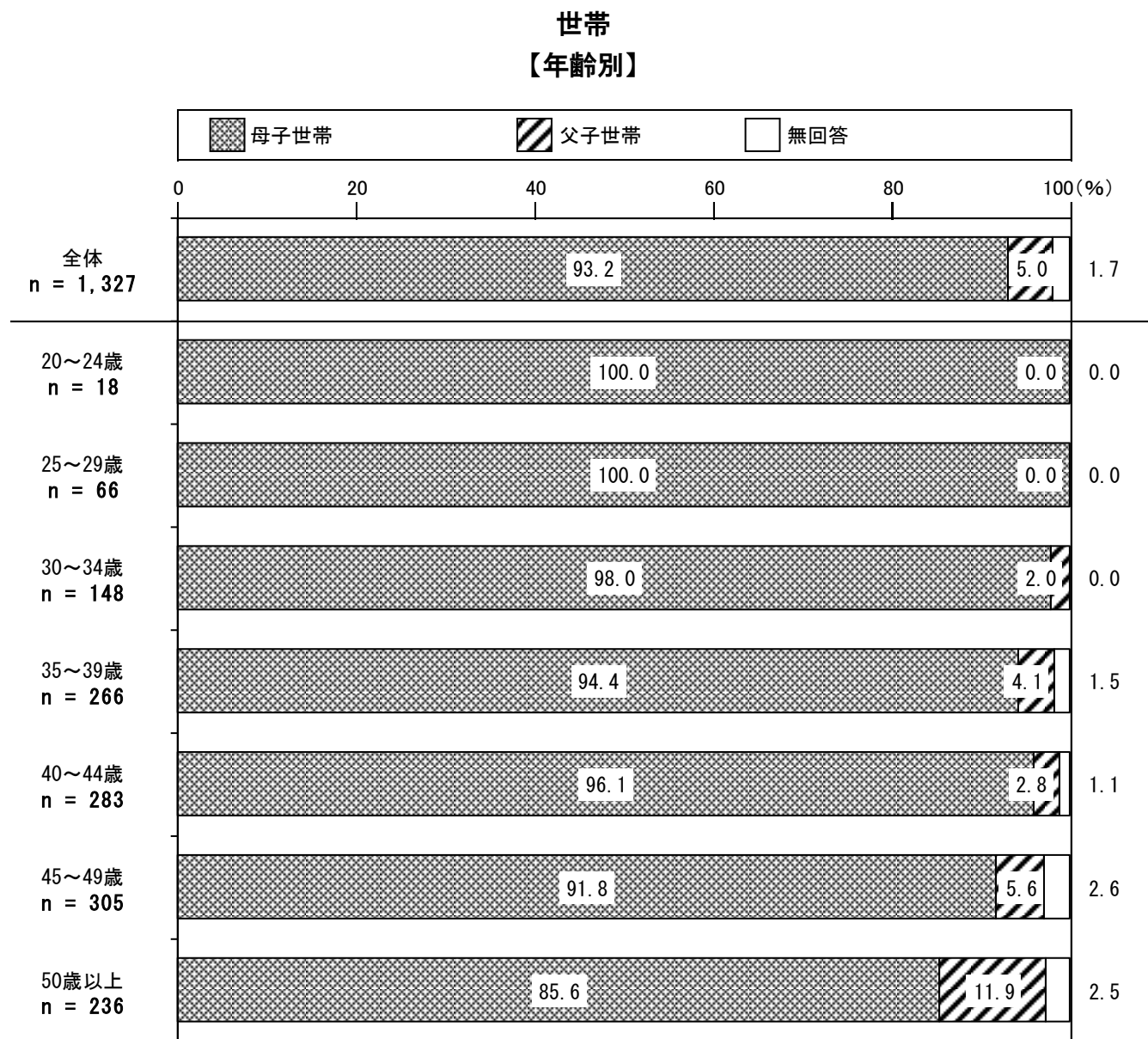
第 2 章 調査結果

第2章 調査結果

1 世帯の基本情報について

(1) 世帯

問1. あなたの世帯について教えてください（○は1つ）。

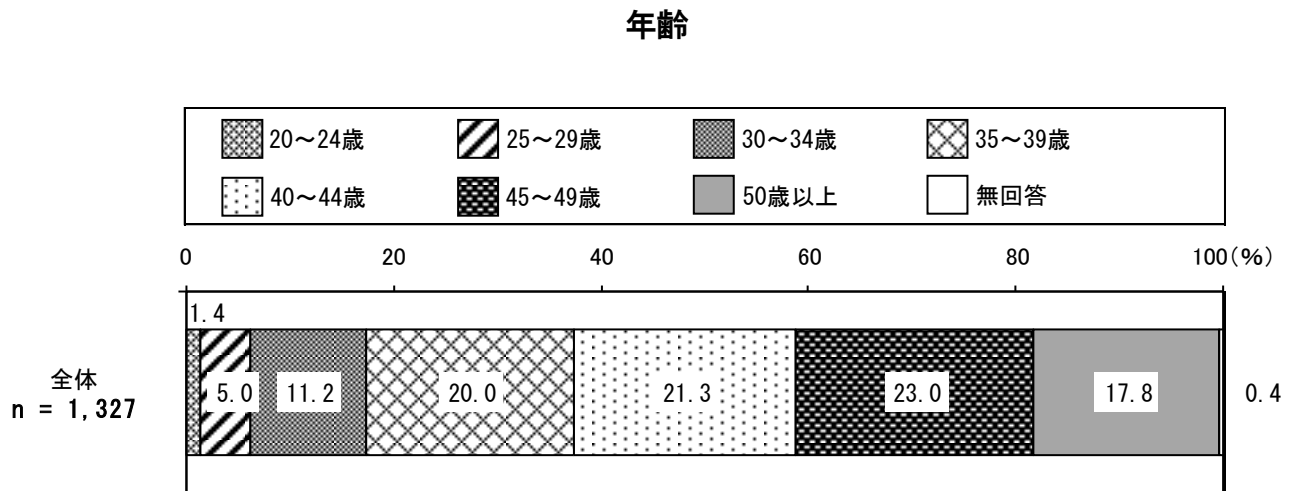


世帯は、「母子世帯」が93.2%、「父子世帯」が5.0%となっている。

年齢別にみると、「父子世帯」は【50歳以上】が11.9%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(2) 年齢

問2. あなたの現在の年齢を教えてください。

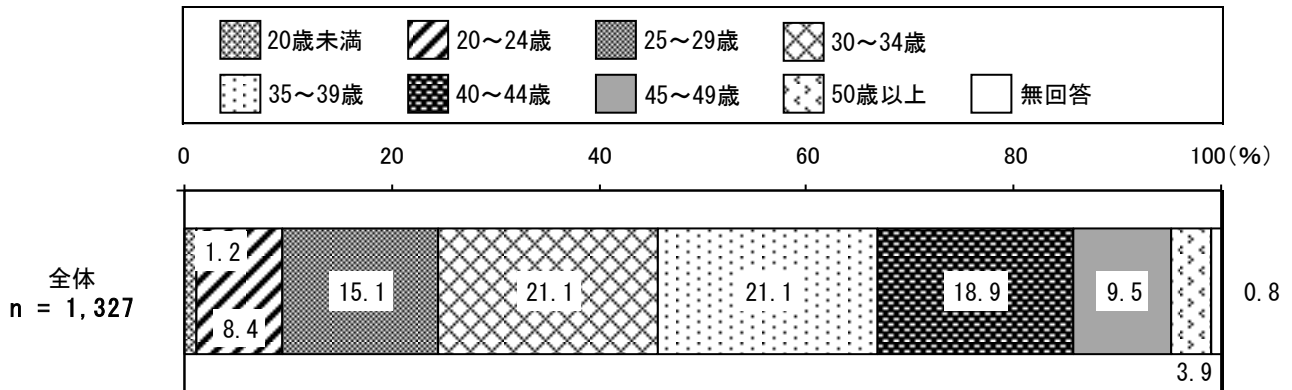


「45～49 歳」が 23.0%で最も高く、次いで「40～44 歳」が 21.3%、「35～39 歳」が 20.0%、「50 歳以上」が 17.8%、「30～34 歳」が 11.2%となっている。

(3) ひとり親になった際の年齢

問3. あなたがひとり親になった際の年齢を教えてください。

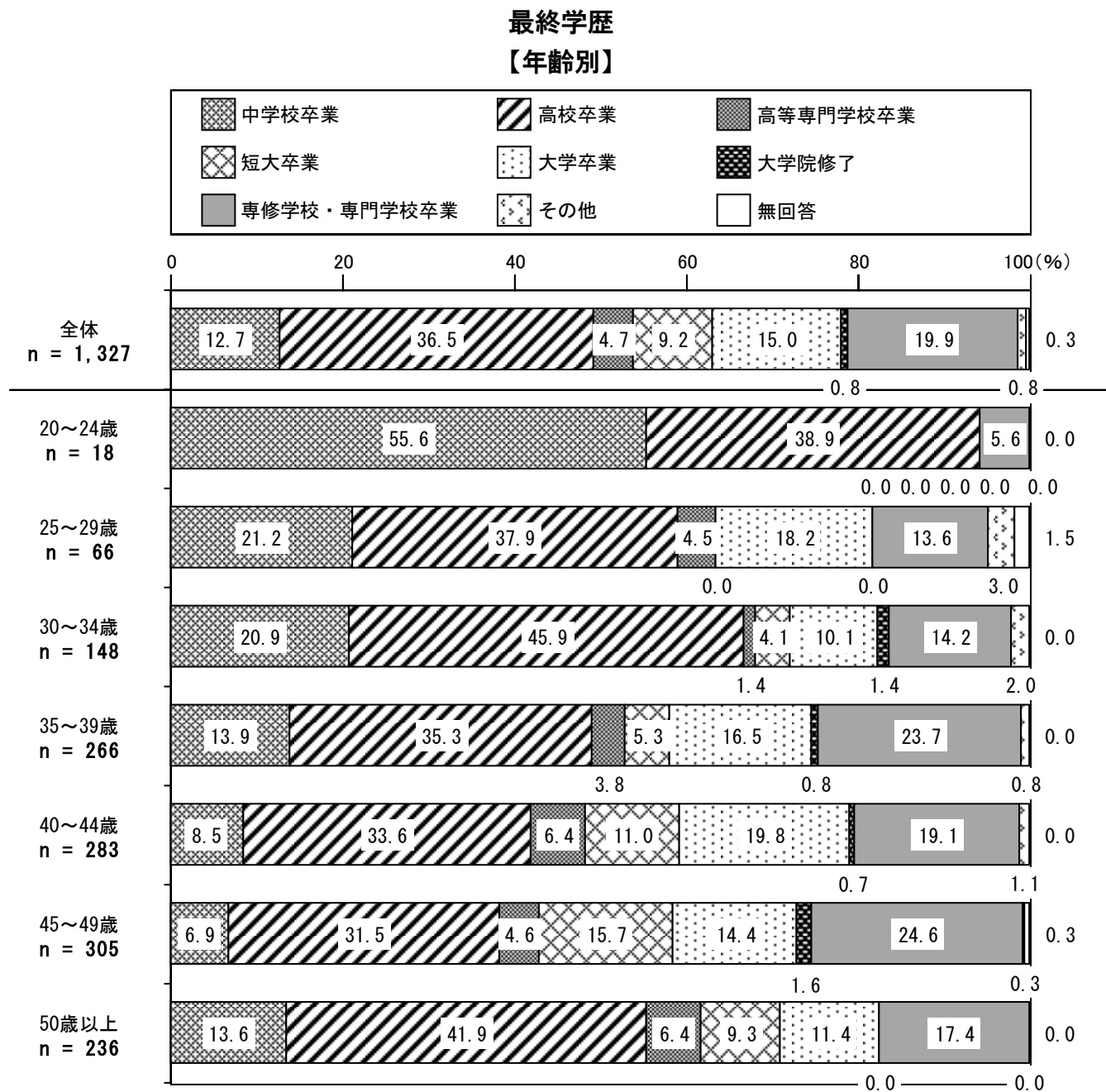
ひとり親になった際の年齢



「30～34 歳」及び「35～39 歳」がともに 21.1%で最も高く、次いで「40～44 歳」が 18.9%、「25～29 歳」が 15.1%となっている。

(4) 最終学歴

問4. あなたの最終学歴を教えてください（○は1つ）。



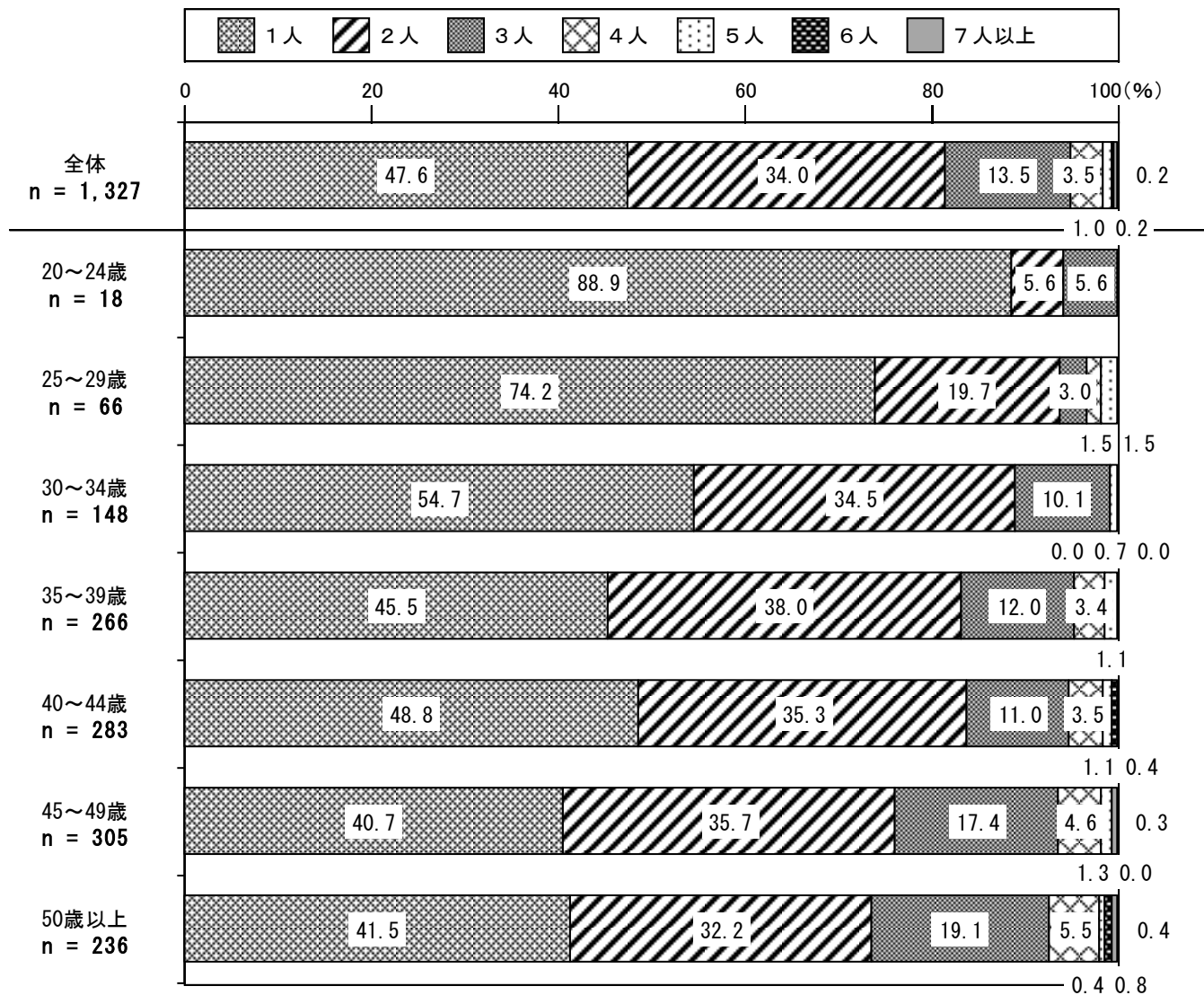
「高校卒業」が36.5%で最も高く、次いで「専修学校・専門学校卒業」が19.9%、「大学卒業」が15.0%、「中学校卒業」が12.7%となっている。

年齢別にみると、「高校卒業」は【30～34歳】が45.9%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(5) 子どもの人数

問5. あなたのお子さんについて、教えてください
(年齢の低い方から7人までお答えください)。

子どもの人数
【年齢別】

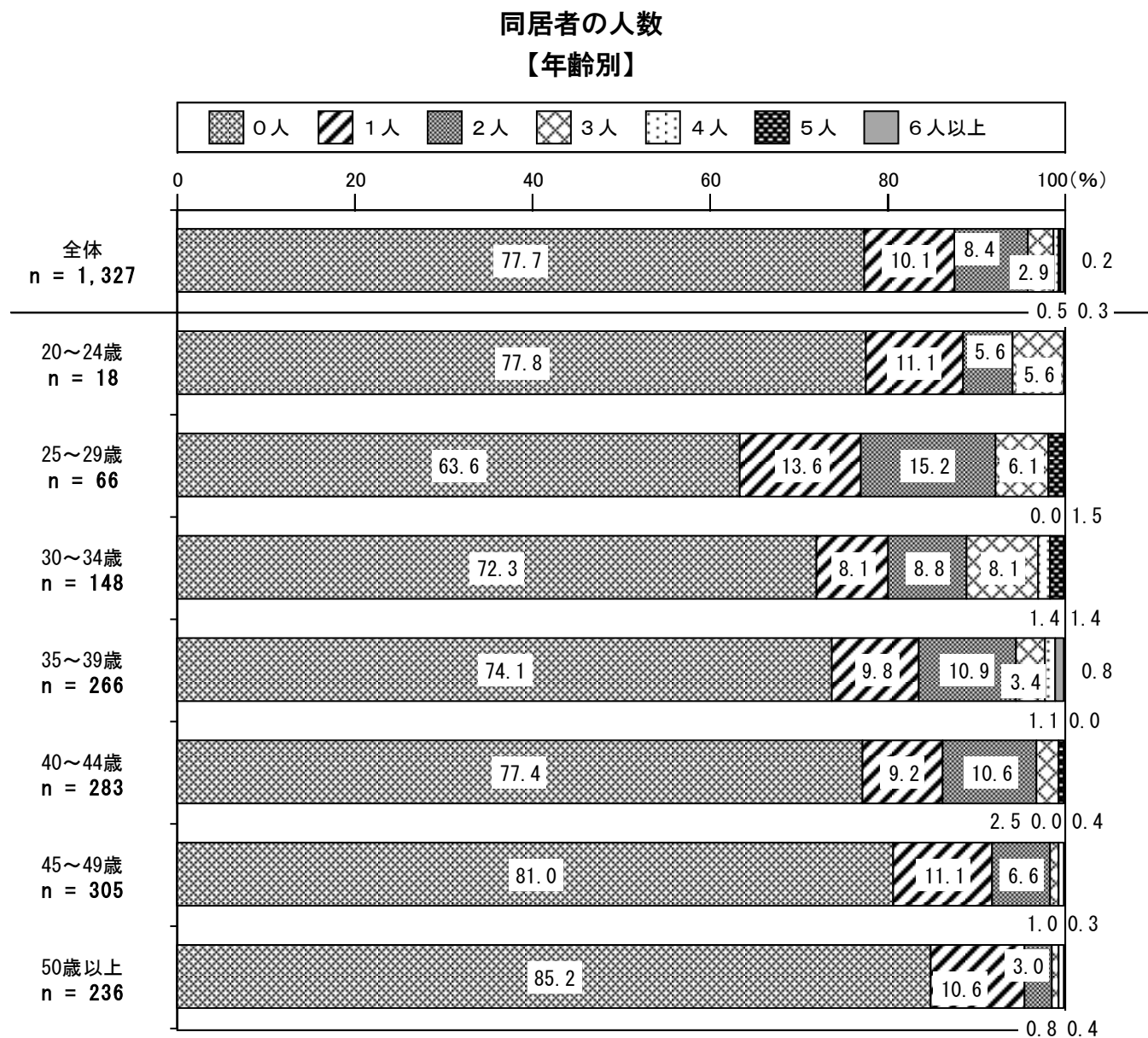


「1人」が47.6%で最も高く、次いで「2人」が34.0%となっている。以下「3人」が13.5%、「4人」が3.5%となっている。

年齢別にみると、「1人」は【25～29歳】が74.2%と、他の区分に比べ、高くなっている。「3人」は【50歳以上】が19.1%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(6) 同居者の人数

問6. 現在、お子さん以外に同居している方の続柄、就学・就労状況について、教えてください。

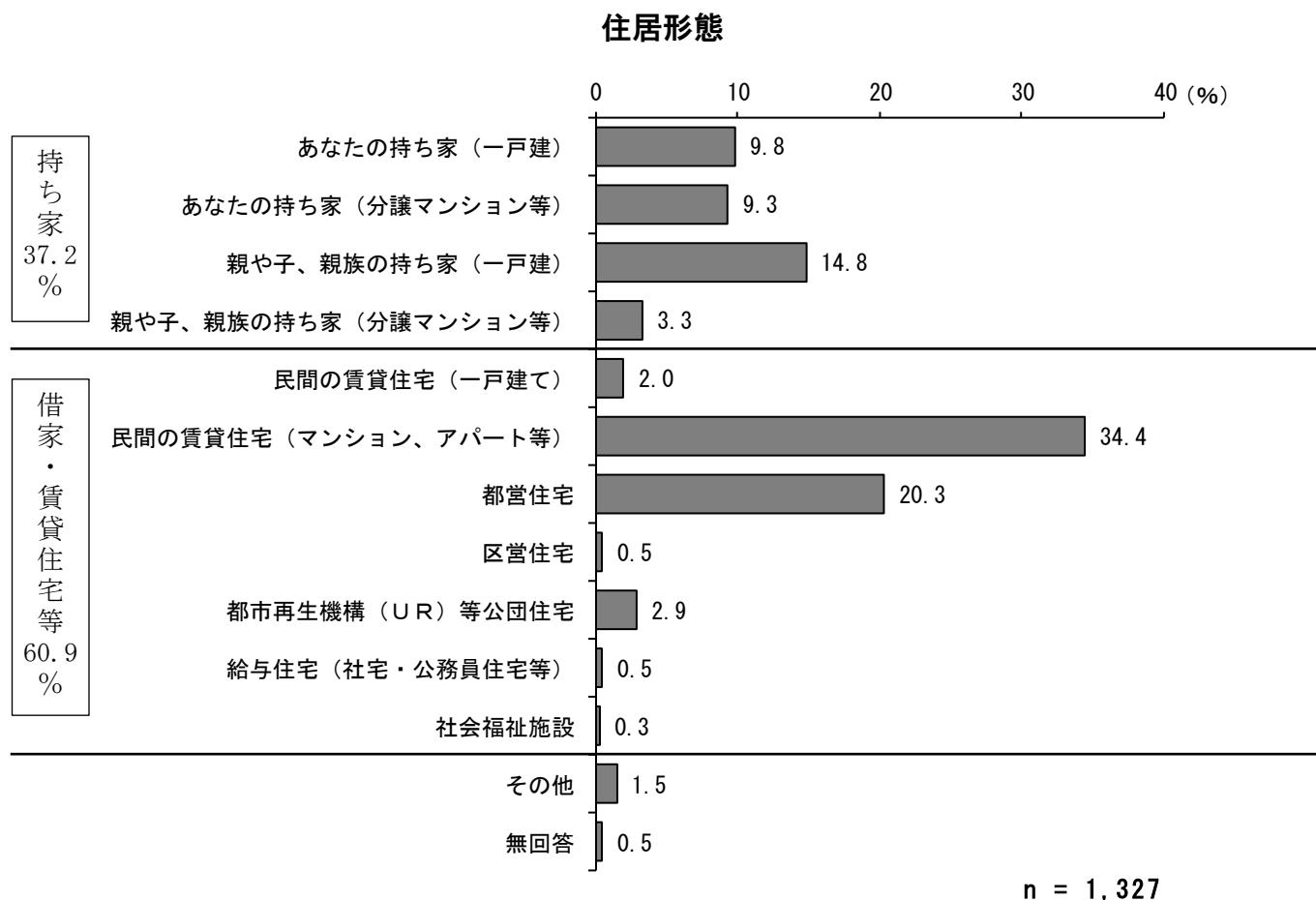


「0人」が77.7%となっている。

年齢別にみると、「2人」は【25～29歳】が15.2%と、他の区分に比べ、高くなっている。「0人」はおおむね年齢が高いほどその割合が高くなり、【50歳以上】が85.2%で最も高くなっている。

(7) 住居形態

問7. 現在の住居形態を教えてください（○は1つ）。



『持ち家』は 37.2%、『借家・賃貸住宅等』は 60.9%となっている。内訳を細分化していくと、「民間の賃貸住宅（マンション、アパート等）」が 34.4%で最も高く、次いで「都営住宅」が 20.3%、「親や子、親族の持ち家（一戸建）」が 14.8%、「あなたの持ち家（一戸建）」が 9.8%、「あなたの持ち家（分譲マンション等）」が 9.3%となっている。

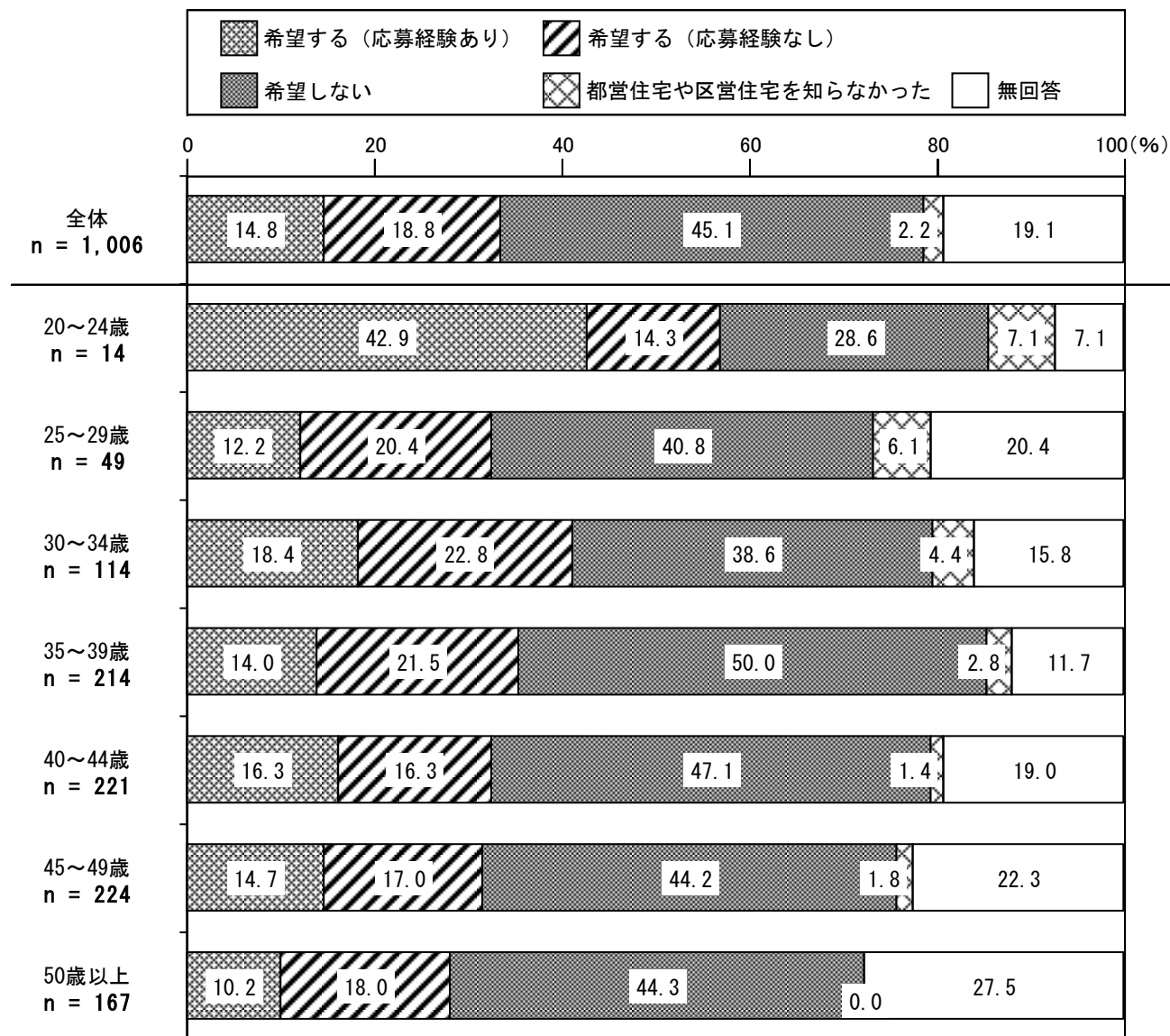
（８）公営住宅への入居意向

【問７で、「７．都営住宅」「８．区営住宅」「９．都市再生機構（ＵＲ）等公団住宅」以外の回答をした方にお伺いします】

問７－１．都営住宅・区営住宅・公団住宅への入居を希望しますか（○は１つ）。

公営住宅への入居意向

【年齢別】



「希望しない」が45.1%で最も高くなっている。

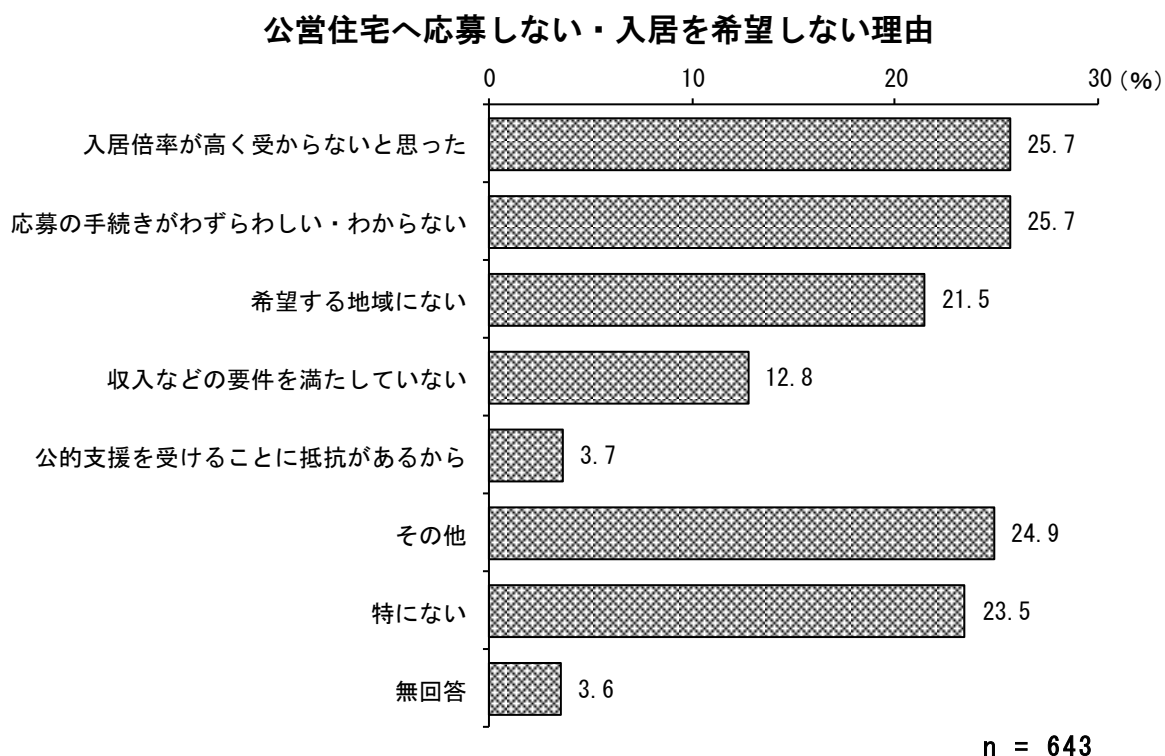
一方、「希望する（応募経験あり）」（14.8%）と「希望する（応募経験なし）」（18.8%）を合わせた『希望する』が33.6%となっている。

年齢別にみると、「希望しない」は【35～39歳】が50.0%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(9) 公営住宅へ応募しない・入居を希望しない理由

【問7-1で、「2. 希望する（応募経験なし）」または「3. 希望しない」と回答した方にお伺いします】

問7-2. 都営住宅・区営住宅・公団住宅へ応募しない・入居を希望しない理由を教えてください（〇はいくつでも）。



「入居倍率が高く受からないと思った」及び「応募の手続きがわずらわしい・わからない」がともに 25.7%で最も高く、次いで「希望する地域にない」が 21.5%となっている。一方、「特にない」が 23.5%となっている。

「その他」と回答した 160 人のうち、持ち家のためが 28.1%、環境が合わない等が 20.6%、家庭状況が合わない等が 18.8%、ペットがいるためが 12.5%となっている。

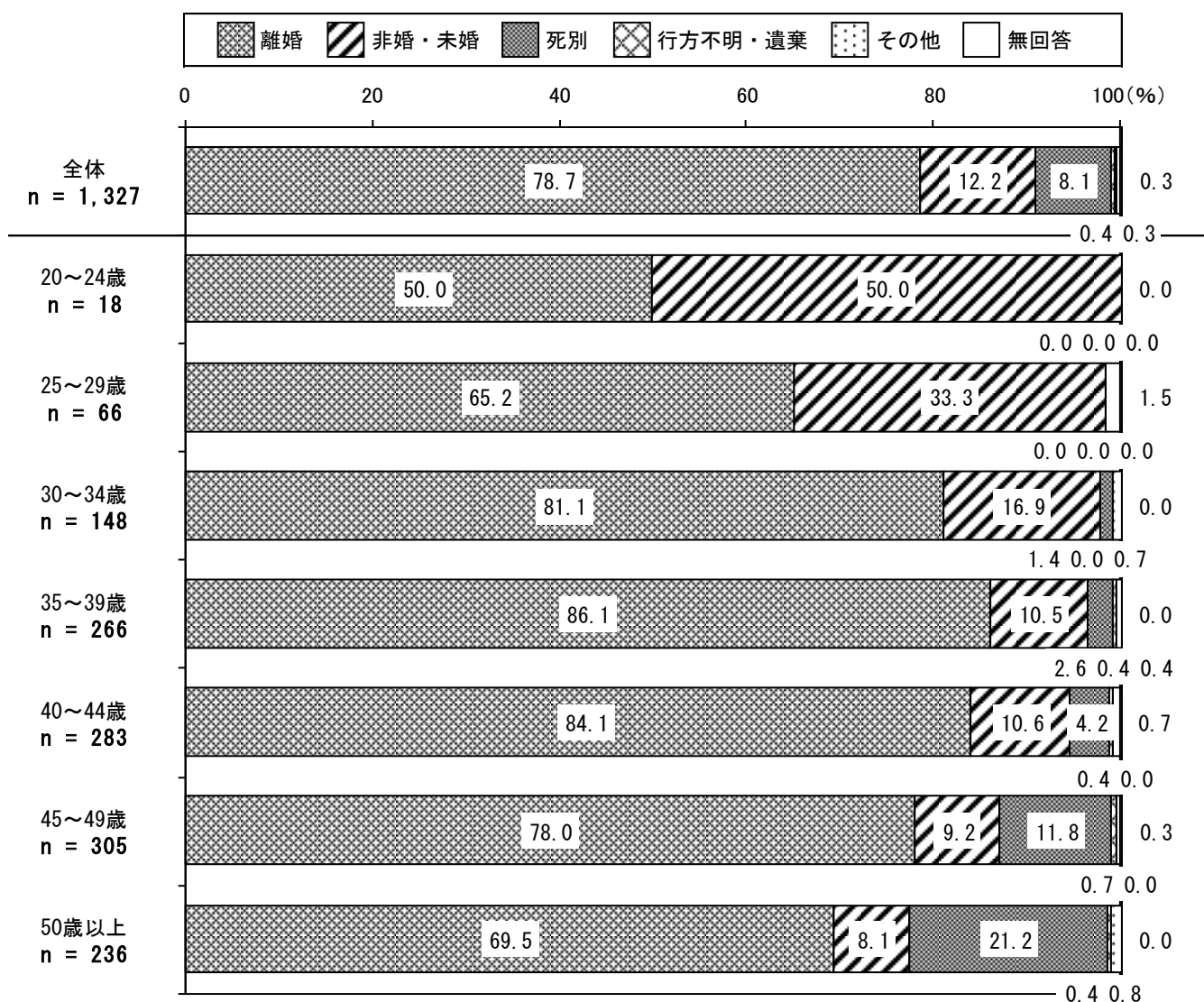
2 養育費・親子交流（面会交流）等について

（１）ひとり親になった理由

問 8. あなたがひとり親になった理由を教えてください（○は１つ）。

何度かご経験の場合、最後にひとり親になった理由を教えてください。

ひとり親になった理由
【年齢別】



「離婚」が78.7%で最も高くなっている。

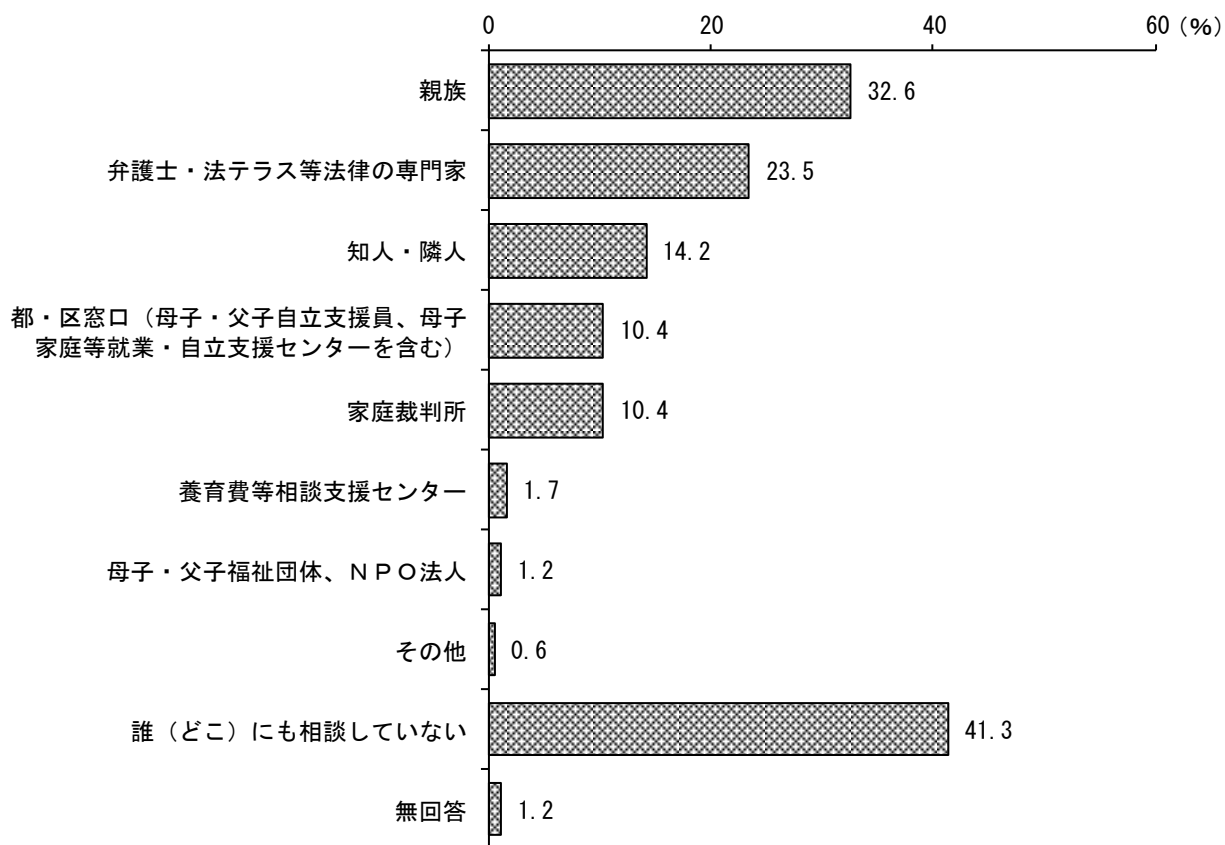
年齢別にみると、「離婚」は【35～39歳】が86.1%と、他の区分に比べ、高くなっている。「死別」は【50歳以上】が21.2%と、他の区分に比べ、高くなっている。

（２）養育費に関する相談相手（先）

【問８で、「１．離婚」または「２．非婚・未婚」と回答した方にお伺いします】

問９．あなたは、お子さんの養育費のことで、誰か（どこか）に相談しましたか
（〇はいくつでも）。

養育費に関する相談相手（先）

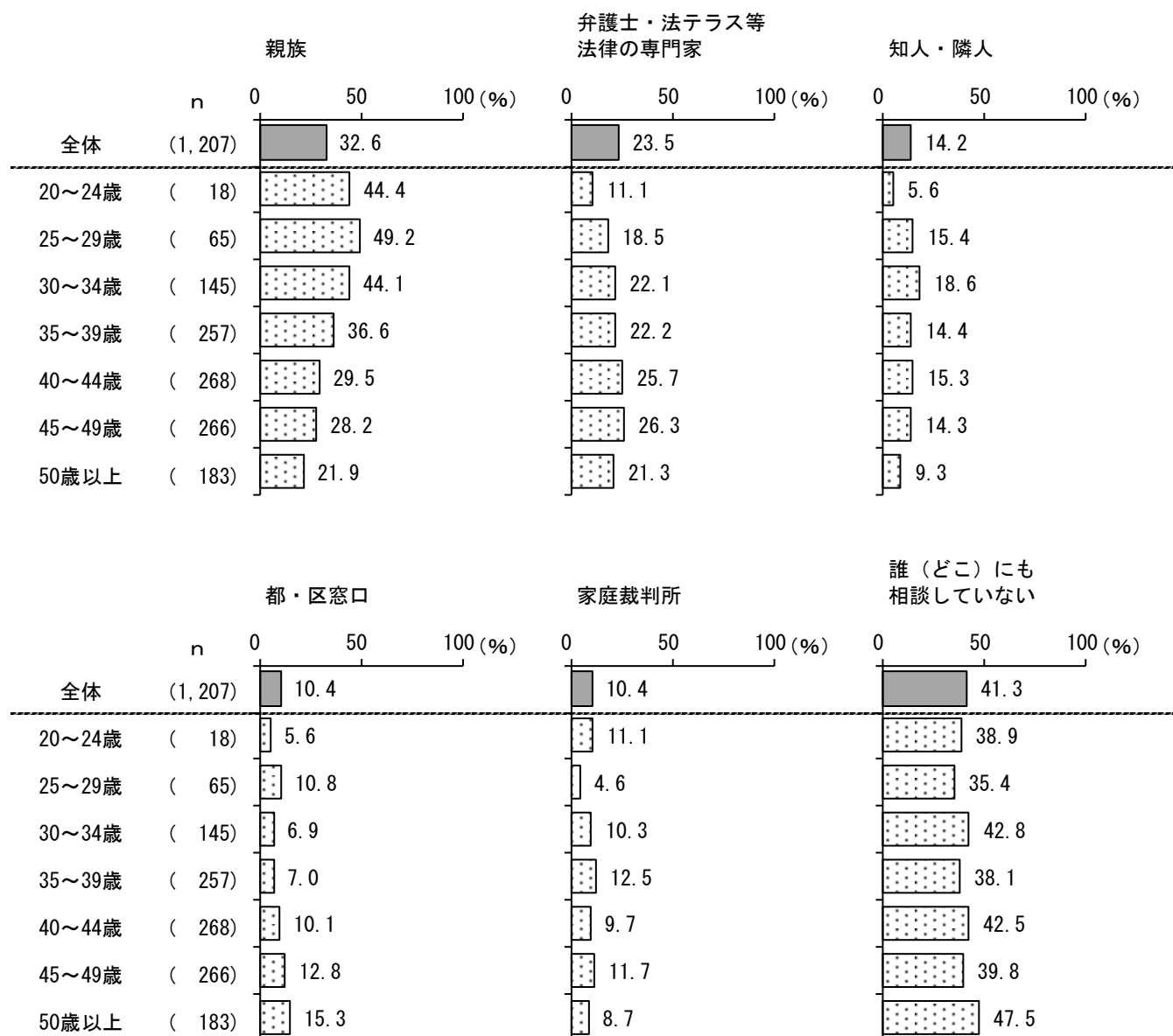


n = 1,207

「誰（どこ）にも相談していない」が41.3%で最も高くなっている。

一方、相談相手（先）としては、「親族」が32.6%、「弁護士・法テラス等法律の専門家」が23.5%、「知人・隣人」が14.2%、「都・区窓口（母子・父子自立支援員、母子家庭等就業・自立支援センターを含む）」及び「家庭裁判所」がともに10.4%などとなっている。

養育費に関する相談相手（先）
（上位5位＋「誰（どこ）にも相談していない」）【年齢別】

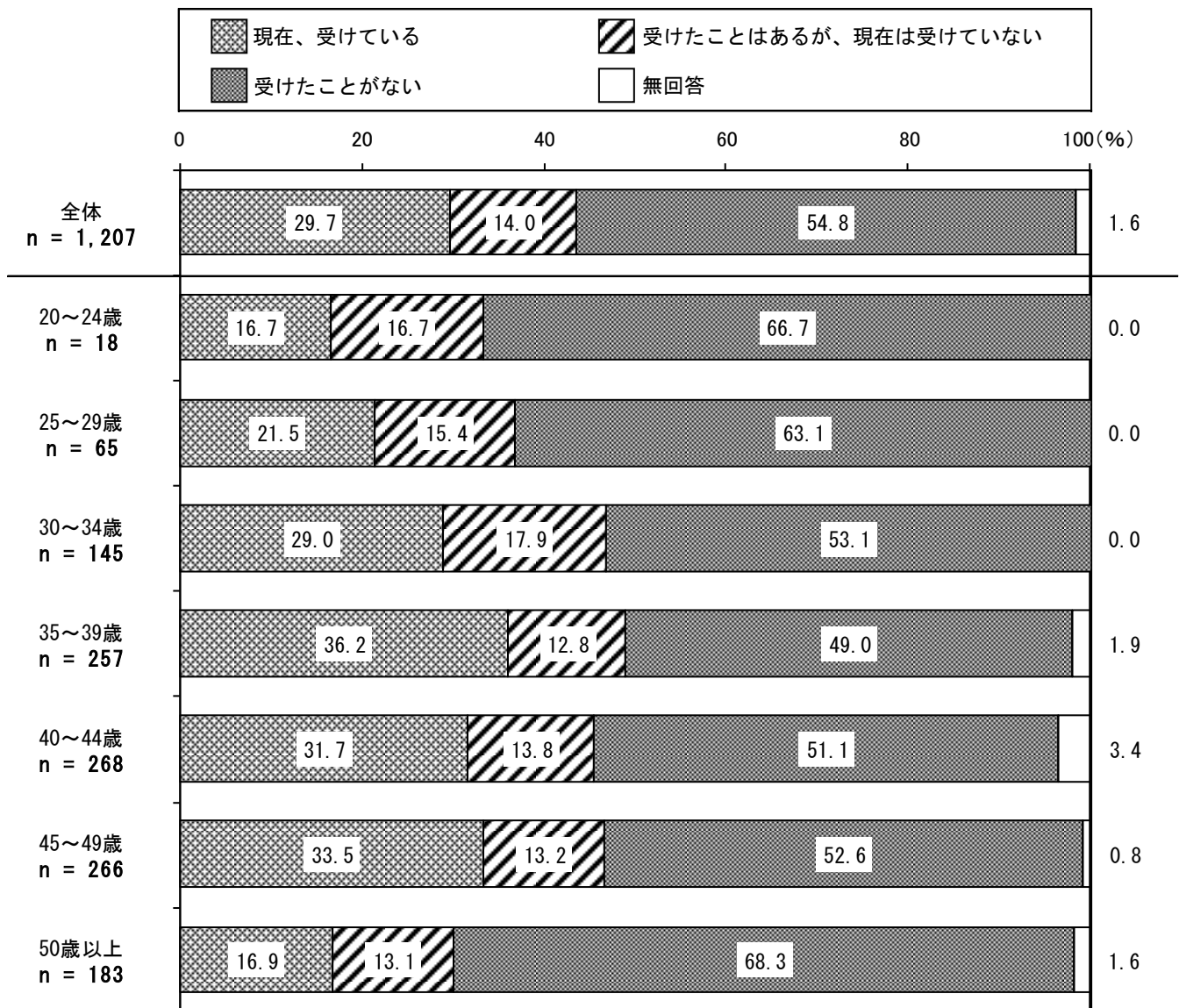


上位5位＋「誰（どこ）にも相談していない」について、年齢別にみると、「親族」は【25～29歳】が49.2%と、他の区分に比べ、高くなっている。「誰（どこ）にも相談していない」は【50歳以上】が47.5%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(3) 養育費の受取り

【問8で、「1. 離婚」または「2. 非婚・未婚」と回答した方にお伺いします】
問10. 現在、養育費を受けていますか（○は1つ）。

養育費の受取り
【年齢別】



「受けたことがない」が54.8%で最も高くなっている。

一方、「現在、受けている」が29.7%、「受けたことはあるが、現在は受けていない」が14.0%となっている。

年齢別にみると、「受けたことがない」は【50歳以上】が68.3%と、他の区分に比べ、高くなっている。

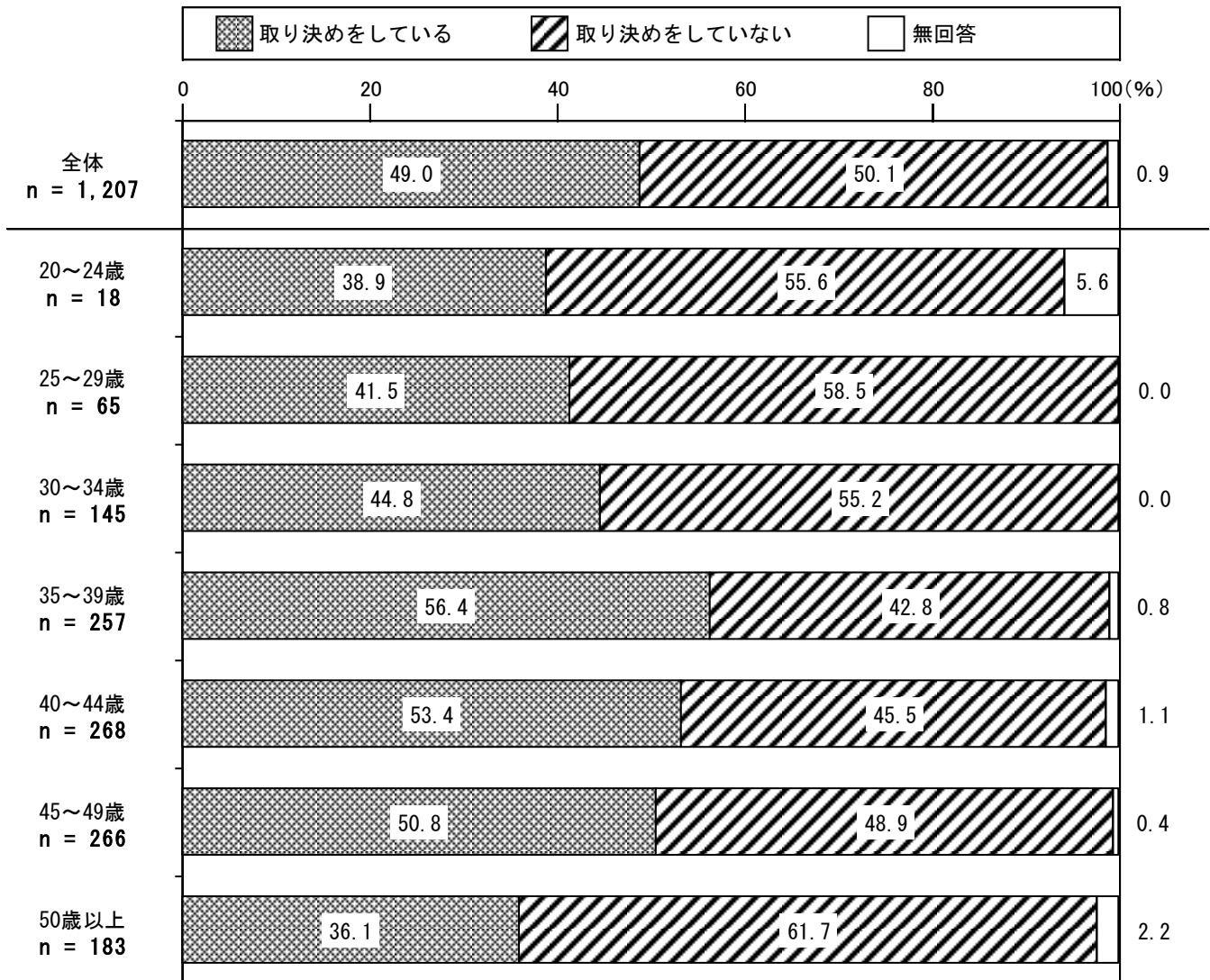
(4) 養育費の取り決めの有無

【問8で、「1. 離婚」または「2. 非婚・未婚」と回答した方にお伺いします】

問11. 養育費について、取り決めをしていますか（○は1つ）。

養育費の取り決めの有無

【年齢別】



「取り決めをしている」が49.0%、「取り決めをしていない」が50.1%となっている。

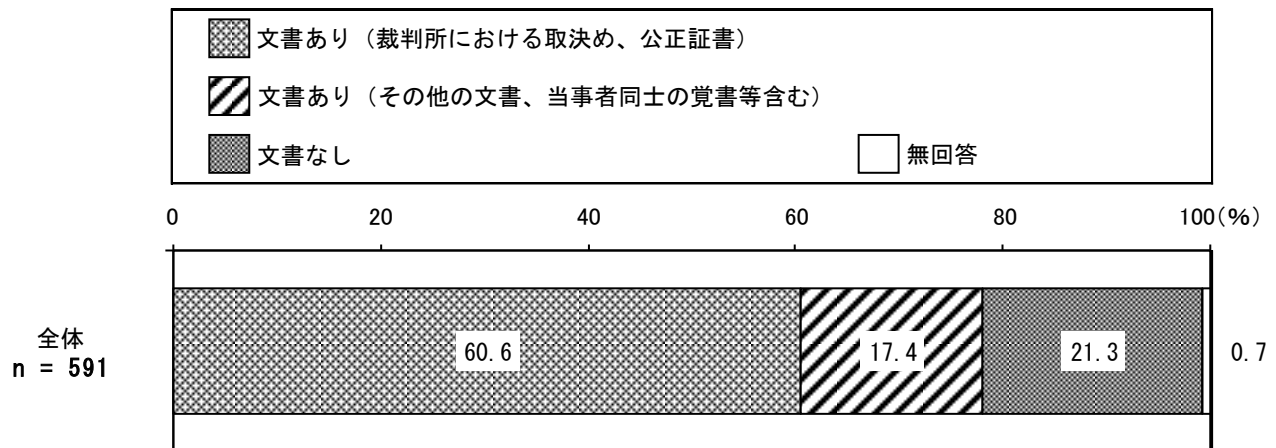
年齢別にみると、「取り決めをしている」は【35～39歳】が56.4%と、他の区分に比べ、高くなっている。「取り決めをしていない」は【50歳以上】が61.7%と、他の区分に比べ、高くなっている。

（５）養育費の取り決め方法

【問 11 で、「１．取り決めをしている」と回答した方にお伺いします】

問 11－１．取り決めの方法を教えてください（○は１つ）。

養育費の取り決め方法



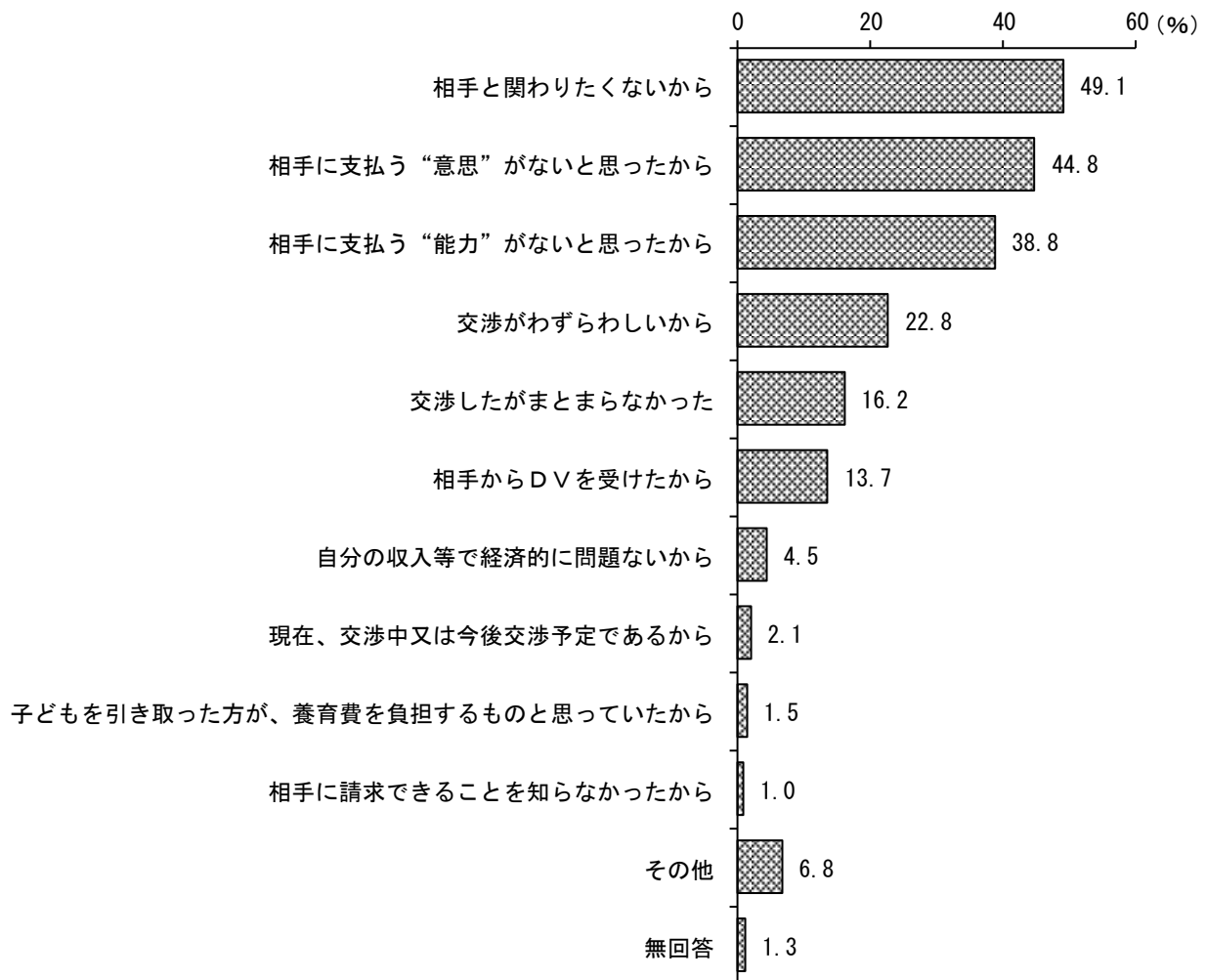
「文書あり（裁判所における取決め、公正証書）」が 60.6% で最も高くなっている。一方、「文書なし」が 21.3% となっている。

（６）養育費の取り決めをしていない理由

【問 11 で、「２．取り決めをしていない」と回答した方にお伺いします】

問 11－２．あなたが養育費の取り決めをしていない理由を教えてください
（〇はいくつでも）。

養育費の取り決めをしていない理由

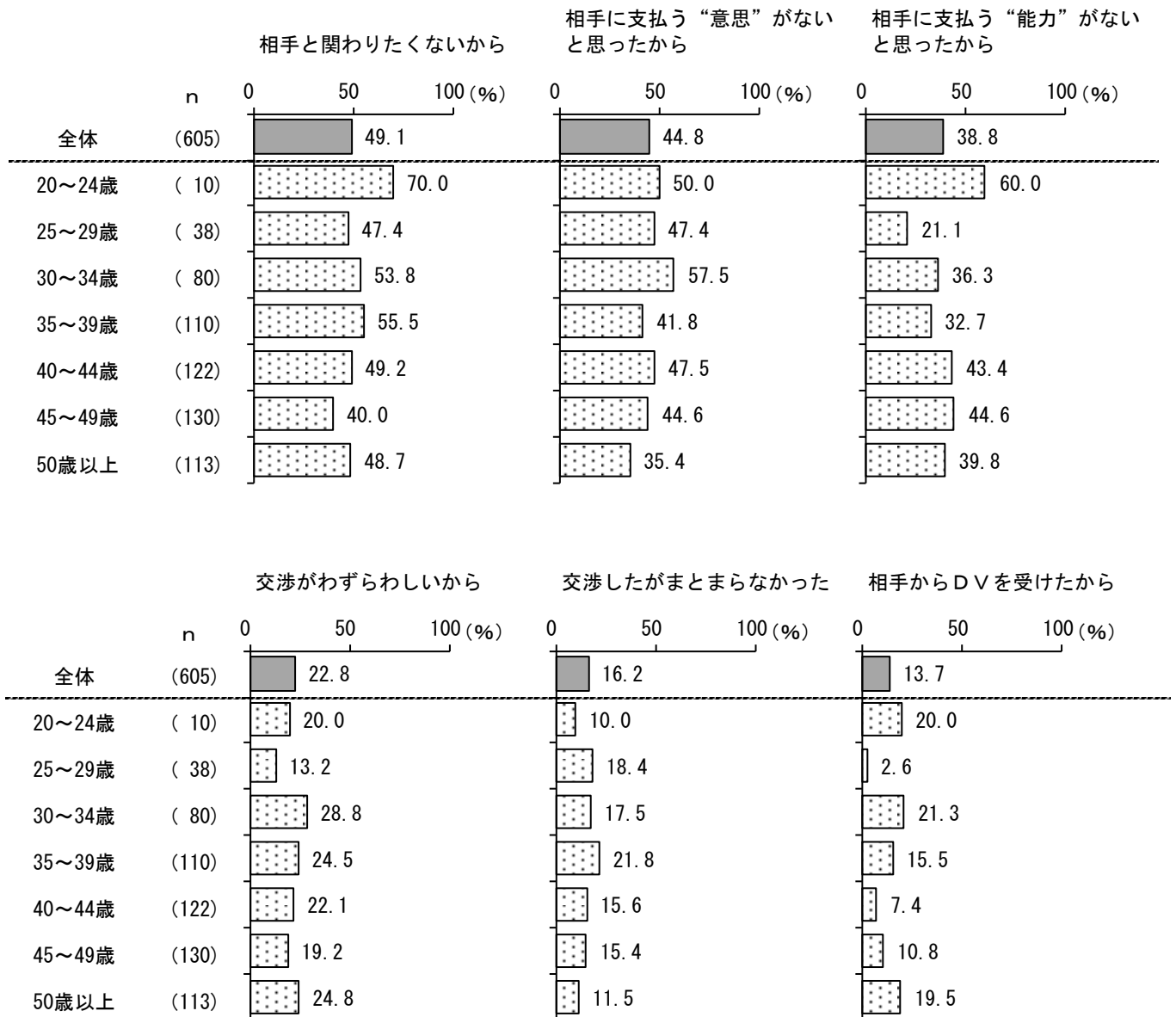


n = 605

「相手と関わりたくないから」が 49.1% で最も高く、次いで「相手に支払う“意思”がないと思ったから」が 44.8%、「相手に支払う“能力”がないと思ったから」が 38.8%、「交渉がわずらわしいから」が 22.8% となっている。

また、「その他」と回答した 41 人のうち、行方不明・音信不通が 53.7% となっている。

養育費の取り決めでしていない理由 (上位6位)【年齢別】



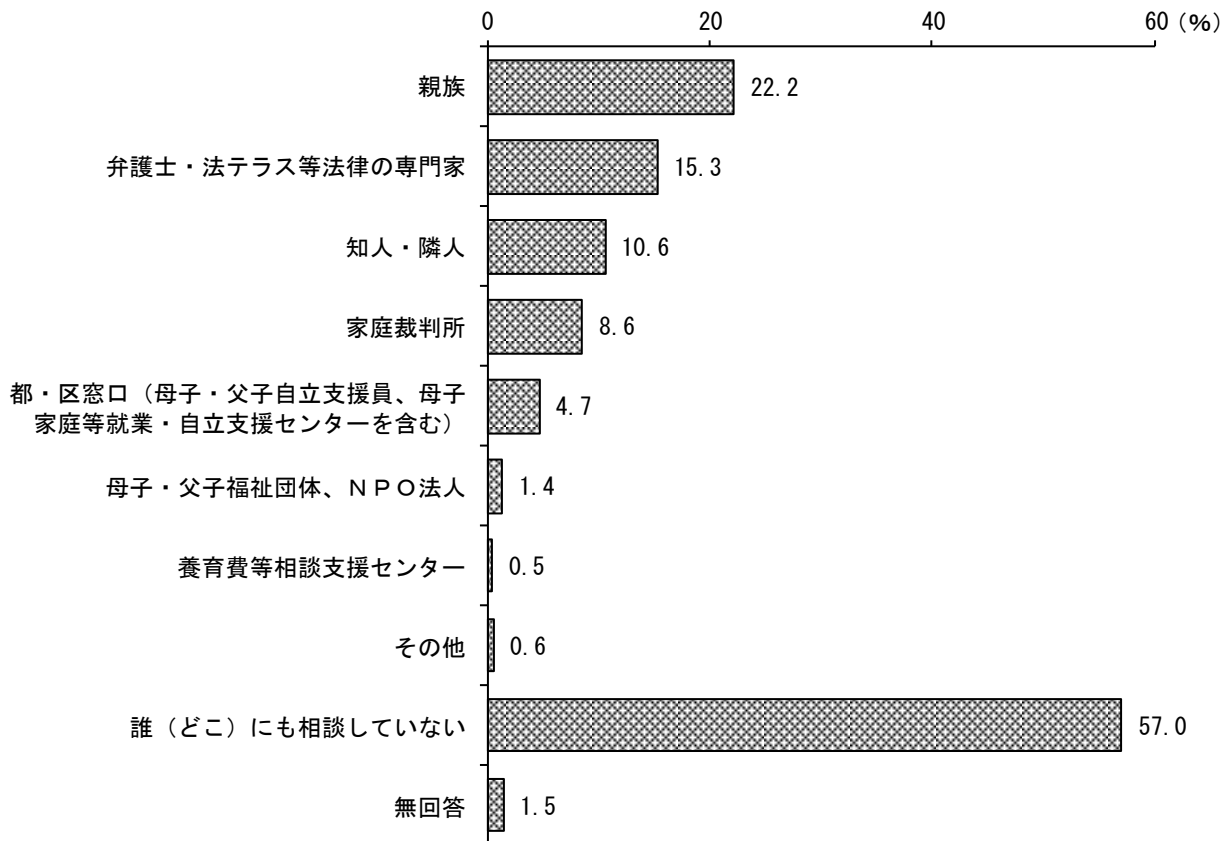
上位6位について、年齢別にみると、「相手に支払う“意思”がないと思ったから」は【30～34歳】が57.5%と、他の区分に比べ、高くなっている。

（７）親子交流（面会交流）に関する相談相手（先）

【問８で、「１．離婚」または「２．非婚・未婚」と回答した方にお伺いします】

問 12. あなたは、お子さんの親子交流（面会交流）のことで誰か（どこか）に相談しましたか（〇はいくつでも）。

親子交流（面会交流）に関する相談相手（先）

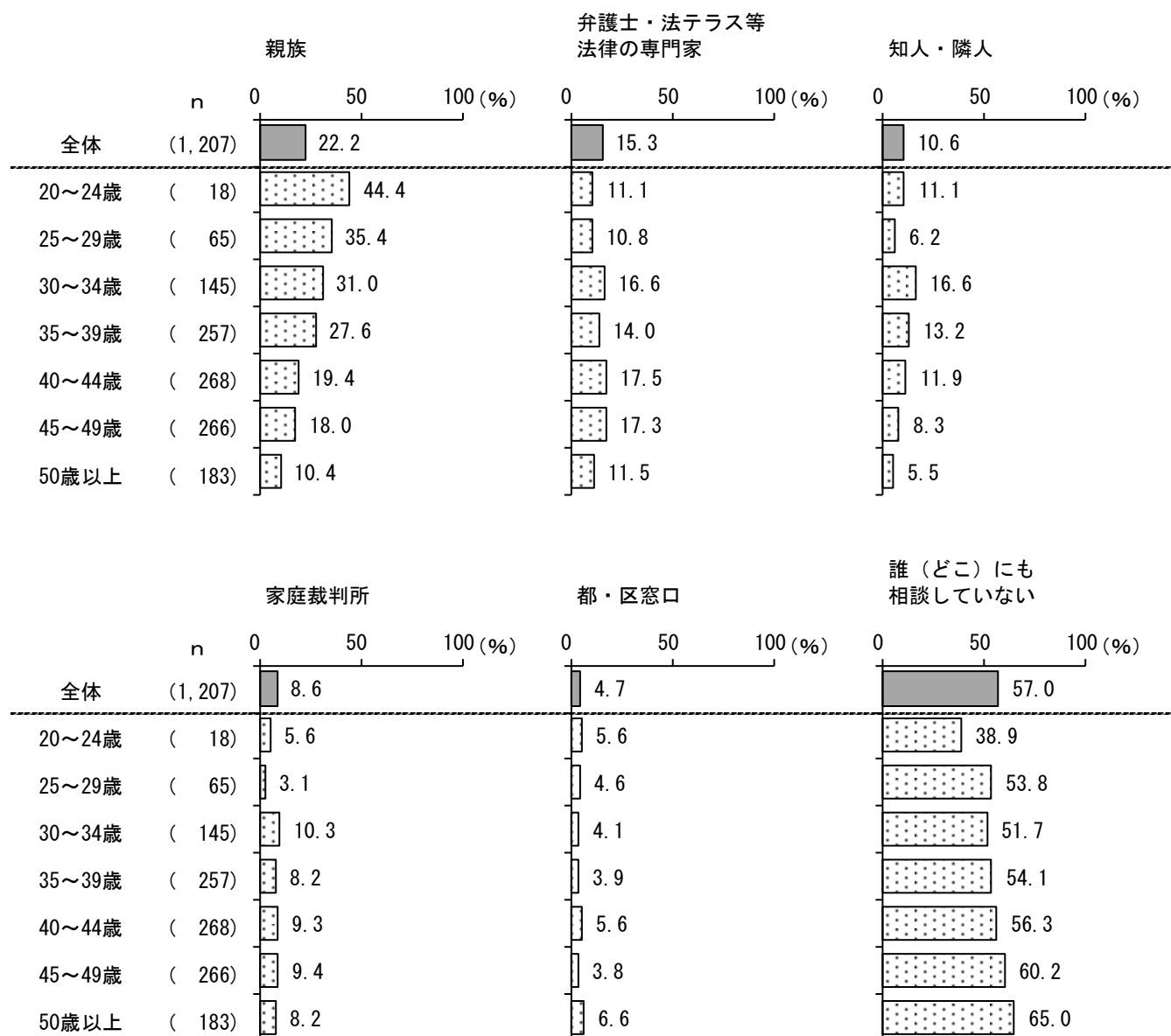


n = 1,207

「誰（どこ）にも相談していない」が57.0%で最も高くなっている。

一方、相談相手（先）としては、「親族」が22.2%、「弁護士・法テラス等法律の専門家」が15.3%、「知人・隣人」が10.6%などとなっている。

親子交流（面会交流）に関する相談相手（先）
（上位5位＋「誰（どこ）にも相談していない」）【年齢別】



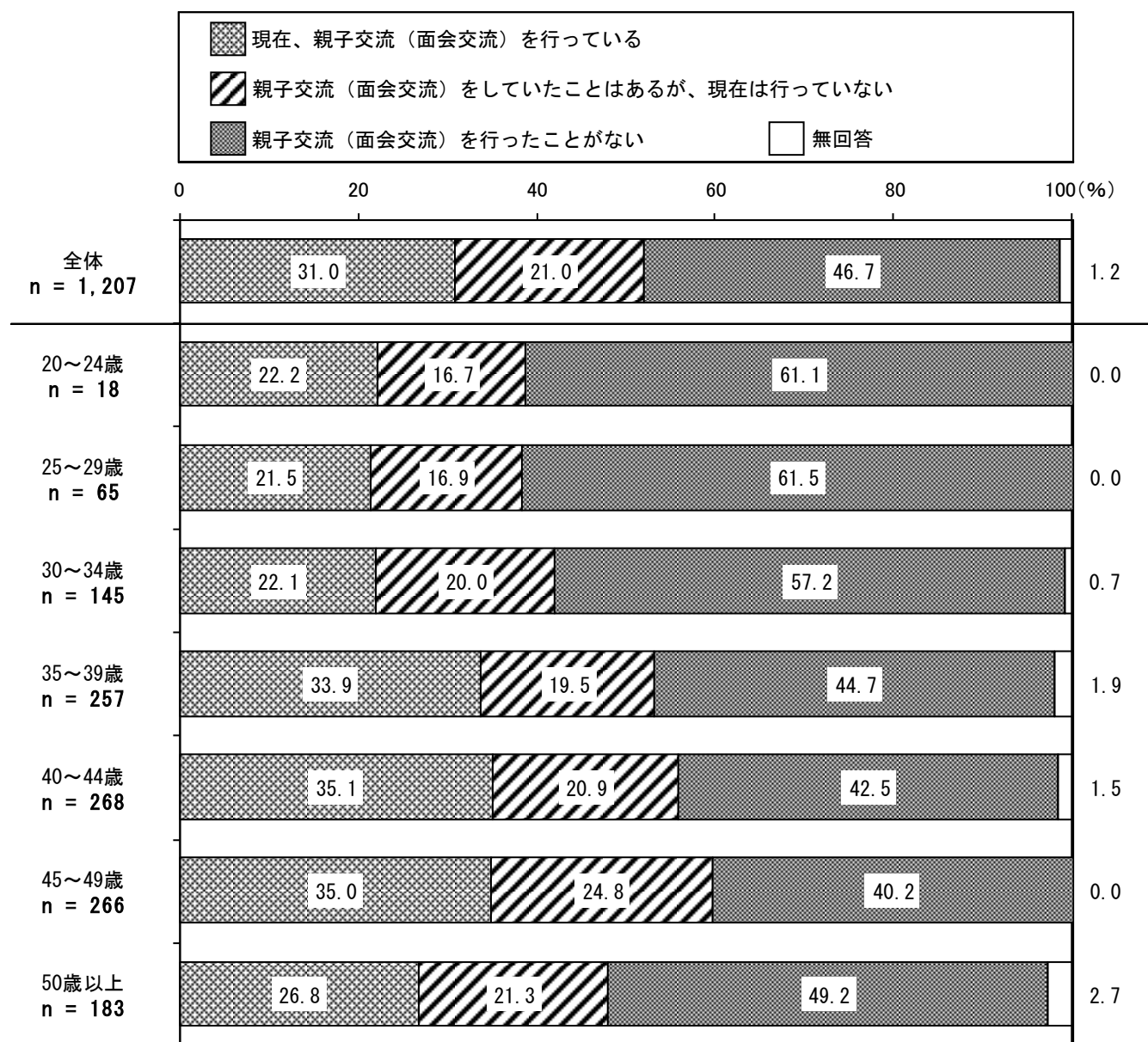
上位5位＋「誰（どこ）にも相談していない」について、年齢別にみると、「知人・隣人」は【30～34歳】が16.6%と、他の区分に比べ、高くなっている。「誰（どこ）にも相談していない」は【50歳以上】が65.0%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(8) 親子交流（面会交流）の有無

【問8で、「1. 離婚」または「2. 非婚・未婚」と回答した方にお伺いします】

問13. 現在、相手の方とお子さんの親子交流（面会交流）はありますか（○は1つ）。

親子交流（面会交流）の有無
【年齢別】



「親子交流（面会交流）を行っていない」が46.7%で最も高くなっている。

一方、「現在、親子交流（面会交流）を行っている」が31.0%、「親子交流（面会交流）をしていたことはあるが、現在は行っていない」が21.0%となっている。

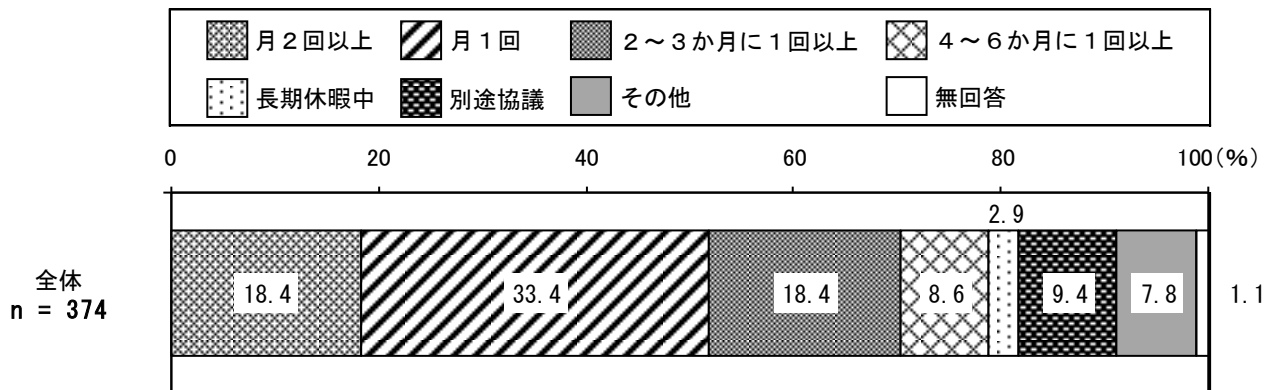
年齢別にみると、「親子交流（面会交流）を行っていない」は【25～29歳】が61.5%と、他の区分に比べ、高くなっている。

（９）親子交流（面会交流）の頻度

【問 13 で、「１．現在、親子交流（面会交流）を行っている」と回答した方にお伺いします】

問 14. 親子交流（面会交流）の頻度を教えてください（○は１つ）。

親子交流（面会交流）の頻度



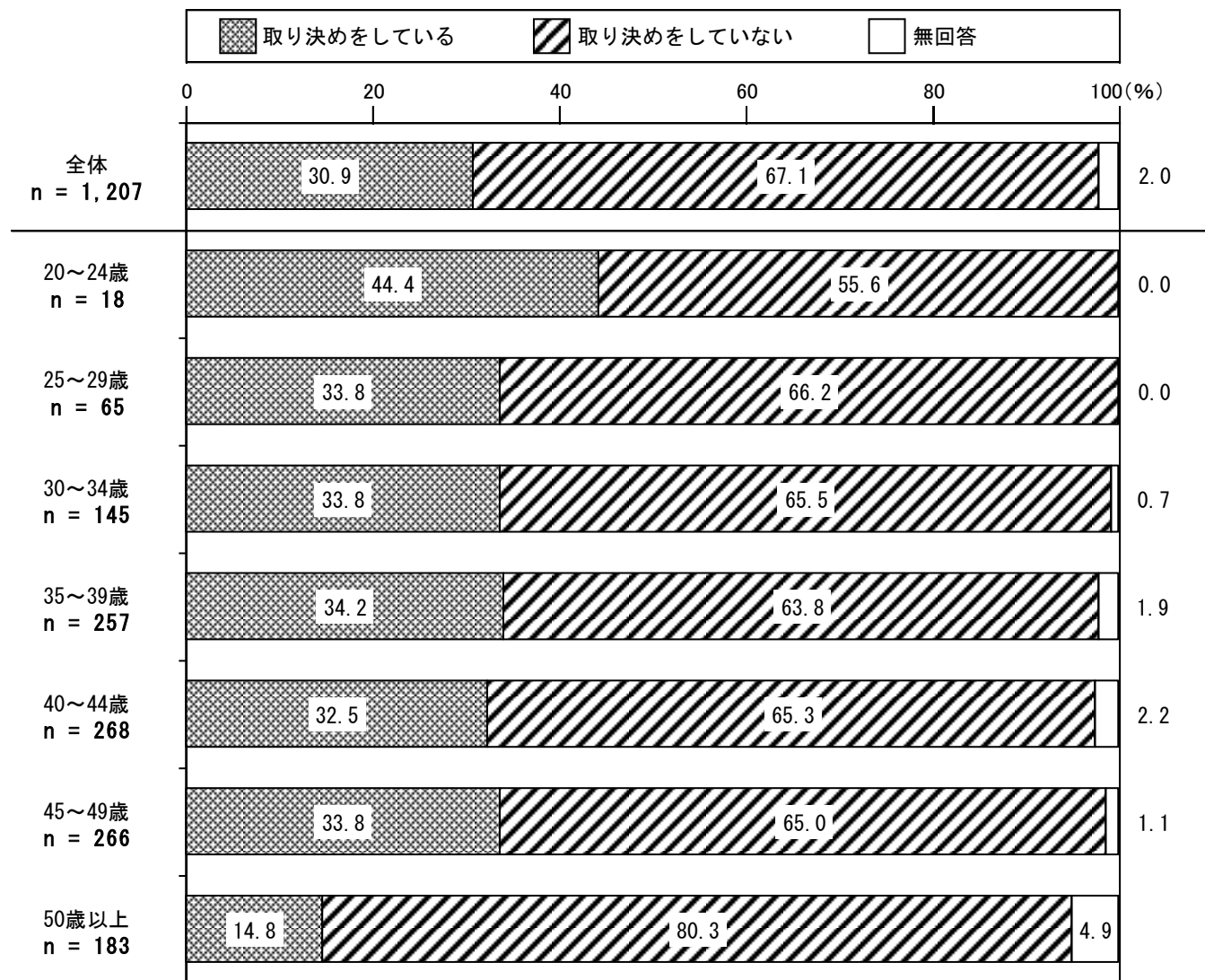
「月1回」が33.4%で最も高く、次いで「月2回以上」及び「2～3か月に1回以上」がともに18.4%となっている。

(10) 親子交流（面会交流）の取り決めの有無

【問8で、「1. 離婚」または「2. 非婚・未婚」と回答した方にお伺いします】

問15. お子さんとの親子交流（面会交流）について、取り決めていますか
（○は1つ）。

親子交流（面会交流）の取り決めの有無
【年齢別】



「取り決めている」が30.9%、「取り決めていない」が67.1%となっている。

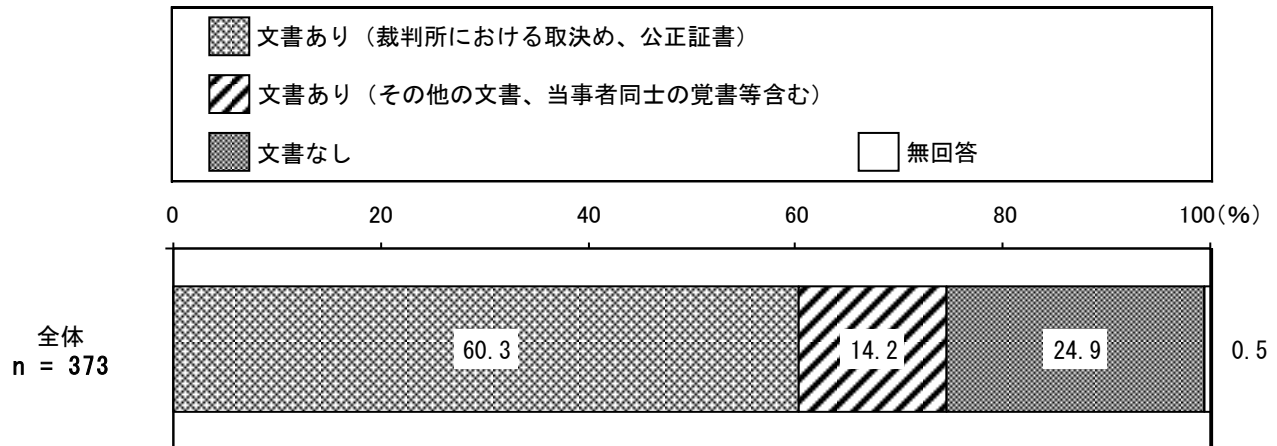
年齢別にみると、「取り決めていない」は【50歳以上】が80.3%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(11) 親子交流（面会交流）の取り決め方法

【問 15 で、「1. 取り決めをしている」と回答した方にお伺いします】

問 15－1. 取り決めの方法を教えてください（○は1つ）。

親子交流（面会交流）の取り決め方法

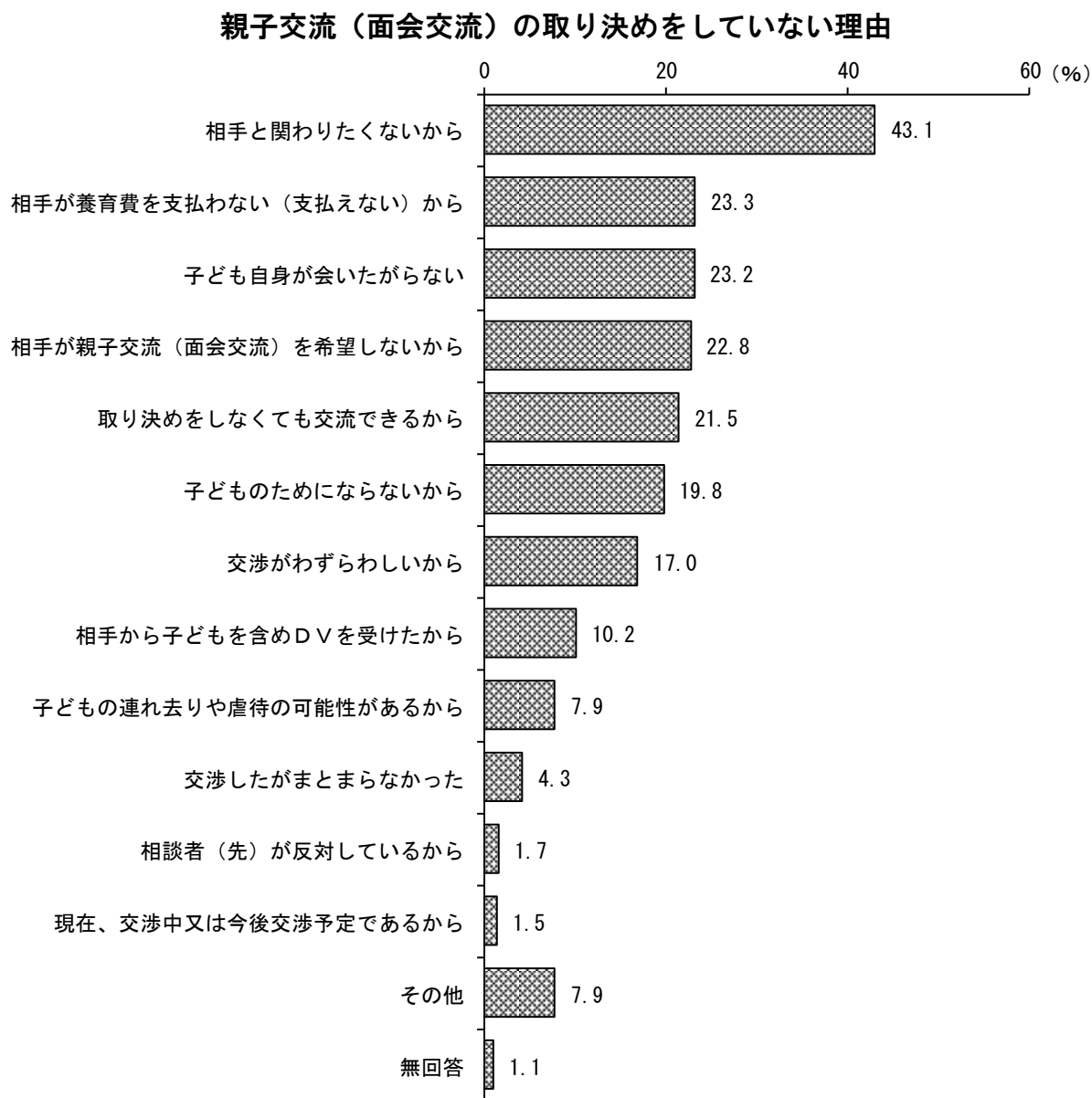


「文書あり（裁判所における取決め、公正証書）」が 60.3% で最も高くなっている。一方、「文書なし」が 24.9% となっている。

(12) 親子交流（面会交流）の取り決めをしていない理由

【問 15 で、「2. 取り決めをしていない」と回答した方にお伺いします】

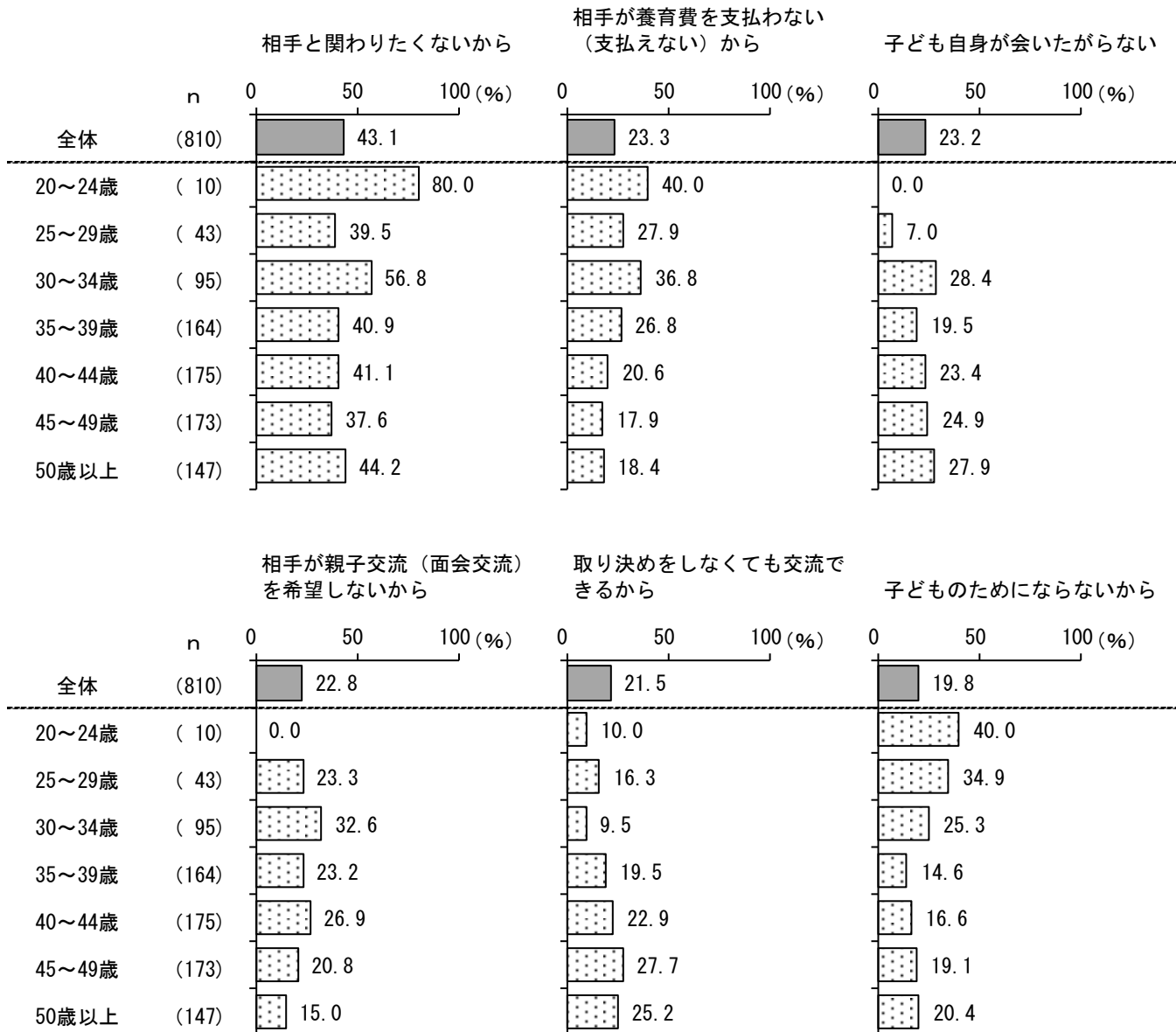
問 15－2. あなたが親子交流（面会交流）の取り決めをしていない理由を教えてください（〇はいくつでも）。



「相手と関わりたくないから」が 43.1% で最も高く、次いで「相手が養育費を支払わない（支払えない）から」が 23.3%、「子ども自身が会いたがらない」が 23.2%、「相手が親子交流（面会交流）を希望しないから」が 22.8%、「取り決めをしなくても交流できるから」が 21.5%、「子どものためにならないから」が 19.8%、「交渉がわずらわしいから」が 17.0% と続いている。

また、「その他」と回答した 64 人のうち、行方不明・音信不通が 32.8% となっている。

**親子交流（面会交流）の取り決めをしていない理由
（上位6位）【年齢別】**



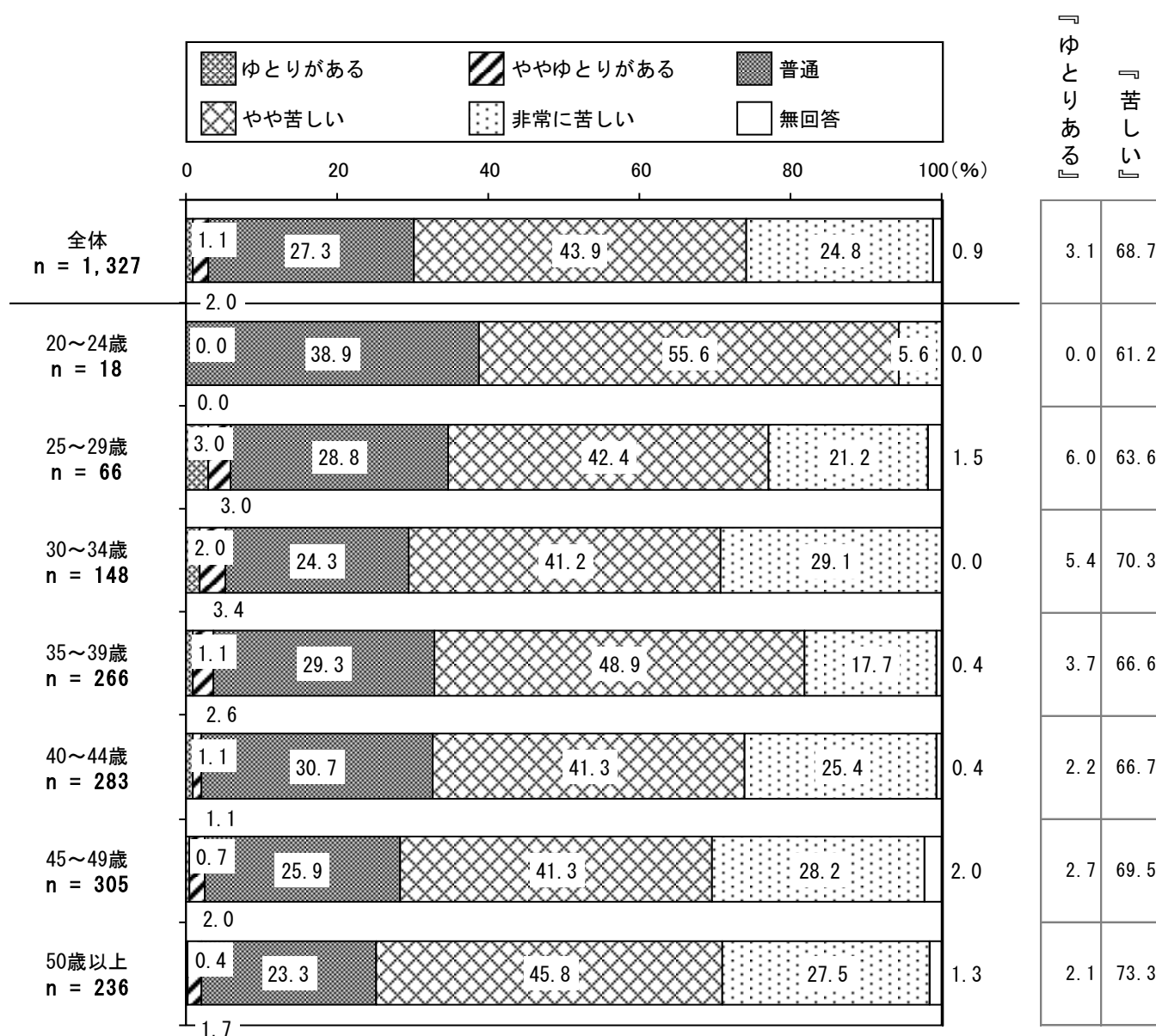
上位6位について、年齢別にみると、「相手が親子交流（面会交流）を希望しないから」は【30～34歳】が32.6%と、他の区分に比べ、高くなっている。「取り決めをしなくても交流できるから」は【45～49歳】が27.7%と、他の区分に比べ、高くなっている。

3 あなたの世帯の経済状況について

(1) 現在の暮らしの総合的な経済状況

問 16. あなたの現在の暮らしの経済状況を総合的にみて、どのように感じていますか
(○は1つ)。

現在の暮らしの総合的な経済状況
【年齢別】

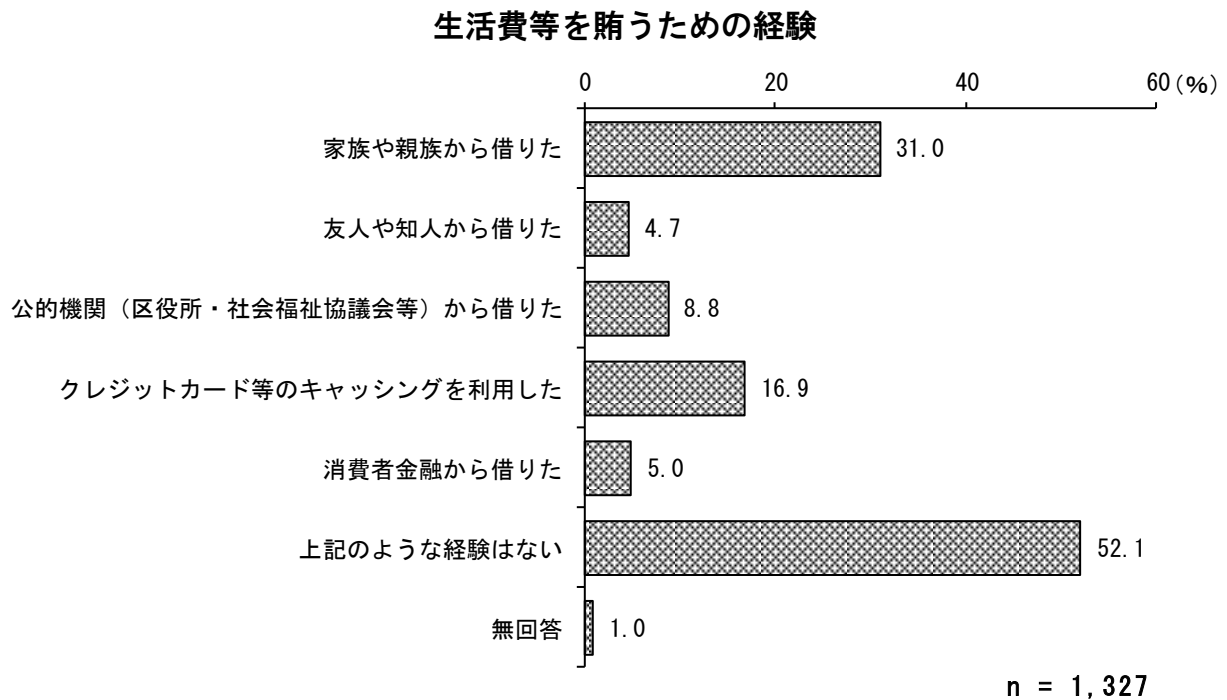


「やや苦しい」が 43.9%で最も高くなっている。また、「やや苦しい」と「非常に苦しい」(24.8%)を合わせた『苦しい』が 68.7%となっている。

年齢別にみると、「やや苦しい」は【35～39 歳】が 48.9%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(2) 生活費を賄うための経験

問 17. ひとり親家庭になってから、教育費を含む生活費等を賄うため、下記のような経験をしましたか（○はいくつでも）。

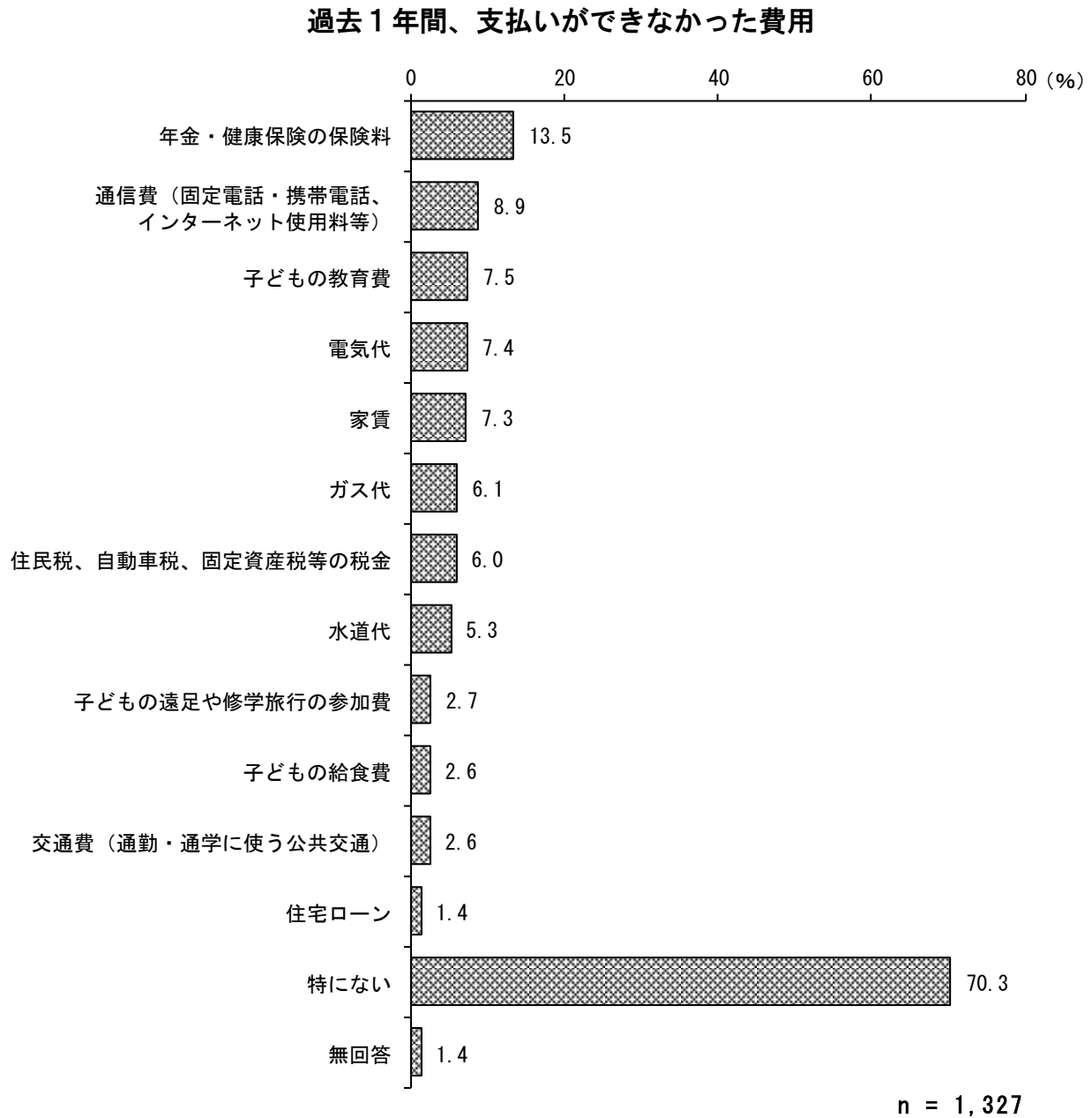


「上記のような経験はない」が52.1%で最も高くなっている。

一方、「家族や親族から借りた」が31.0%、「クレジットカード等のキャッシングを利用した」が16.9%などとなっている。

(3) 過去1年間、支払いができなかった費用

問 18. あなたの家庭において、過去1年間に、支払いができなかったことはありますか
(○はいくつでも)。

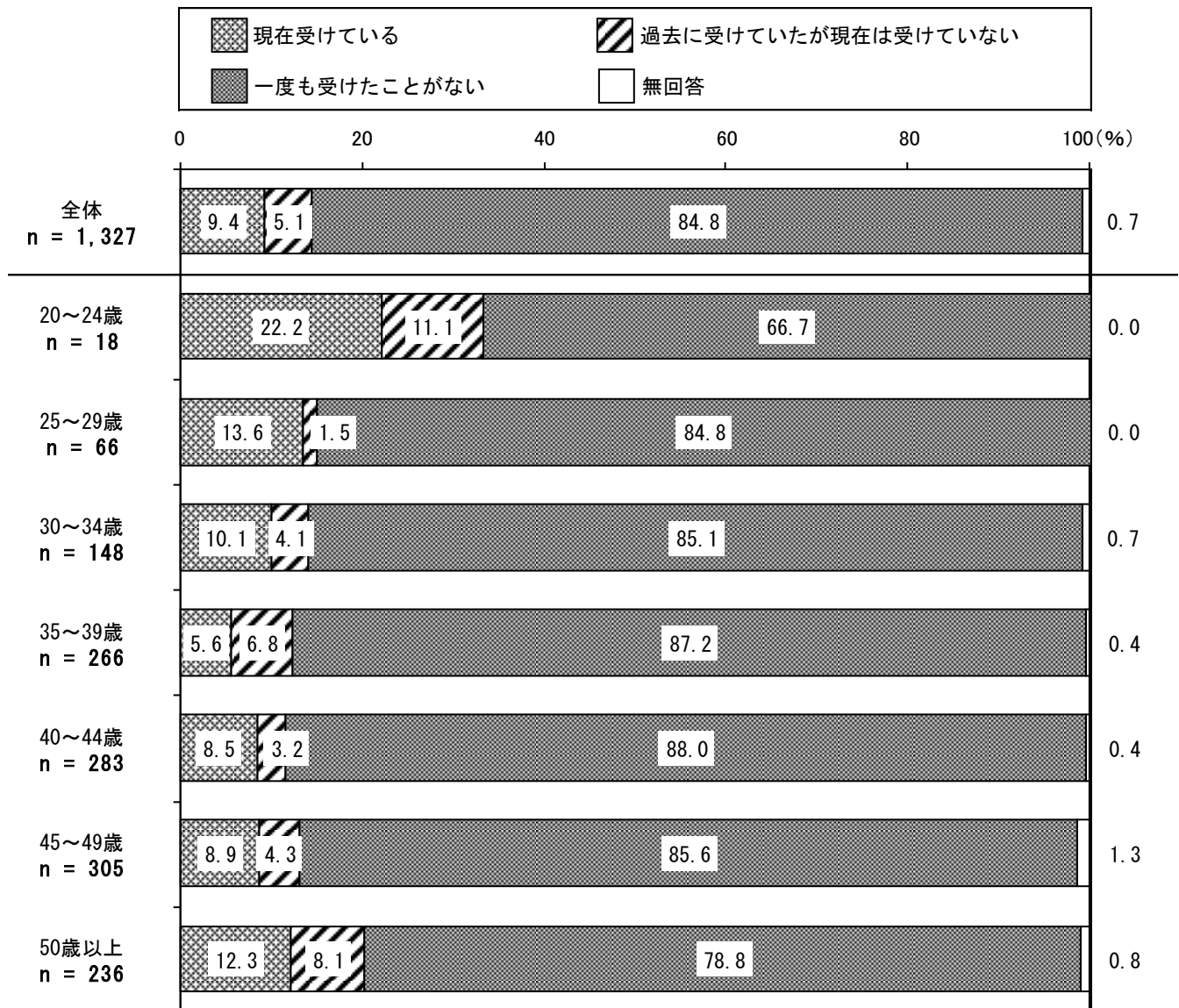


「特になし」が70.3%で最も高くなっている。

(4) 生活保護受給経験

問 19. ひとり親家庭になってから、生活保護を受けたことがありますか（○は1つ）。

生活保護受給経験
【年齢別】

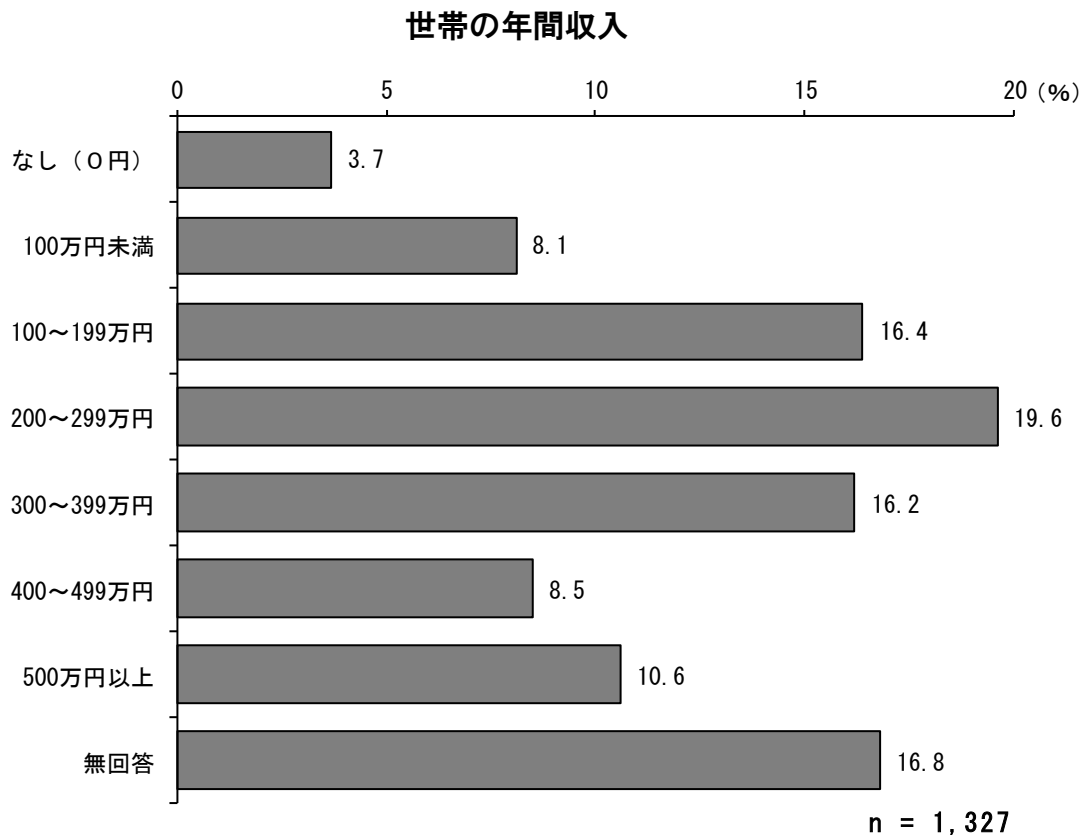


「一度も受けたことがない」が84.8%となっている。

年齢別にみると、「一度も受けたことがない」は【50歳以上】が78.8%と、他の区分に比べ、低くなっている。

（５）世帯の年間収入

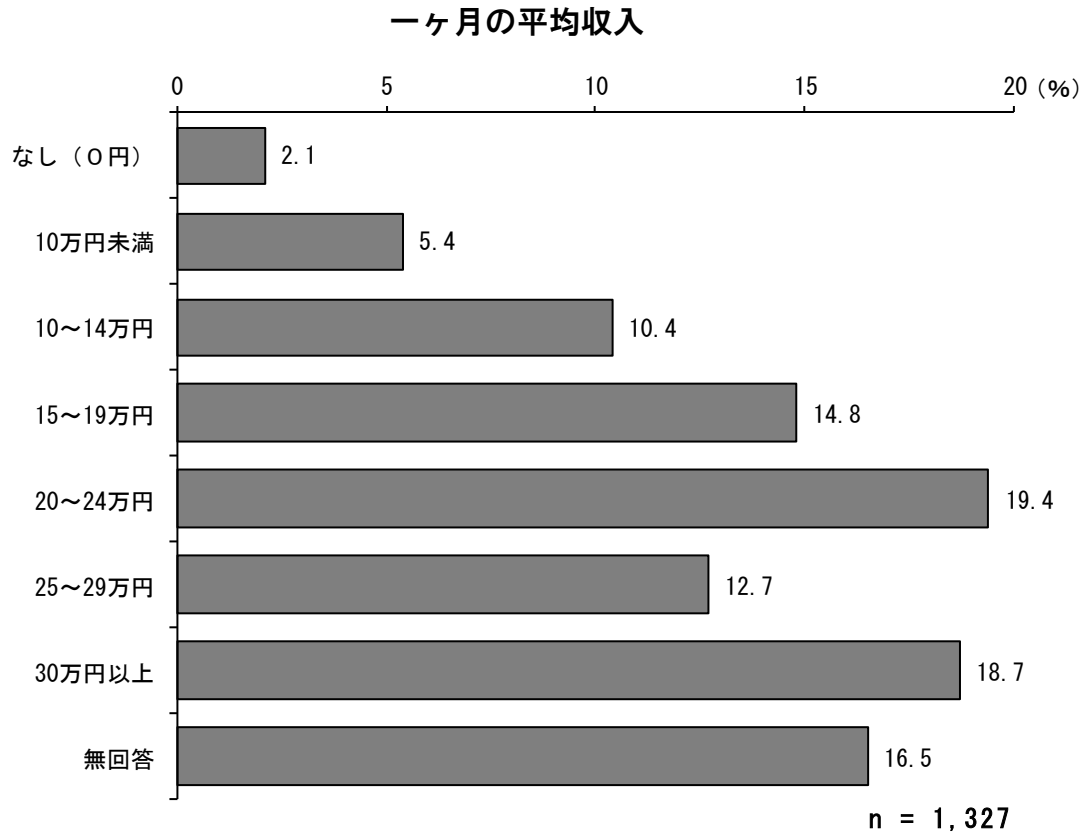
問 20. 昨年（令和４年１月～１２月）のあなたの世帯の年間収入をご記入ください。
※税金や社会保険料を控除する前の金額をご記入ください。



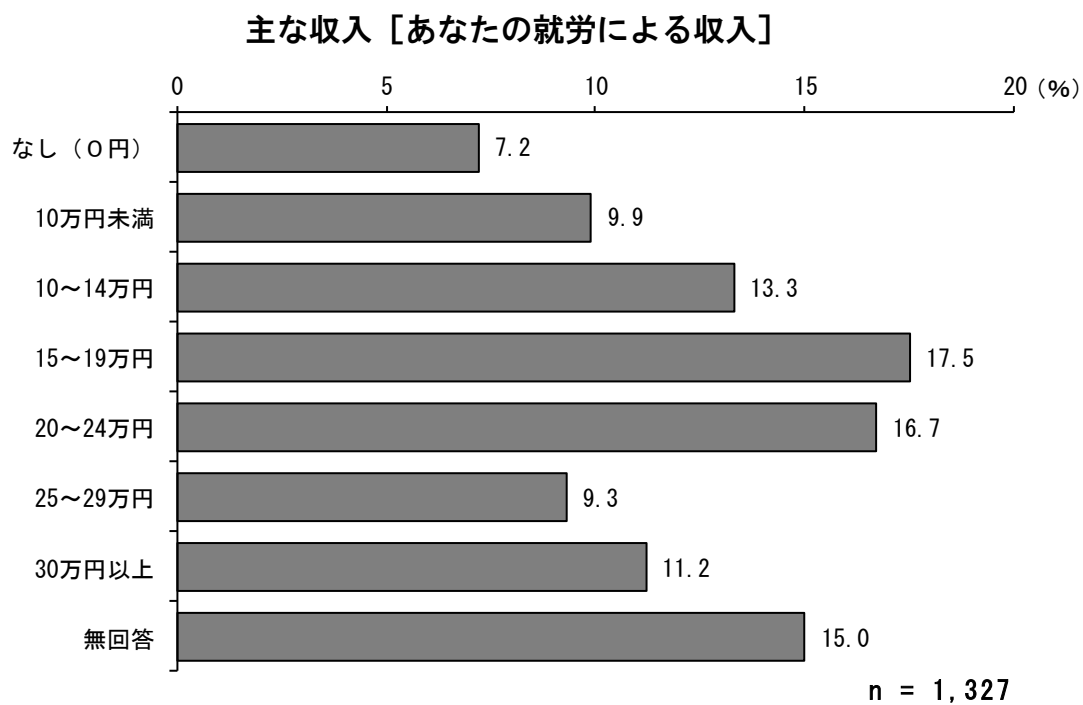
「200～299 万円」が 19.6%で最も高く、次いで「100～199 万円」が 16.4%、「300～399 万円」が 16.2%、「500 万円以上」が 10.6%となっている。

（６）一ヶ月あたりの平均収入等

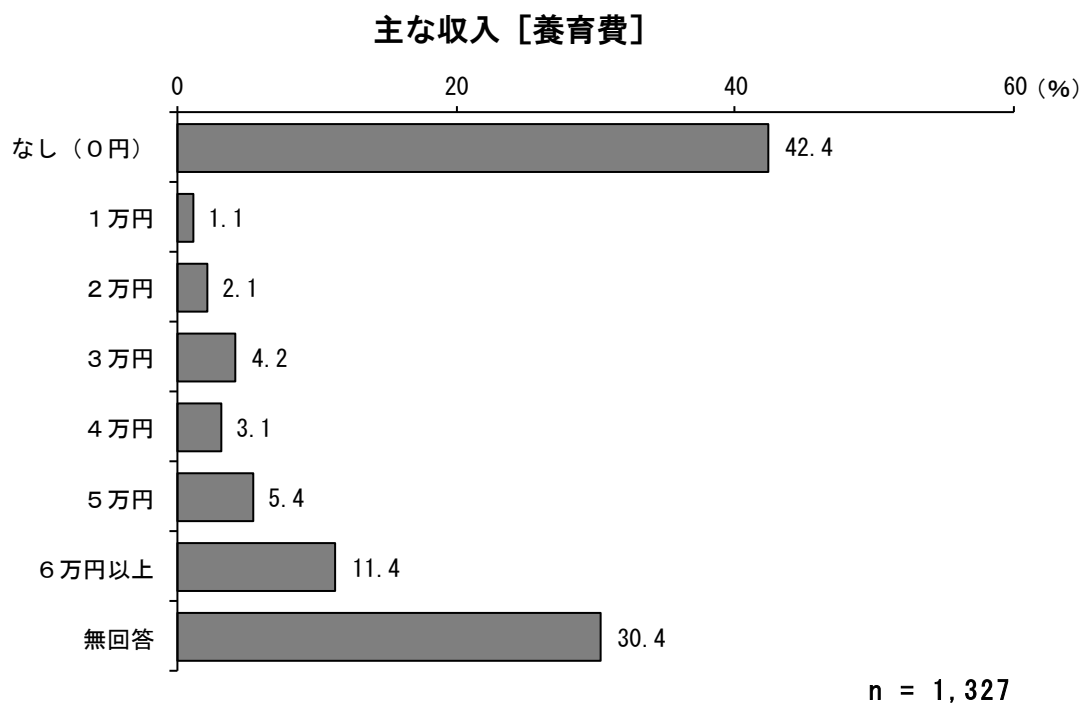
問 20－ 1. あなたの世帯の令和５年４月～８月の一ヶ月平均収入をご記入ください。
また、主な収入をご記入ください。
※税金や社会保険料を控除する前の金額をご記入ください。



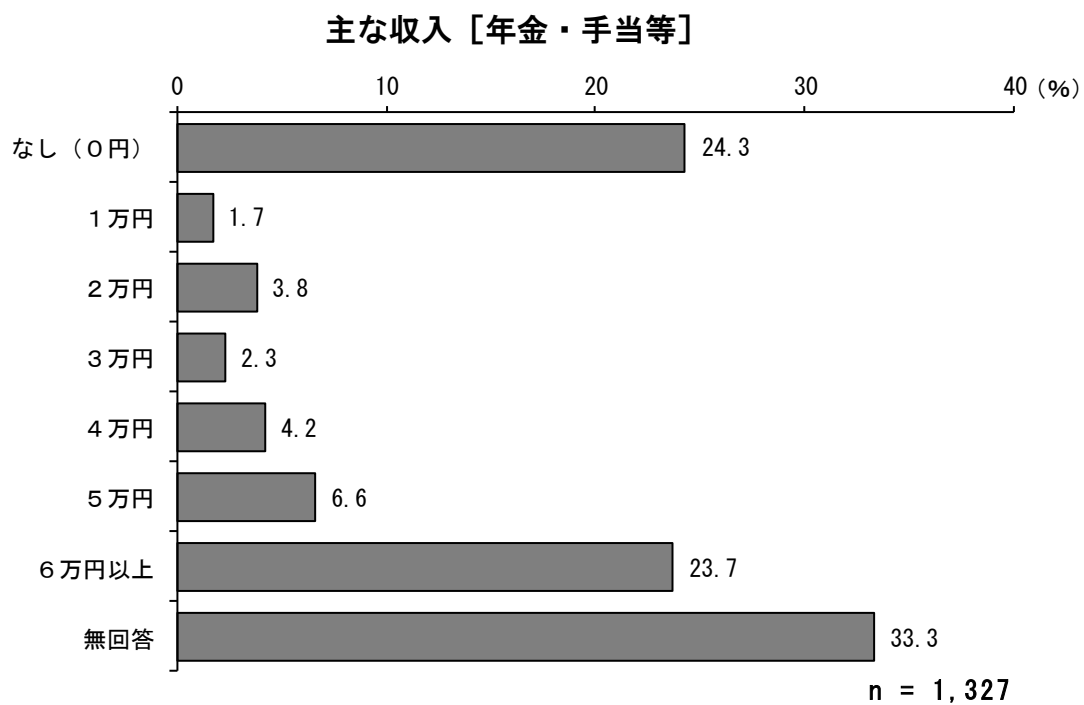
「20～24 万円」が 19.4%で最も高く、次いで「30 万円以上」が 18.7%、「15～19 万円」が 14.8%、「25～29 万円」が 12.7%、「10～14 万円」が 10.4%となっている。



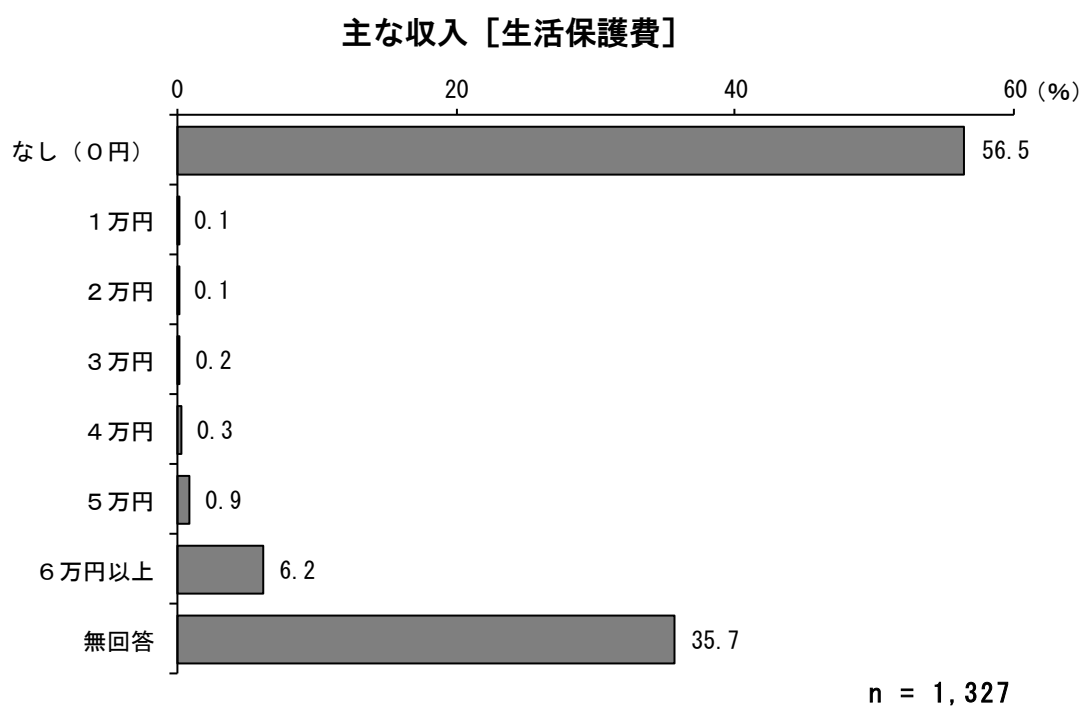
「15～19 万円」が 17.5%で最も高く、次いで「20～24 万円」が 16.7%、「10～14 万円」が 13.3%、「30 万円以上」が 11.2%となっている。



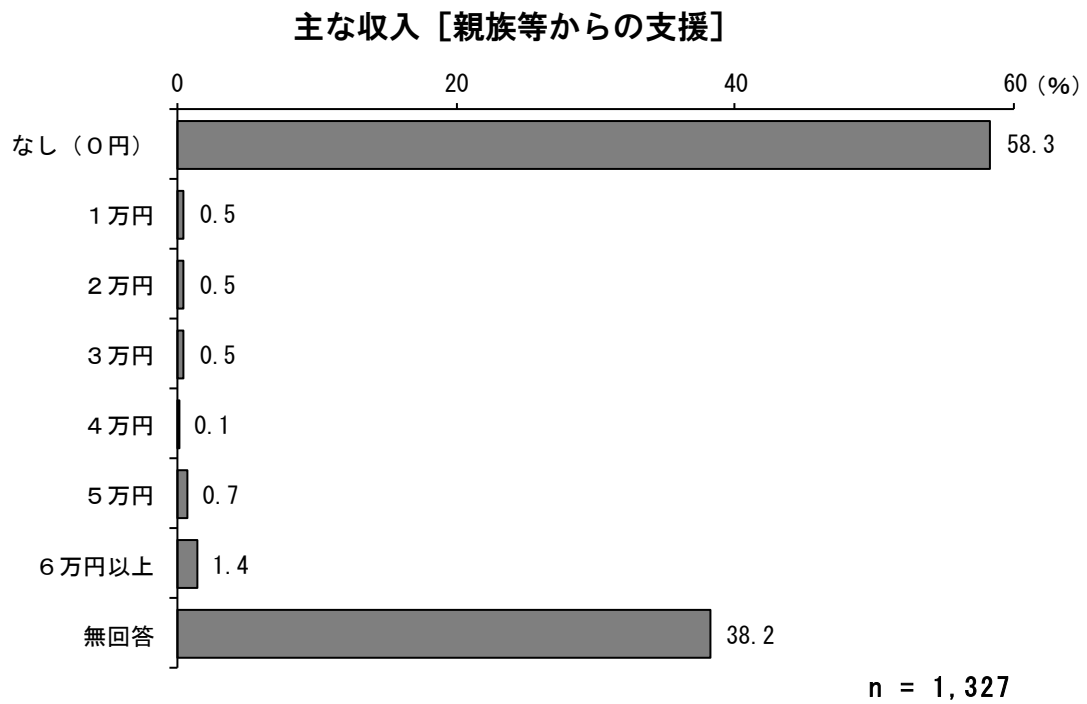
「なし (0円)」が 42.4%で最も高くなっている。以下「6 万円以上」が 11.4%となっている。



「なし (0円)」が 24.3%で最も高く、次いで「6万円以上」が 23.7%となっている。



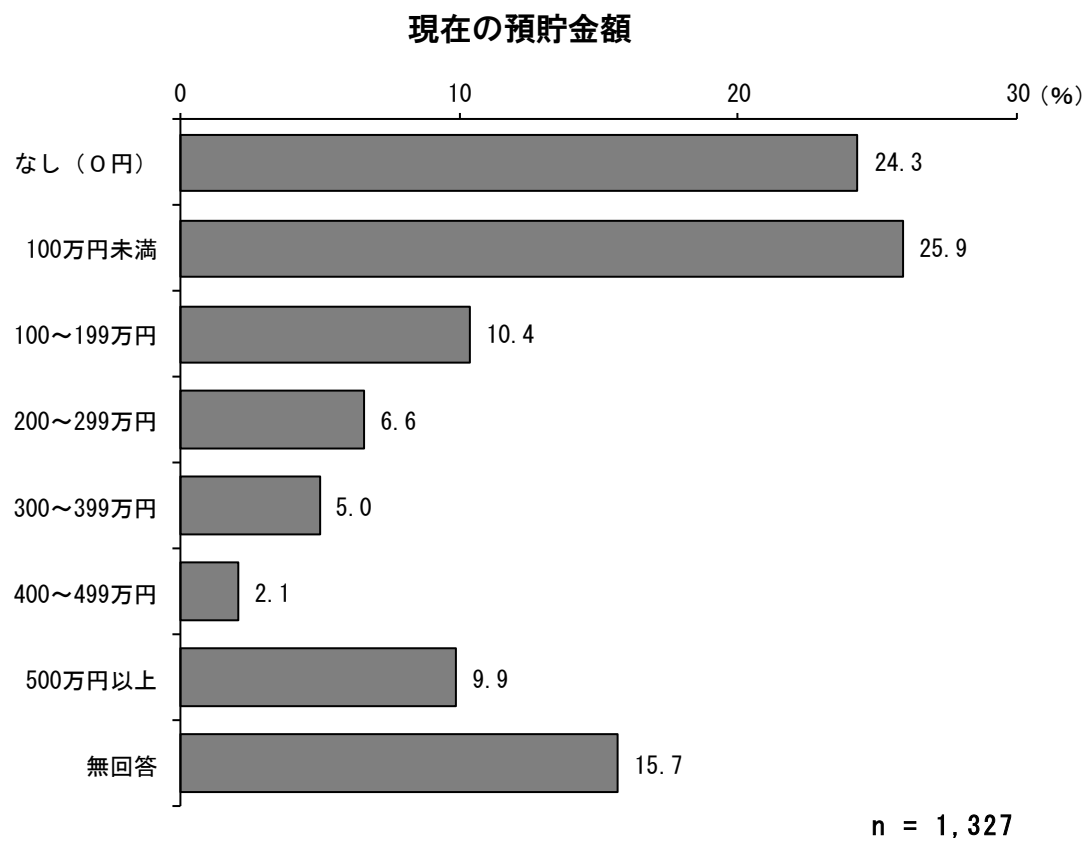
「なし (0円)」が 56.5%で最も高くなっている。



「なし (0円)」が 58.3%で最も高くなっている。

（ 7 ） 現在の預貯金額

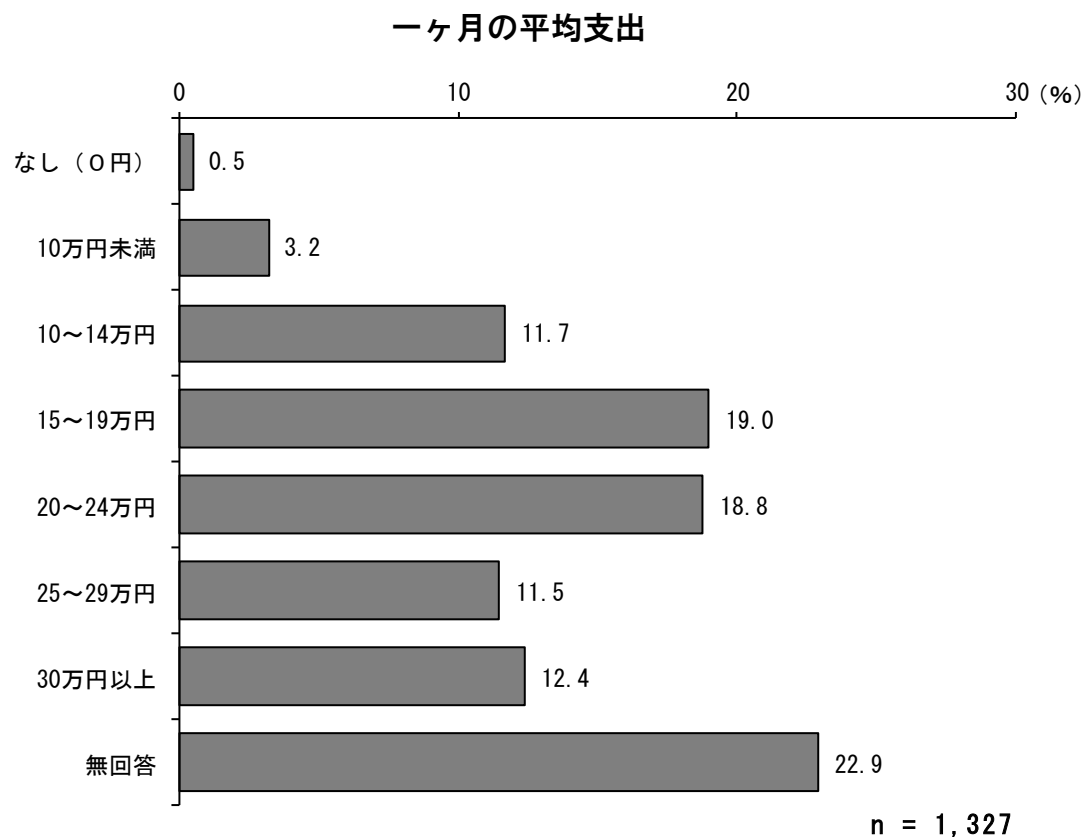
問 21. あなたの現在の預貯金額をご記入ください。



「100 万円未満」が 25.9%で最も高く、次いで「なし（0円）」が 24.3%、「100～199 万円」が 10.4%となっている。

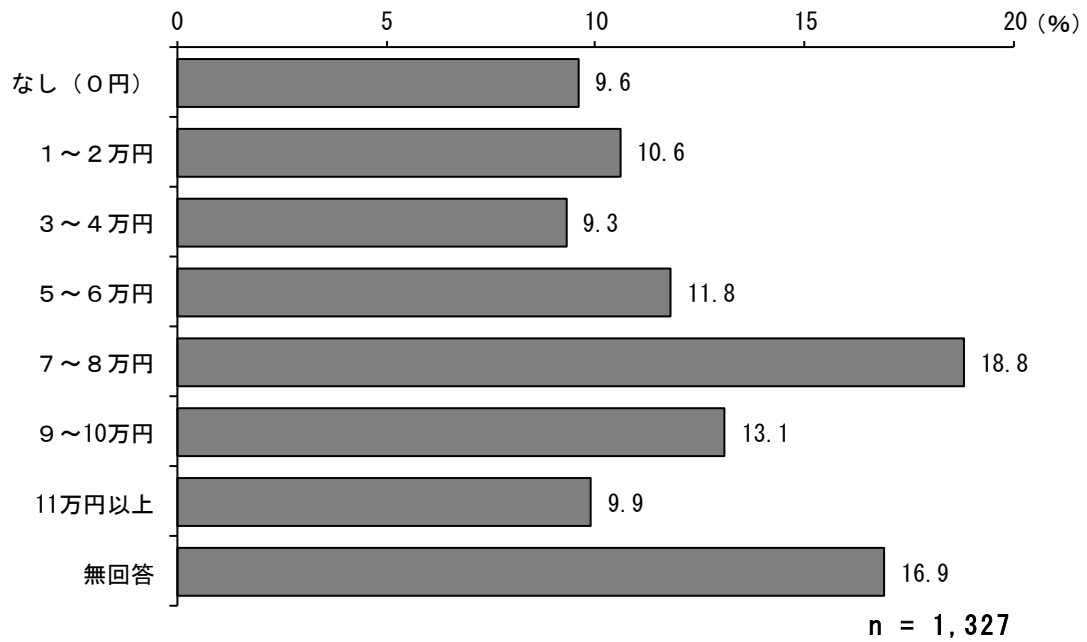
(8) 一ヶ月あたりの平均支出等

問 22. あなたの世帯の一ヶ月の平均支出をご記入ください。
また、主な支出をご記入ください。



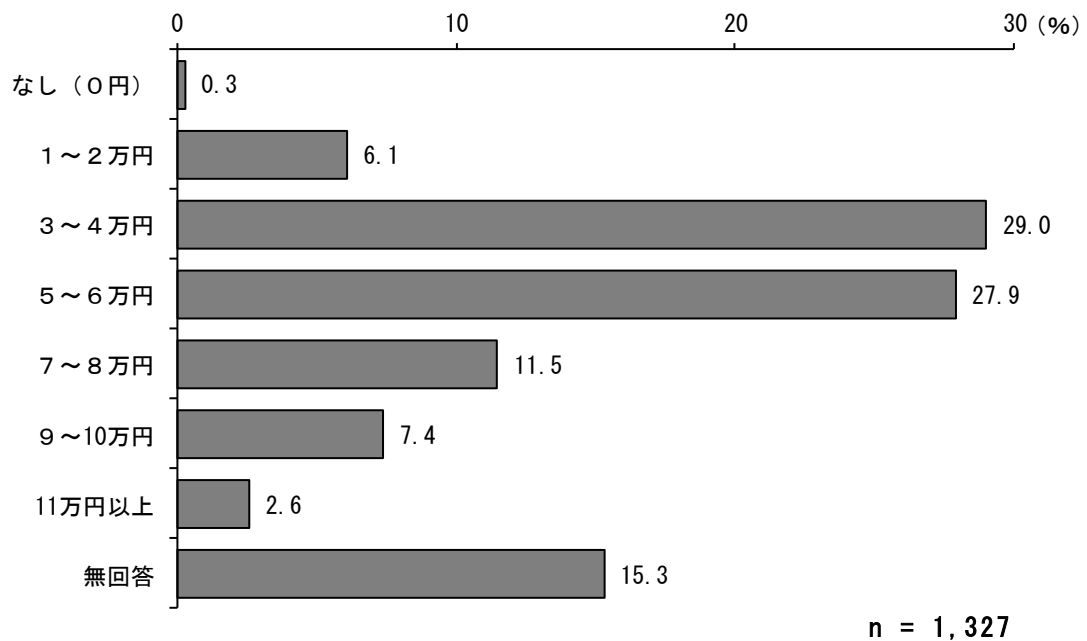
「15～19 万円」が 19.0%で最も高く、次いで「20～24 万円」が 18.8%、「30 万円以上」が 12.4%、「10～14 万円」が 11.7%、「25～29 万円」が 11.5%となっている。

主な支出〔住居費（家賃、ローン等）〕

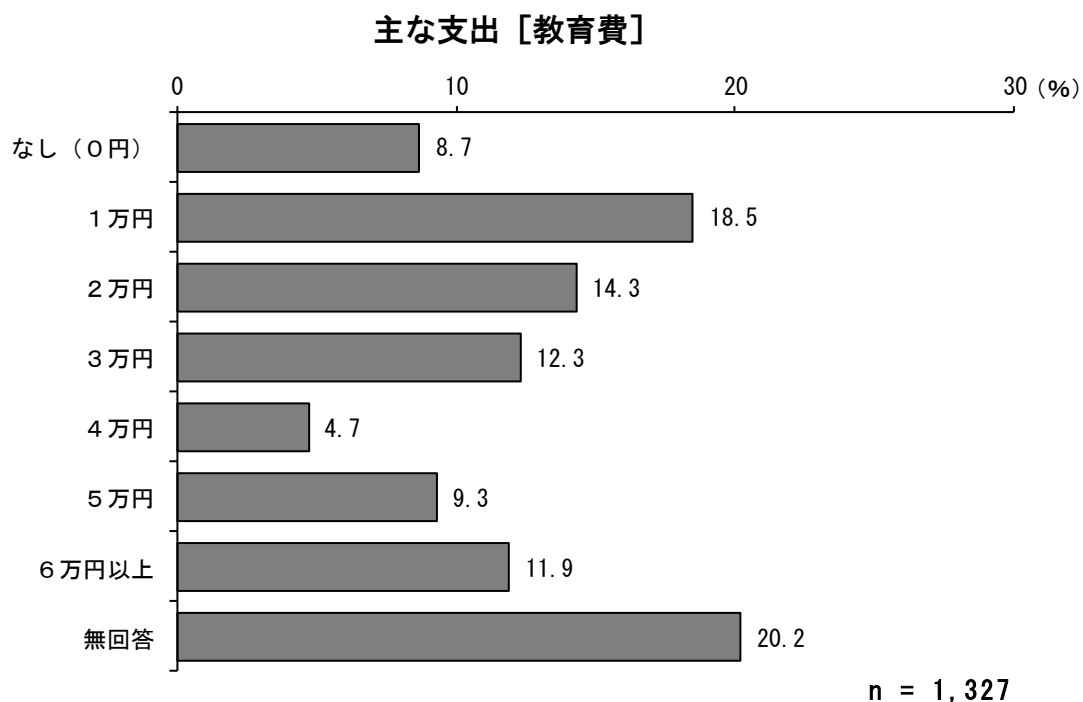


「7～8万円」が18.8%で最も高く、次いで「9～10万円」が13.1%、「5～6万円」が11.8%、「1～2万円」が10.6%となっている。

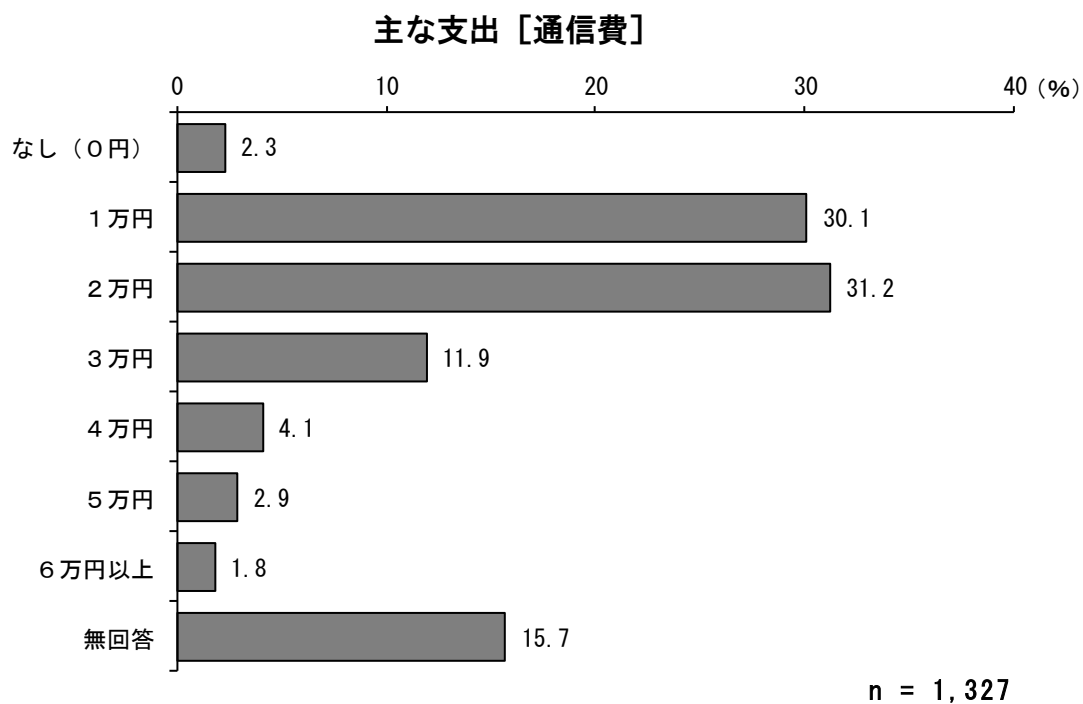
主な支出〔食費〕



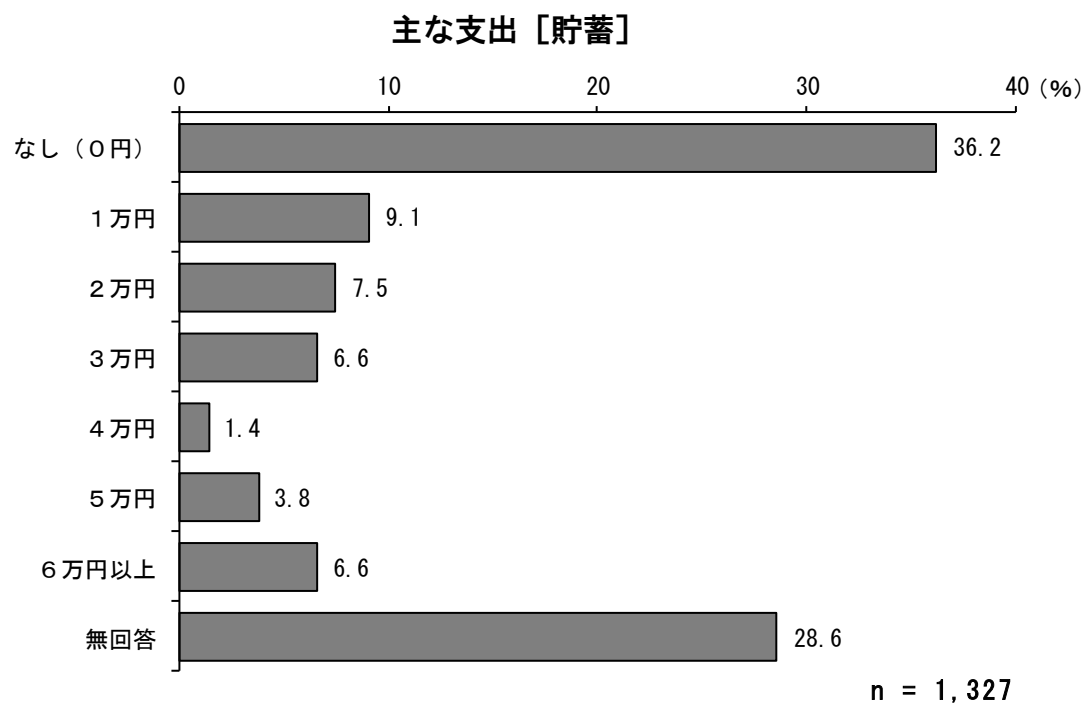
「3～4万円」が29.0%で最も高く、次いで「5～6万円」が27.9%、「7～8万円」が11.5%となっている。



「1万円」が 18.5%で最も高く、次いで「2万円」が 14.3%、「3万円」が 12.3%、「6万円以上」が 11.9%となっている。



「2万円」が 31.2%で最も高く、次いで「1万円」が 30.1%、「3万円」が 11.9%となっている。

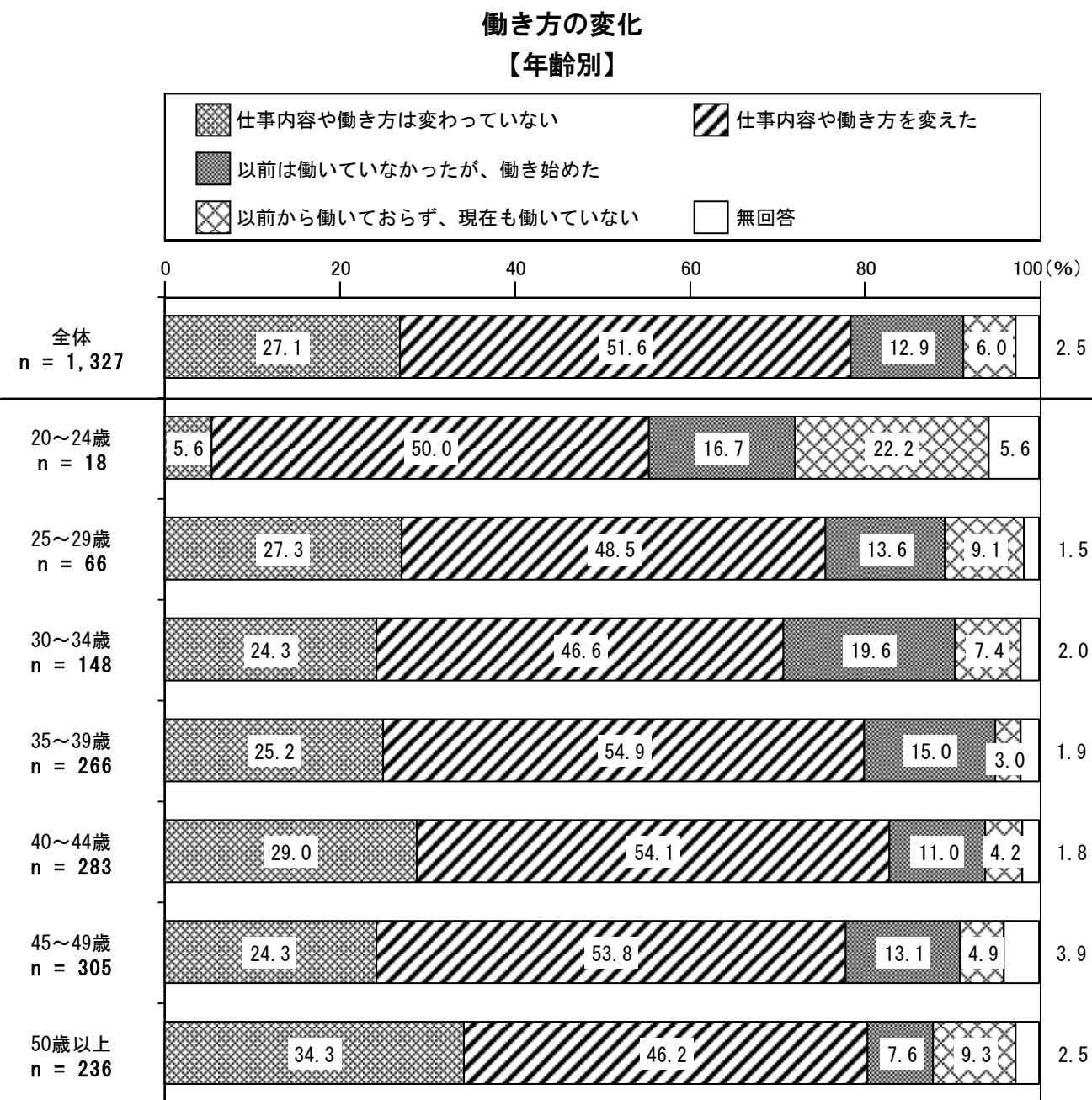


「なし (0円)」が 36.2%で最も高くなっている。

4 就労状況等について

(1) 働き方の変化

問 23. あなたはひとり親になった後、以前の働き方から変化はありましたか（○は1つ）。



「仕事内容や働き方を変えた」が51.6%で最も高くなっている。以下「仕事内容や働き方は変わっていない」が27.1%、「以前は働いていなかったが、働き始めた」が12.9%となっている。

年齢別にみると、「仕事内容や働き方は変わっていない」は【50歳以上】が34.3%と、他の区分に比べ、高くなっている。「以前は働いていなかったが、働き始めた」は【30～34歳】が19.6%と、他の区分に比べ、高くなっている。

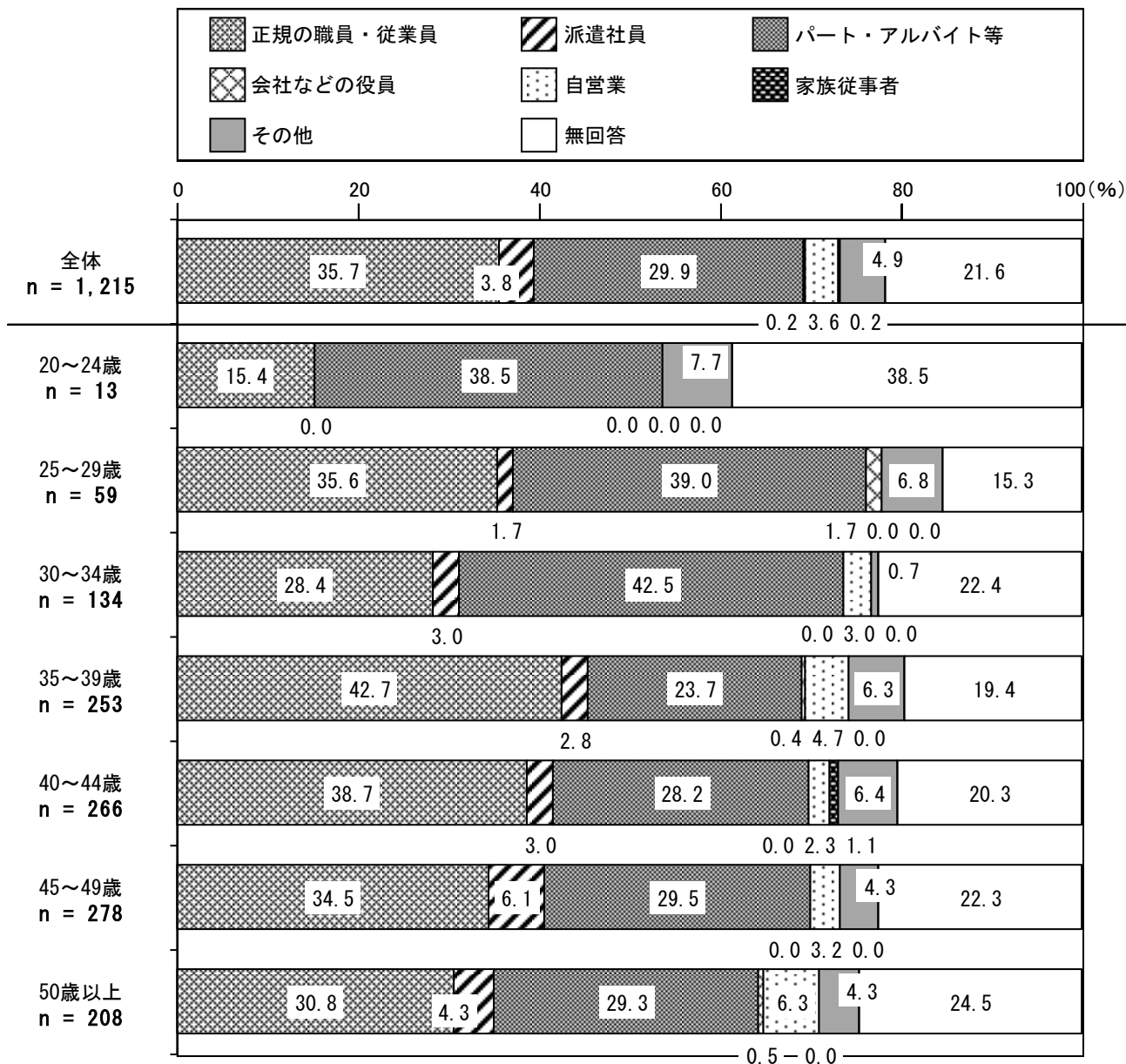
(2) 現在の雇用形態

【問 23 で、「4. 以前から働いておらず、現在も働いていない」以外に回答した方にお伺いします】

問 24. 現在の仕事の雇用形態を教えてください（○は1つ）。

現在の雇用形態

【年齢別】

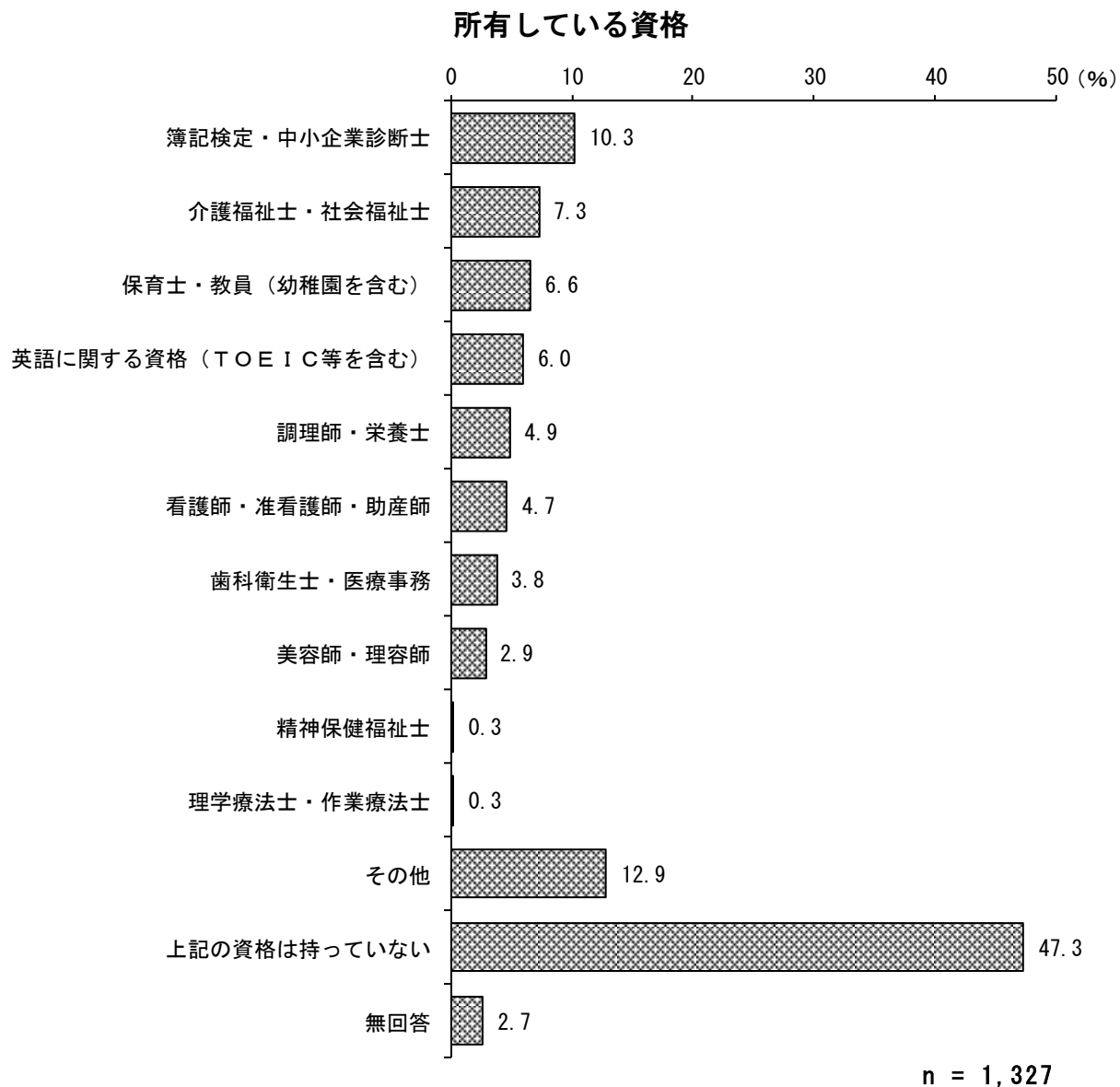


「正規の職員・従業員」が 35.7%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等」が 29.9%となっている。

年齢別にみると、「正規の職員・従業員」は【35～39 歳】が 42.7%と、他の区分に比べ、高くなっている。「パート・アルバイト等」は【30～34 歳】が 42.5%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(3) 所有している資格

問 25. あなたは現在、下記のような資格を持っていますか（○はいくつでも）。



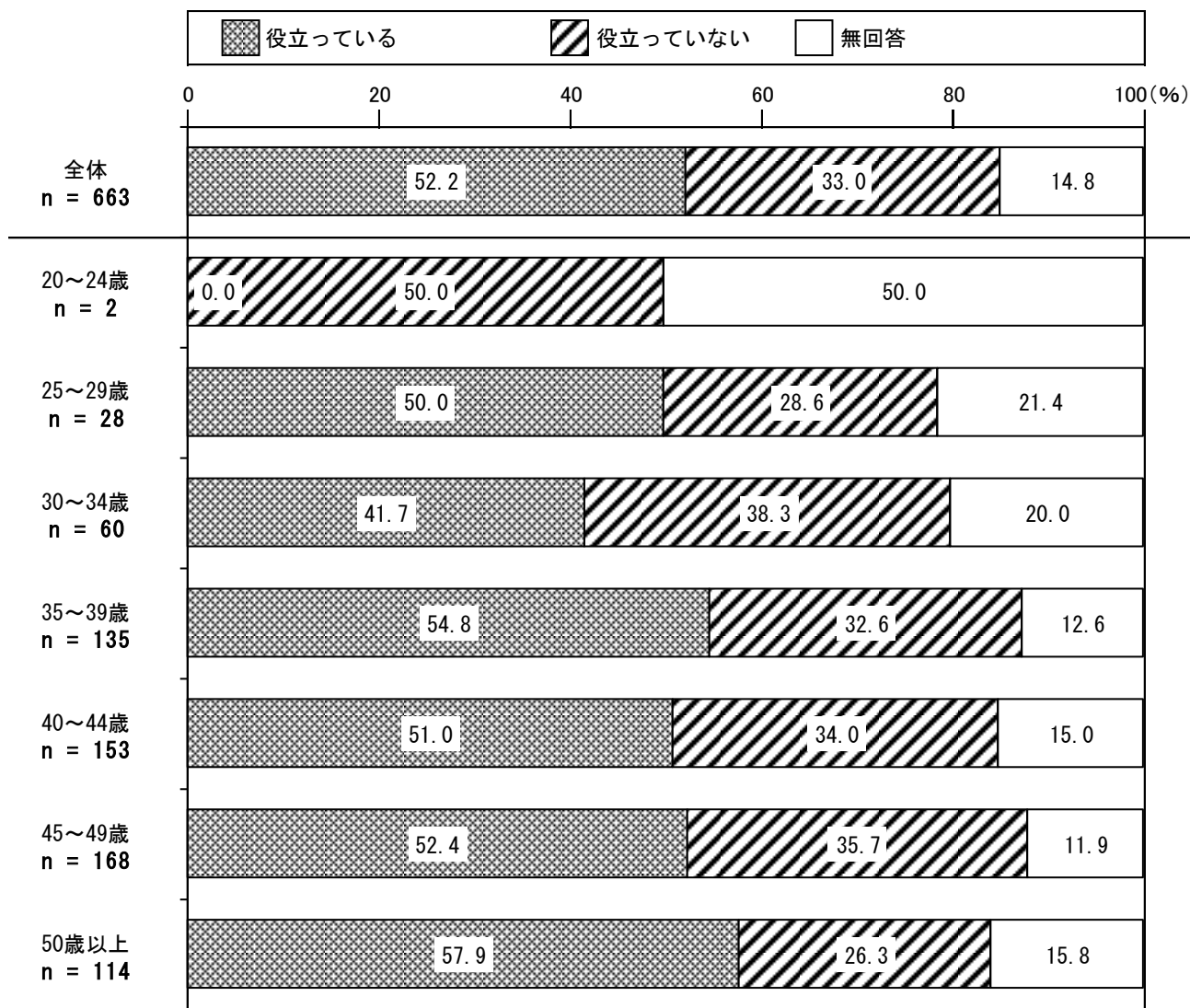
「上記の資格は持っていない」が 47.3% で最も高くなっている。
 一方、「簿記検定・中小企業診断士」が 10.3%、「介護福祉士・社会福祉士」が 7.3%、
 「保育士・教員（幼稚園を含む）」が 6.6% などとなっている。
 また、「その他」と回答した 171 人のうち、介護分野の資格が 21.1% となっている。

（４）所有している資格が現在の仕事に役立っているか

【問 25 で「11. 上記の資格は持っていない」以外を回答した方にお伺いします】

問 26. 問 25 で選んだ資格は現在の仕事に役立っていますか（○は１つ）。

所有している資格が現在の仕事に役立っているか
【年齢別】

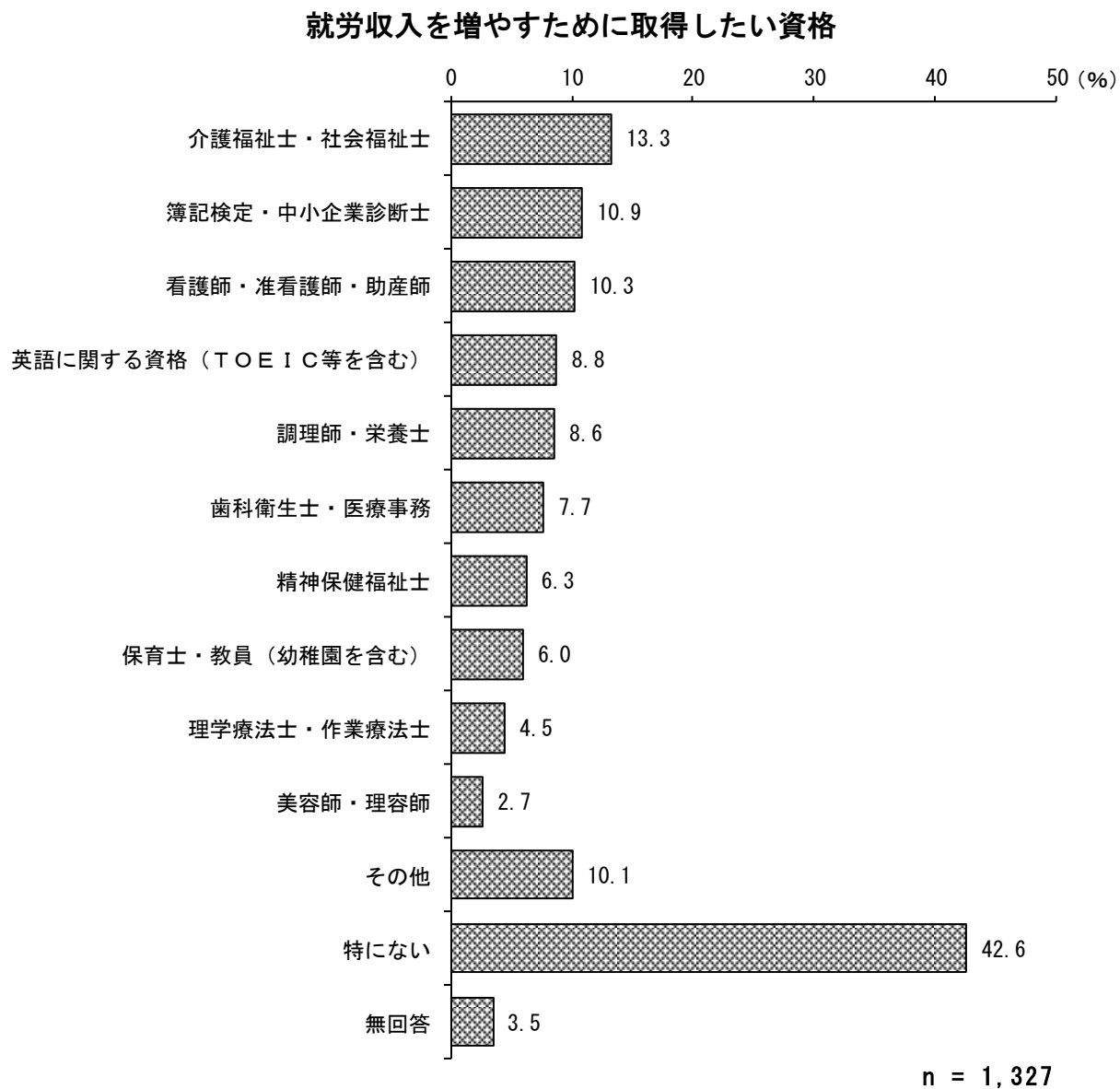


「役立っている」が52.2%、「役立っていない」が33.0%となっている。

年齢別にみると、「役立っている」は【50歳以上】が57.9%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(5) 就労収入を増やすために取得したい資格

問 27. あなたが就労収入を増やすために、取得したいと思う資格は何ですか
(○はいくつでも)。



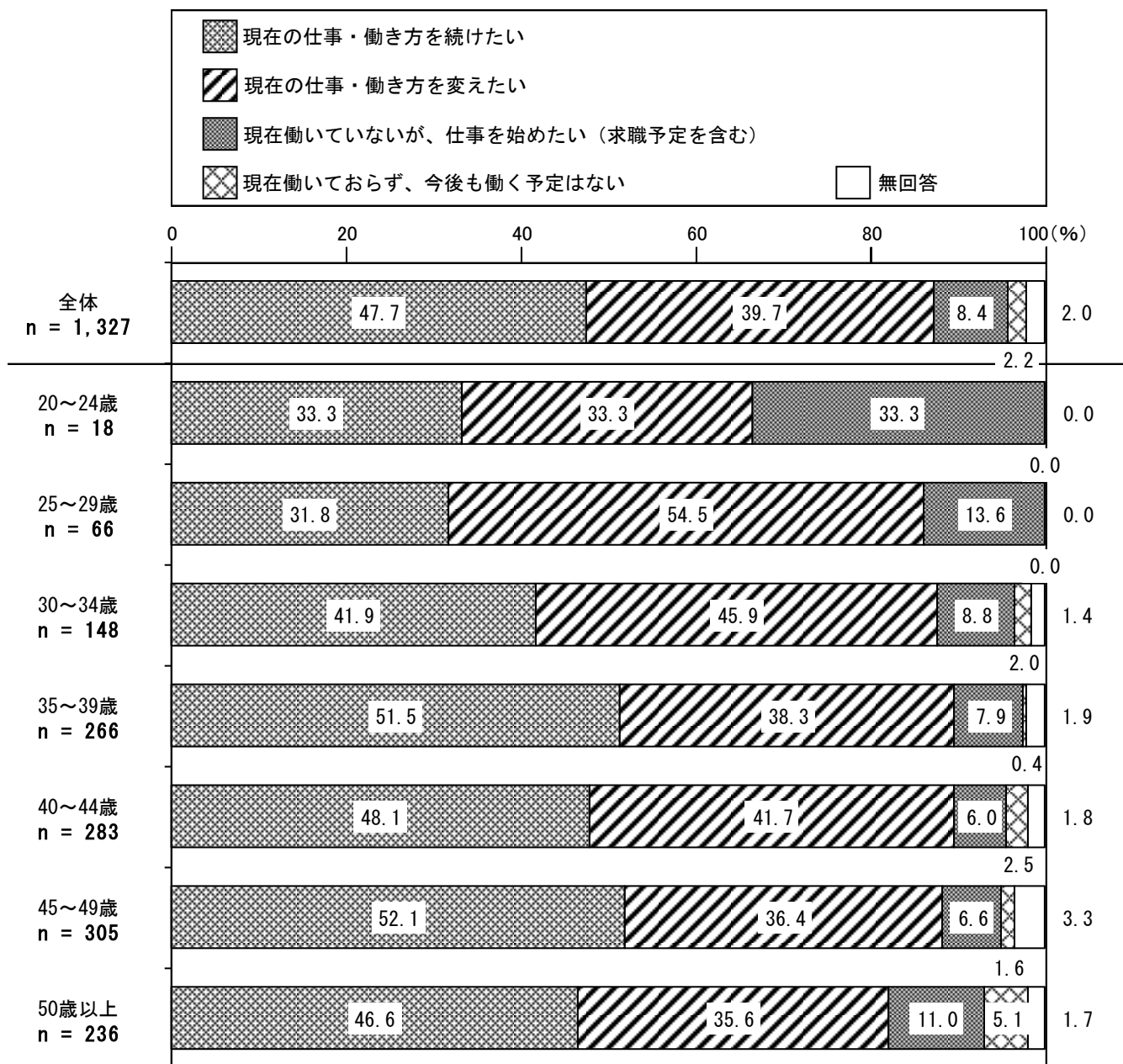
「特にない」が42.6%で最も高くなっている。

一方、「介護福祉士・社会福祉士」が13.3%、「簿記検定・中小企業診断士」が10.9%、「看護師・准看護師・助産師」が10.3%などとなっている。

（６）現在の仕事・働き方を変えたいか

問 28. あなたは現在の仕事・働き方について変えたいと思いますか（○は１つ）。
※現在、「働いていない」方もお答えください。

現在の仕事・働き方を変えたいか
【年齢別】

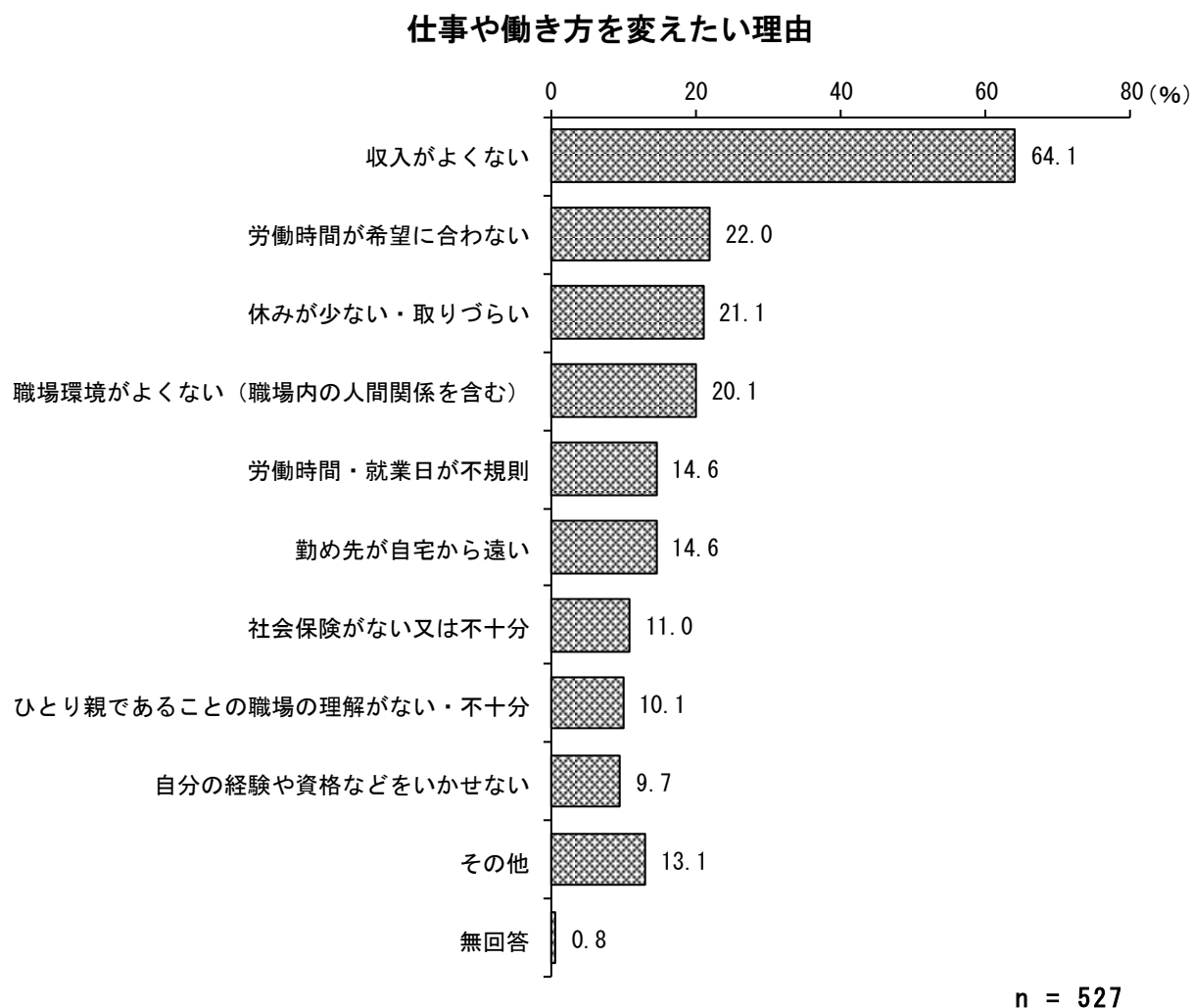


「現在の仕事・働き方を続けたい」が47.7%で最も高く、次いで「現在の仕事・働き方を変えたい」が39.7%となっている。

年齢別にみると、「現在の仕事・働き方を変えたい」は【25～29歳】が54.5%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(7) 仕事や働き方を変えたい理由

【問 28 で「2. 現在の仕事・働き方を変えたい」と回答した方にお伺いします】
問 28-1. 仕事や働き方を変えたい理由を教えてください（○はいくつでも）。

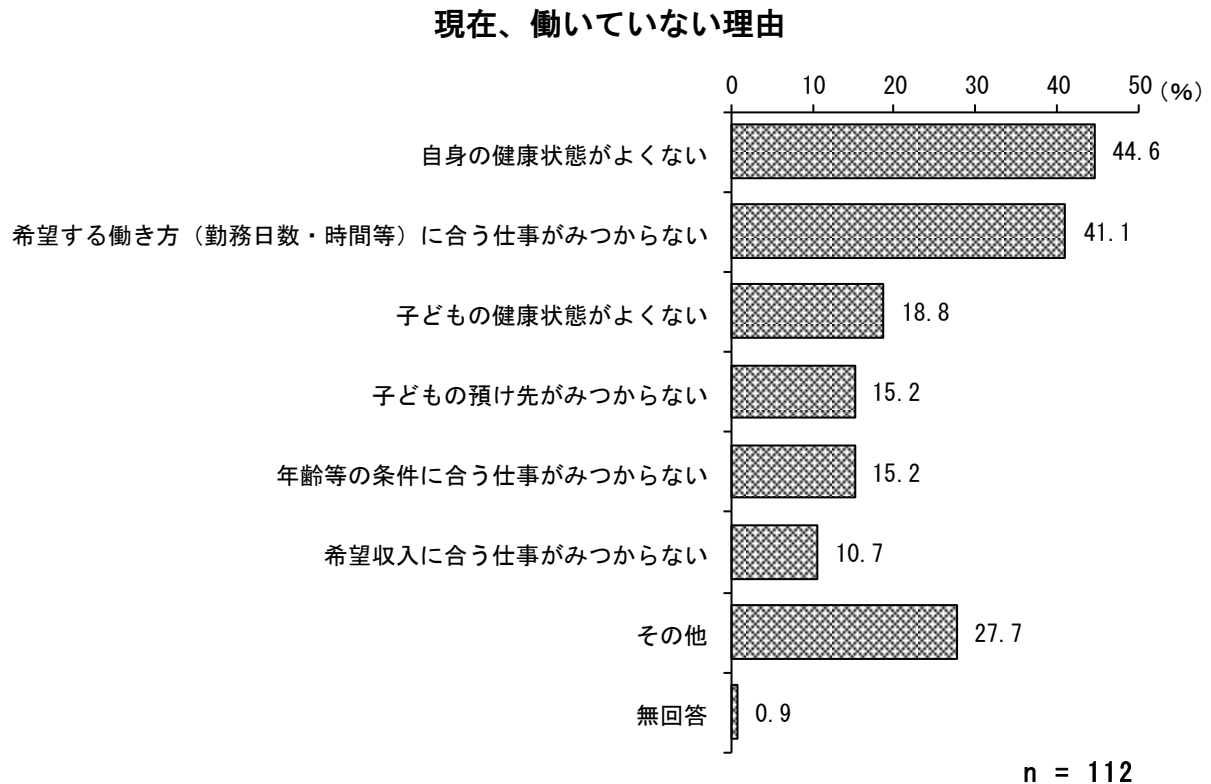


「収入がよくない」が 64.1% で最も高くなっている。以下「労働時間が希望に合わない」が 22.0%、「休みが少ない・取りづらい」が 21.1%、「職場環境がよくない（職場内の人間関係を含む）」が 20.1% となっている。

（８）現在、働いていない理由

【問 28 で「３．現在働いていないが、仕事を始めたい（求職予定を含む）」と回答した方にお伺いします】

問 28－２．現在、働いていない理由を教えてください（○はいくつでも）。



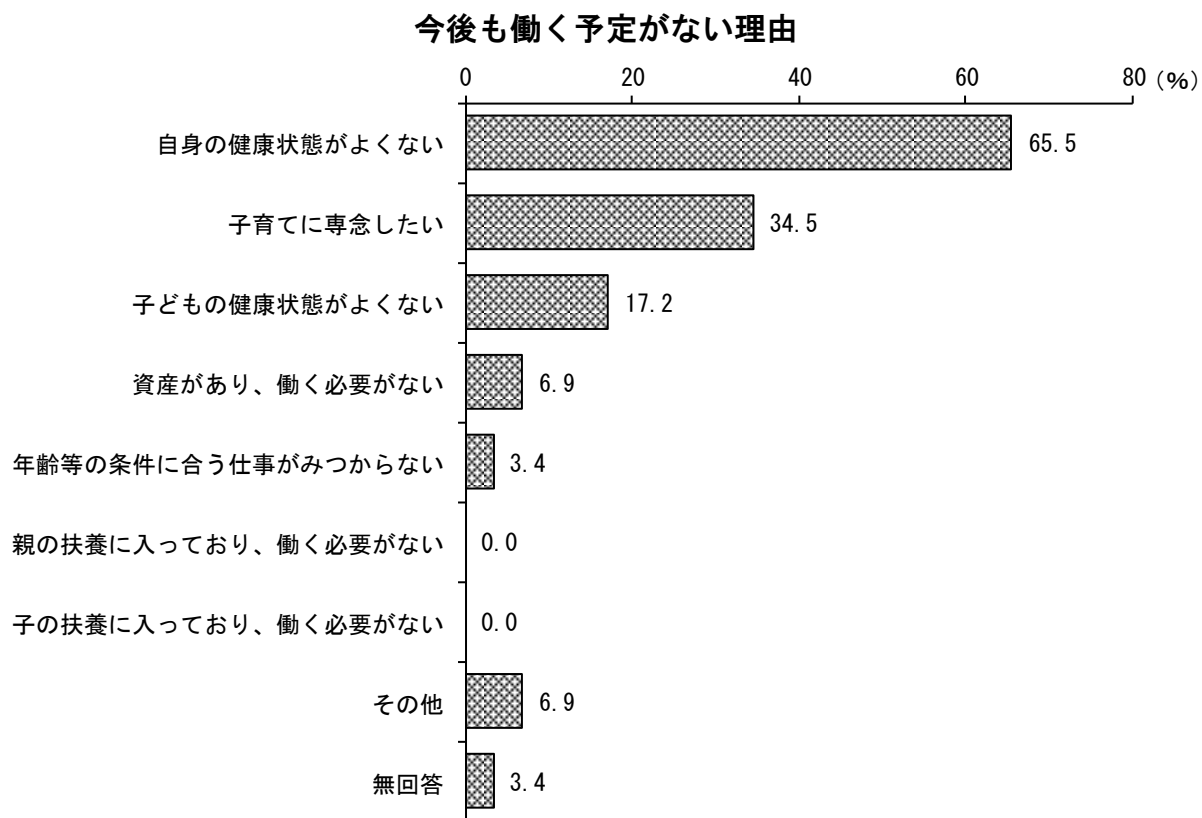
「自身の健康状態がよくない」が 44.6% で最も高く、次いで「希望する働き方（勤務日数・時間等）に合う仕事が見つからない」が 41.1% となっている。

また、「その他」と回答した 31 人のうち、修学中が 41.9%、子育て・介護に専念が 29.0% となっている。

(9) 今後も働く予定がない理由

【問 28 で「4. 現在働いておらず、今後も働く予定はない」と回答した方にお伺いします】

問 28-3. 今後も働く予定がない理由を教えてください（○はいくつでも）。



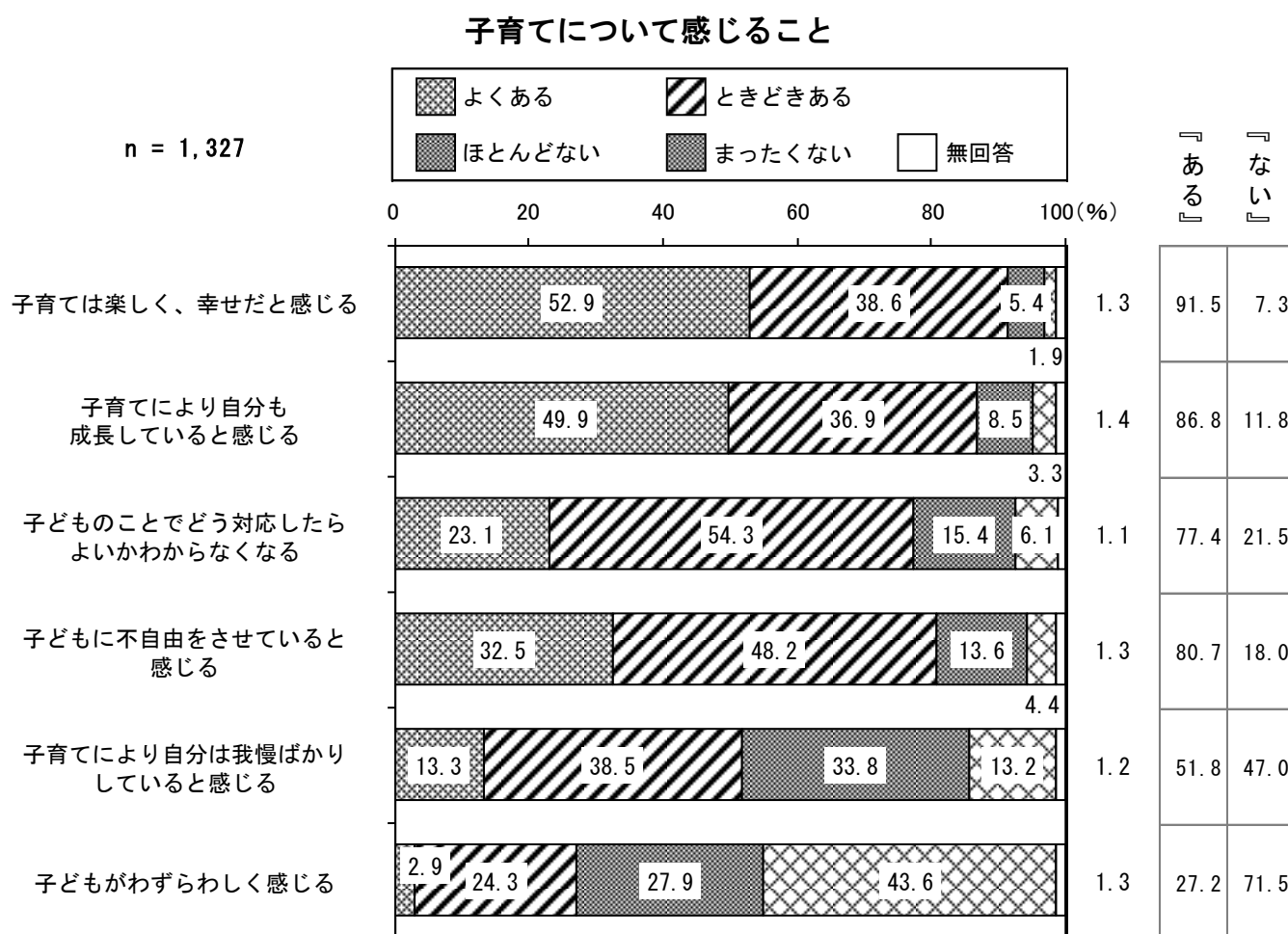
n = 29

回答者数が少ないため、コメントは控える。

5 お子さんのことについて

(1) 子育てについて感じる事

問 29. あなたは最近、子育てについて次のようなことを感じることはありますか。



「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』について、[子育ては楽しく、幸せだと感じる]が91.5%で最も高く、次いで[子育てにより自分も成長していると感じる]が86.8%、[子どもに不自由をさせていると感じる]が80.7%となっている。

一方、「まったくない」と「ほとんどない」を合わせた『ない』について、[子どもがわずらわしく感じる]が71.5%で最も高くなっている。以下[子育てにより自分は我慢ばかりしていると感じる]が47.0%となっている。

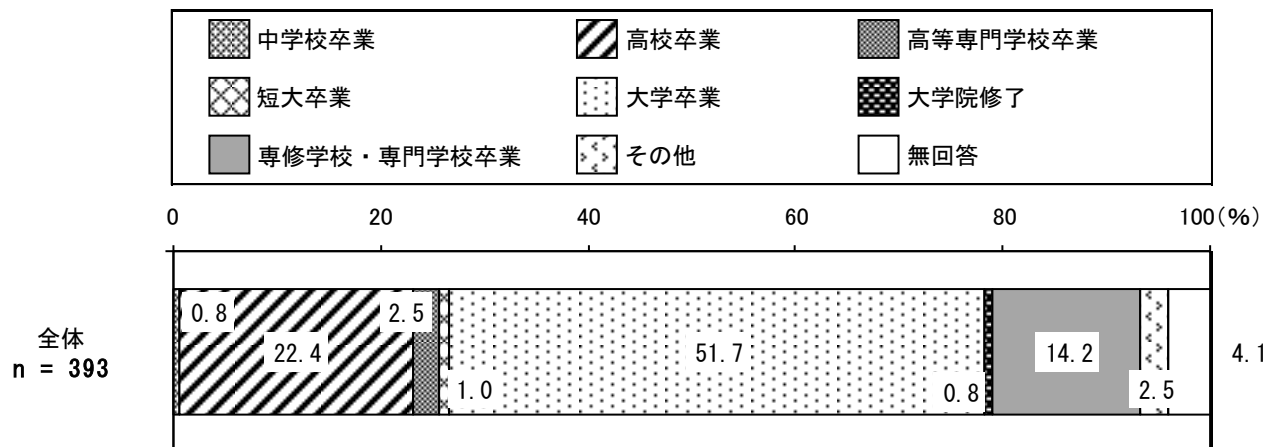
（２）子どもの進学（最終学歴）について

問 30. 中学生のお子さんがある方にお聞きます。

お子さんの進学（最終学歴）をどの段階までを考えていますか（○は１つ）。

中学生のお子さんが複数いる場合には、その中で一番上のお子さんについてご回答ください。

子どもの進学（最終学歴）について

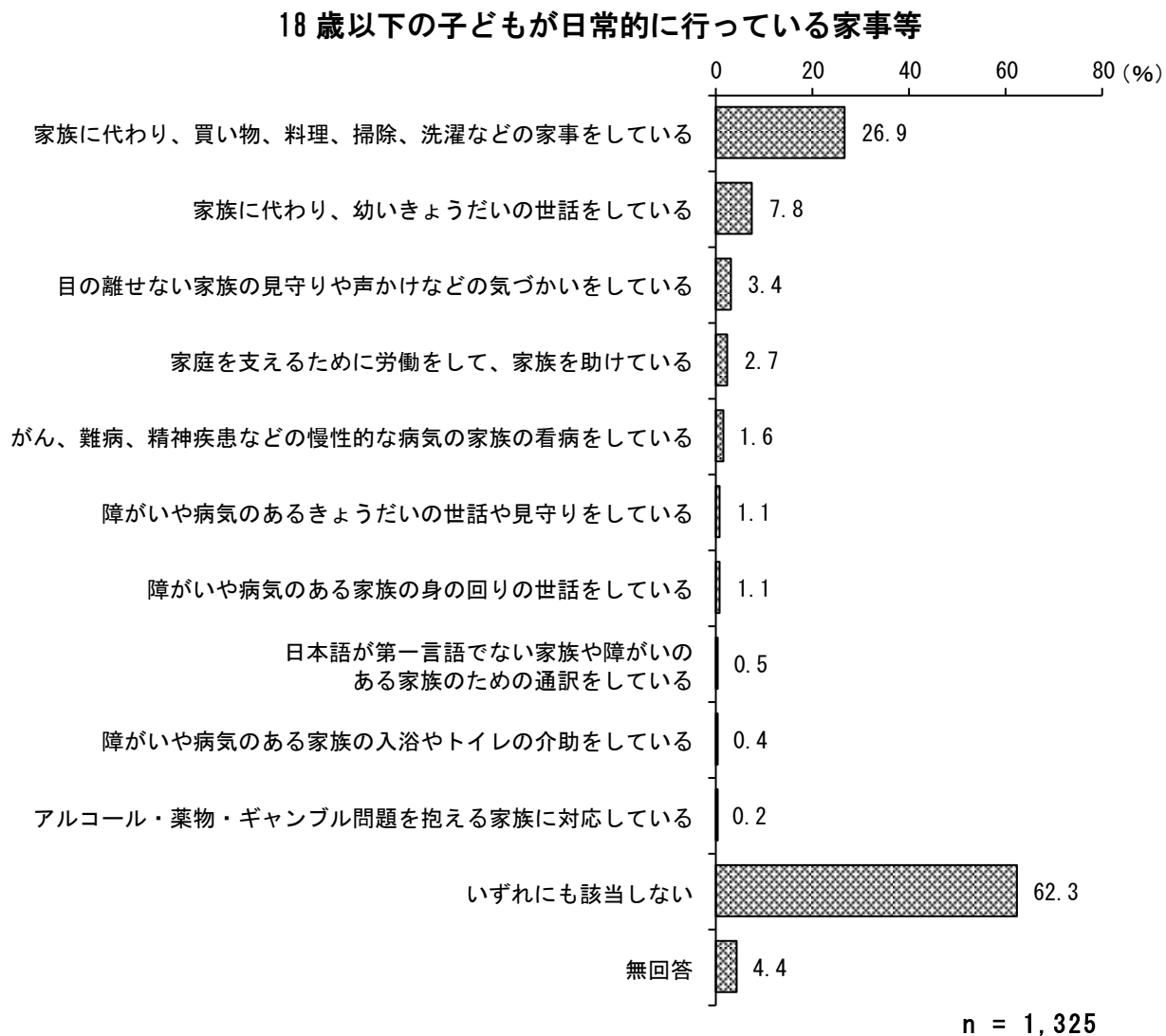


「大学卒業」が 51.7%で最も高くなっている。以下「高校卒業」が 22.4%、「専修学校・専門学校卒業」が 14.2%となっている。

(3) 18 歳以下の子どもが日常的に行っている家事等

問 31. 18 歳以下のお子さんと同居している方にお聞きます。

お子さんは、日常的に次のようなことをしていますか（○はいくつでも）。



「いずれにも該当しない」が 62.3% で最も高くなっている。

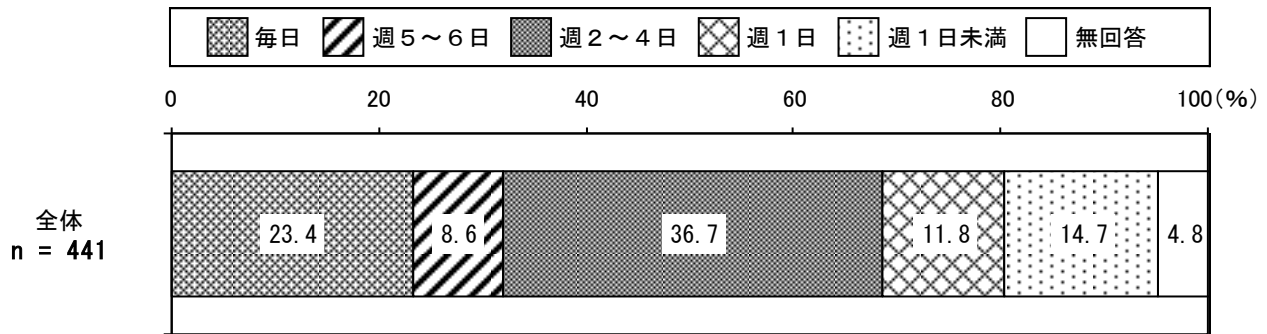
一方、「家族に代わり、買い物、料理、掃除、洗濯などの家事をしている」が 26.9% などとなっている。

(4) 18 歳以下の子どもが日常的に行っている家事等の頻度

【問 31 で、「1」～「10」と回答した方にお伺いします】

問 31－1. 頻度はどのくらいですか（○は1つ）。

18 歳以下の子どもが日常的に行っている家事等の頻度



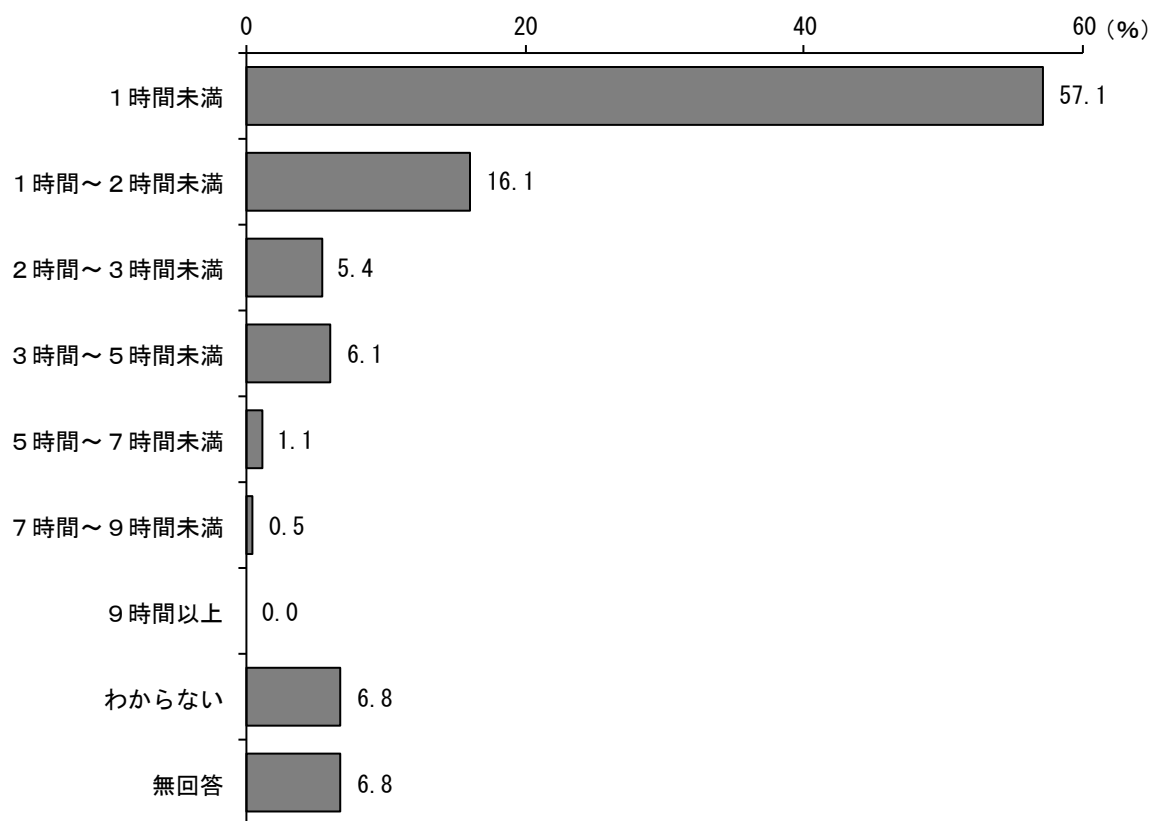
「週2～4日」が 36.7%で最も高く、次いで「毎日」が 23.4%、「週1日未満」が 14.7%、「週1日」が 11.8%となっている。

(5) 18 歳以下の子どもが日常的に行っている家事等の 1 日あたりの時間

【問 31 で、「1」～「10」と回答した方にお伺いします】

問 31-2. 平日 1 日あたりの時間は平均してどれくらいですか（○は 1 つ）。

18 歳以下の子どもが日常的に行っている家事等の 1 日あたりの時間



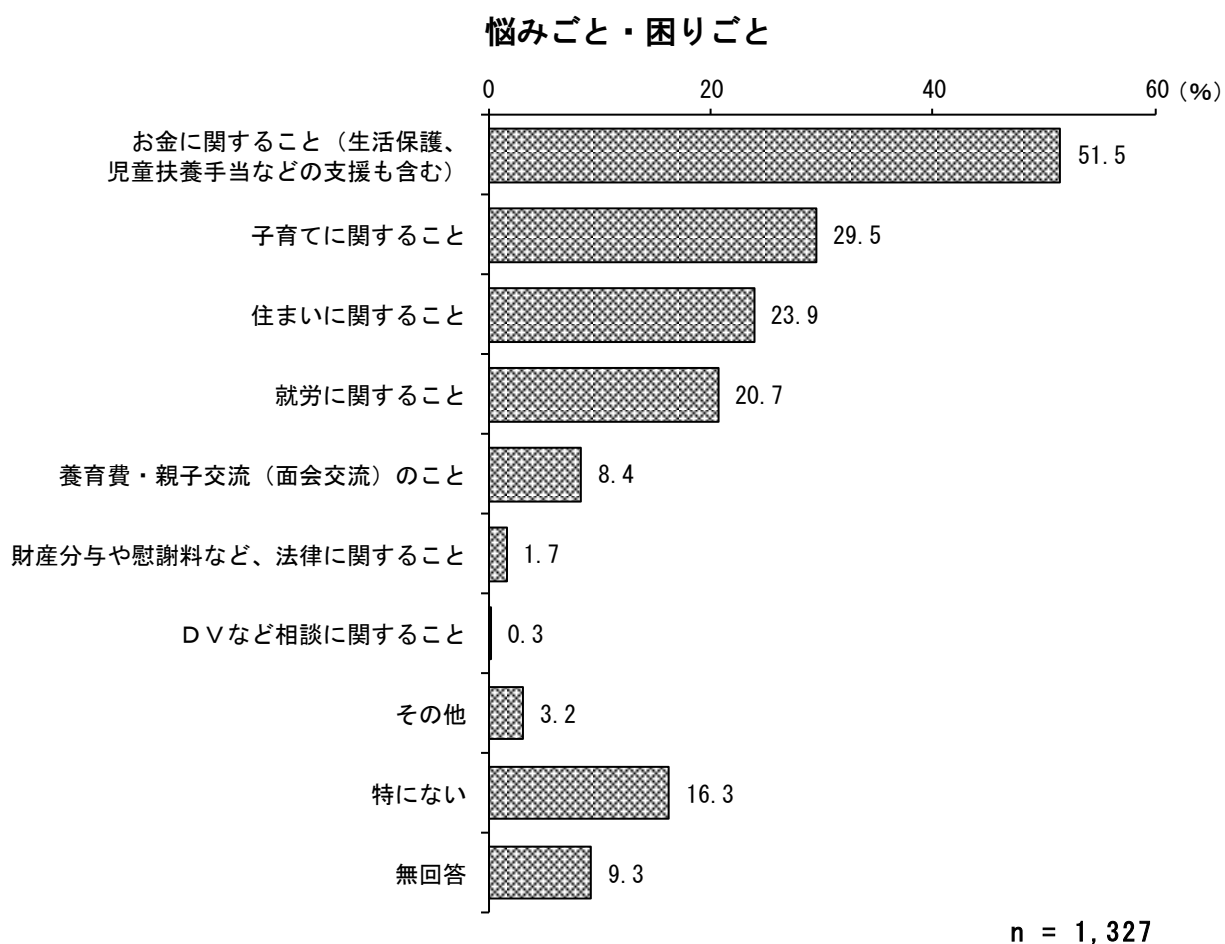
n = 441

「1 時間未満」が 57.1%で最も高くなっている。以下「1 時間～2 時間未満」が 16.1%となっている。

6 悩みごとや困ったことについて

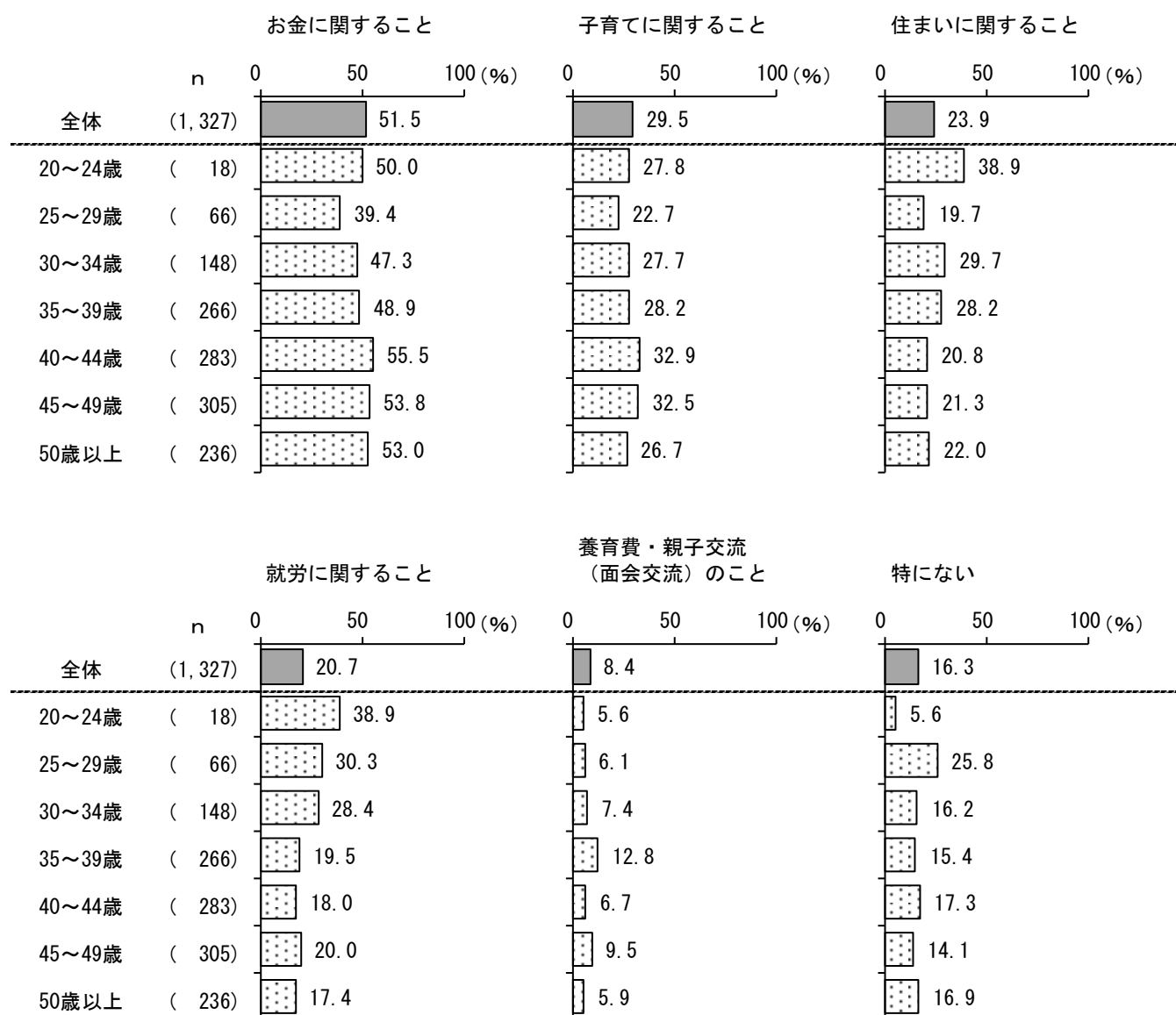
(1) 悩みごと・困りごと

問 32. 悩んでいる・困っていることについて教えてください（○は3つまで）。



「お金に関すること（生活保護、児童扶養手当などの支援も含む）」が 51.5%で最も高くなっている。以下「子育てに関すること」が 29.5%、「住まいに関すること」が 23.9%、「就労に関すること」が 20.7%となっている。

悩みごと・困りごと (上位5位+「特にない」)【年齢別】



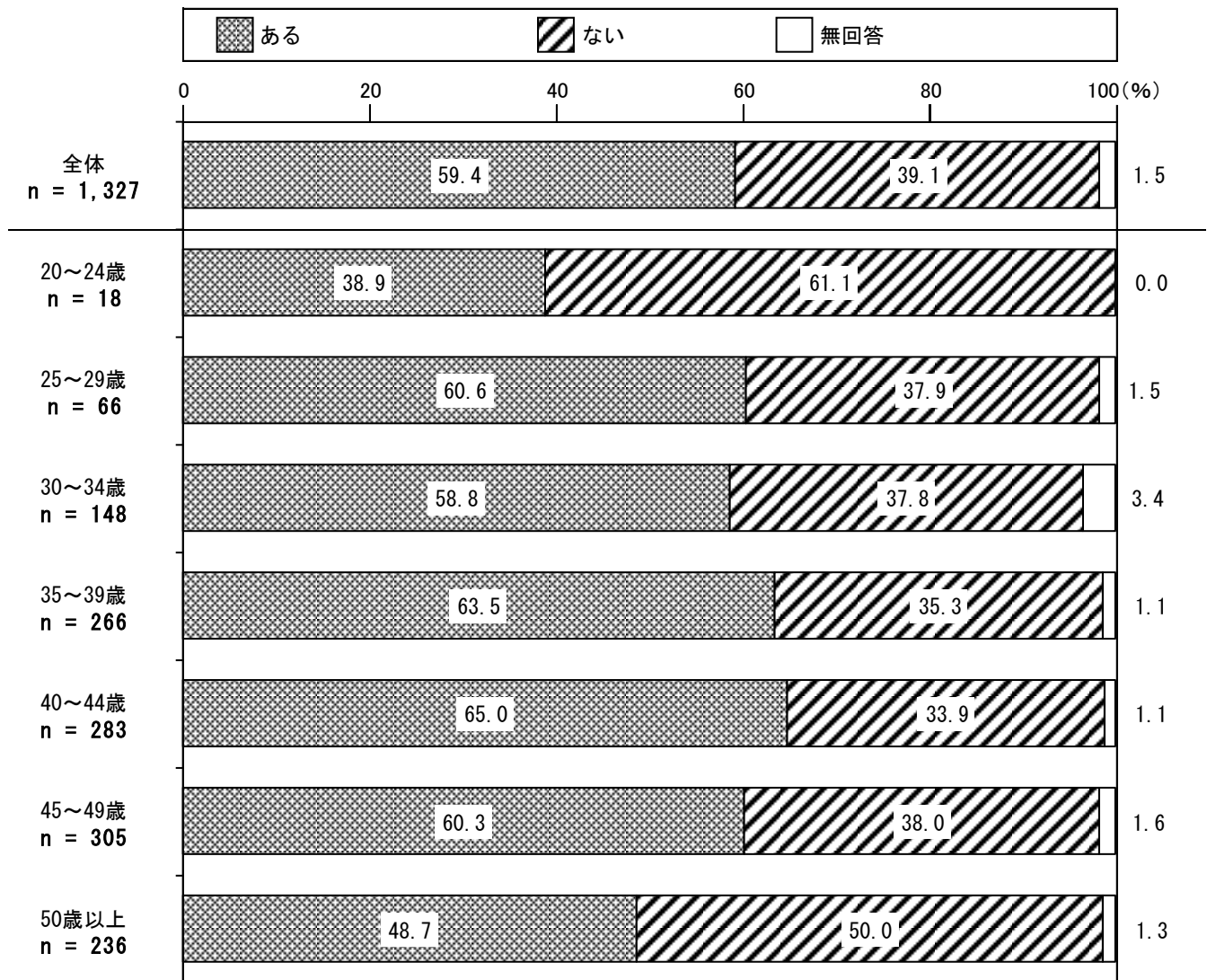
上位5位+「特にない」について、年齢別にみると、「特にない」は【25～29歳】が25.8%と、他の区分に比べ、高くなっている。

一方、「お金に関すること（生活保護、児童扶養手当などの支援も含む）」は【25～29歳】が39.4%と、他の区分に比べ、低くなっている。

（２）子を通じた親同士の交流の有無

問 33. あなたのお子さんを通じた親（子どもの友だちの親）同士の交流等がありますか（○は１つ）。

子を通じた親同士の交流の有無
【年齢別】

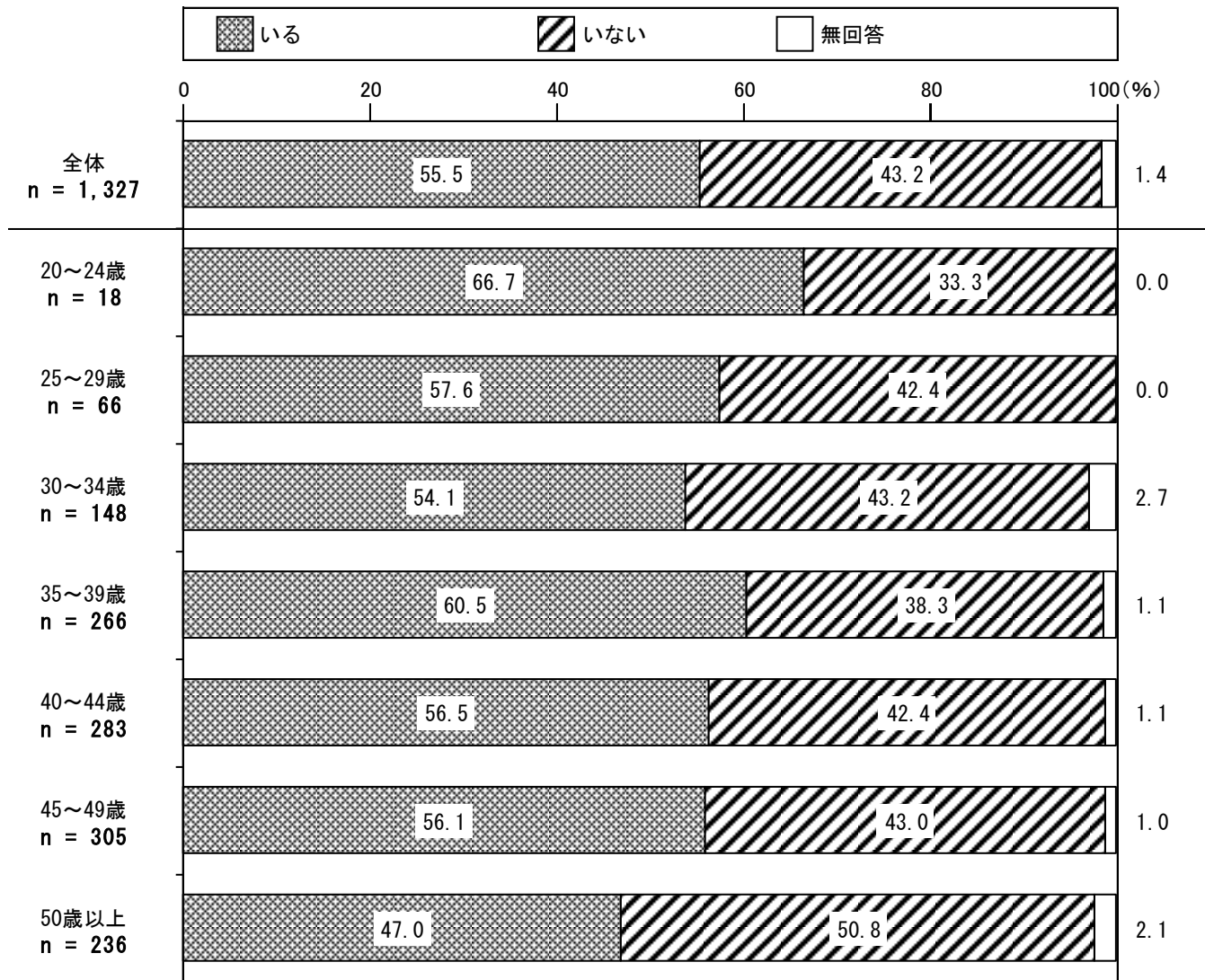


「ある」が59.4%、「ない」が39.1%となっている。
年齢別にみると、「ある」は【40～44歳】が65.0%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(3) ひとり親の仲間や友人の有無

問 34. あなたには他のひとり親の仲間・友人はいますか (○は1つ)。

ひとり親の仲間や友人の有無
【年齢別】



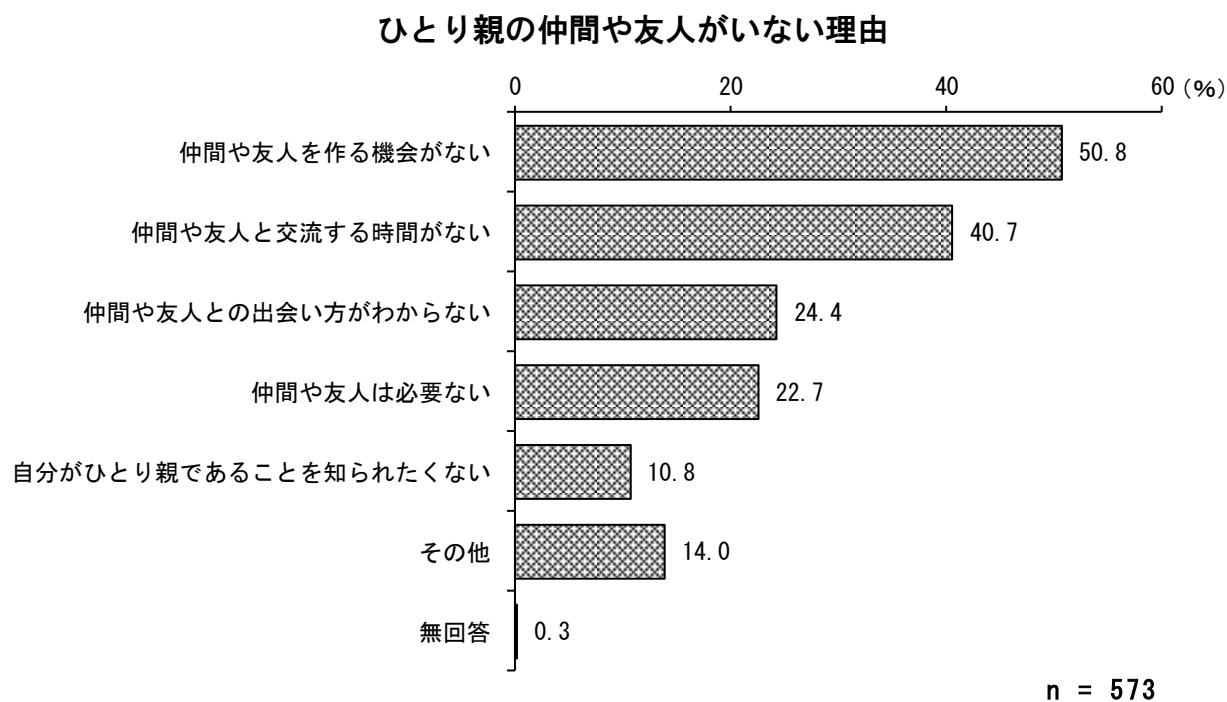
「いる」が55.5%、「いない」が43.2%となっている。

年齢別にみると、「いない」は【50歳以上】が50.8%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(4) ひとり親の仲間や友人がいない理由

【問 34 で、「2. いない」と回答した方にお伺いします】

問 34－1. 他のひとり親の仲間・友人がいない理由を教えてください（○はいくつでも）。

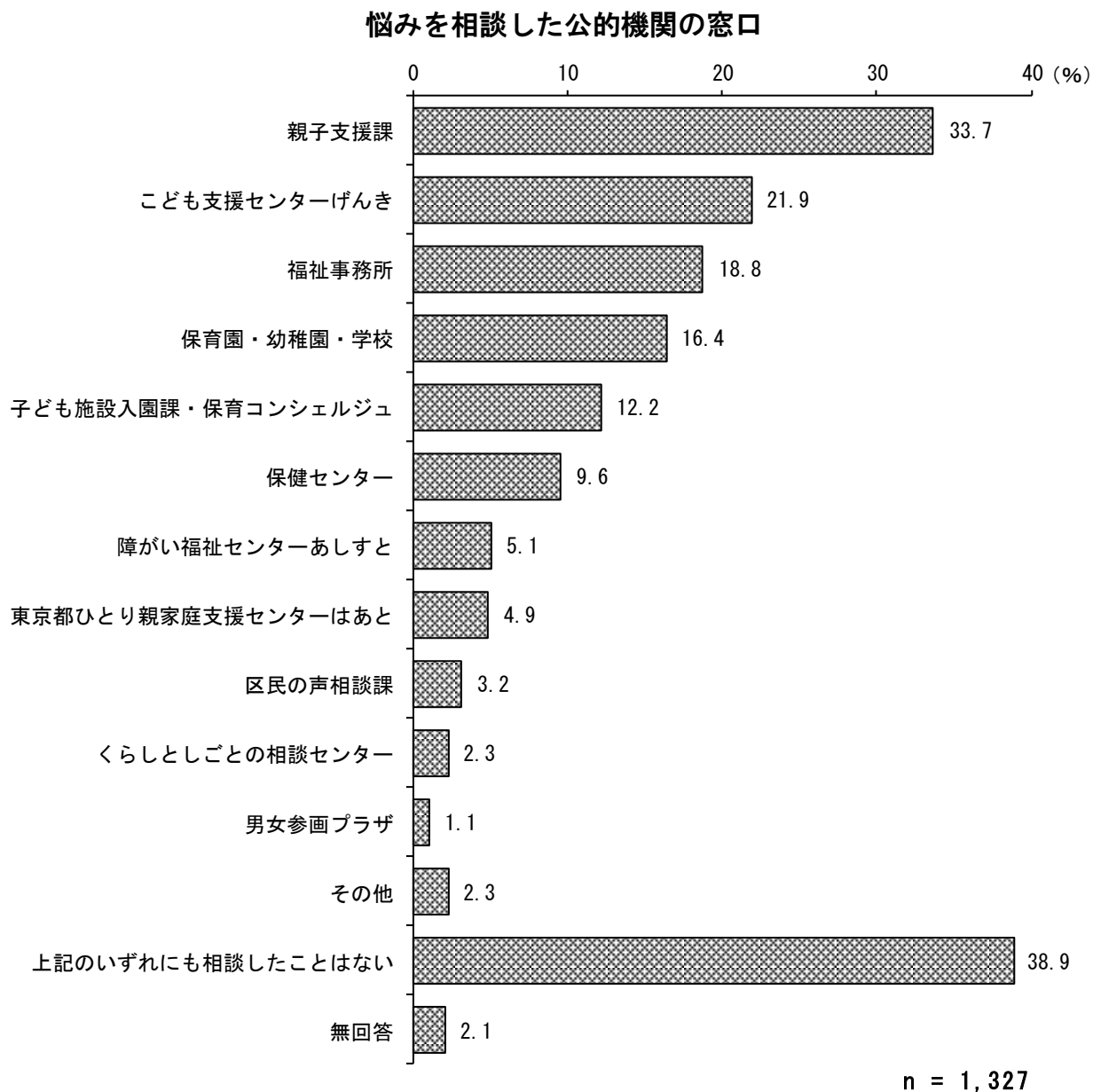


「仲間や友人を作る機会がない」が 50.8%で最も高く、次いで「仲間や友人と交流する時間がない」が 40.7%、「仲間や友人との出会い方がわからない」が 24.4%、「仲間や友人は必要ない」が 22.7%となっている。

また、「その他」と回答した 80 人のうち、ひとり親かどうかで仲間や友人をつくっていない方が大半であった。

(5) 悩みを相談した公的機関の窓口

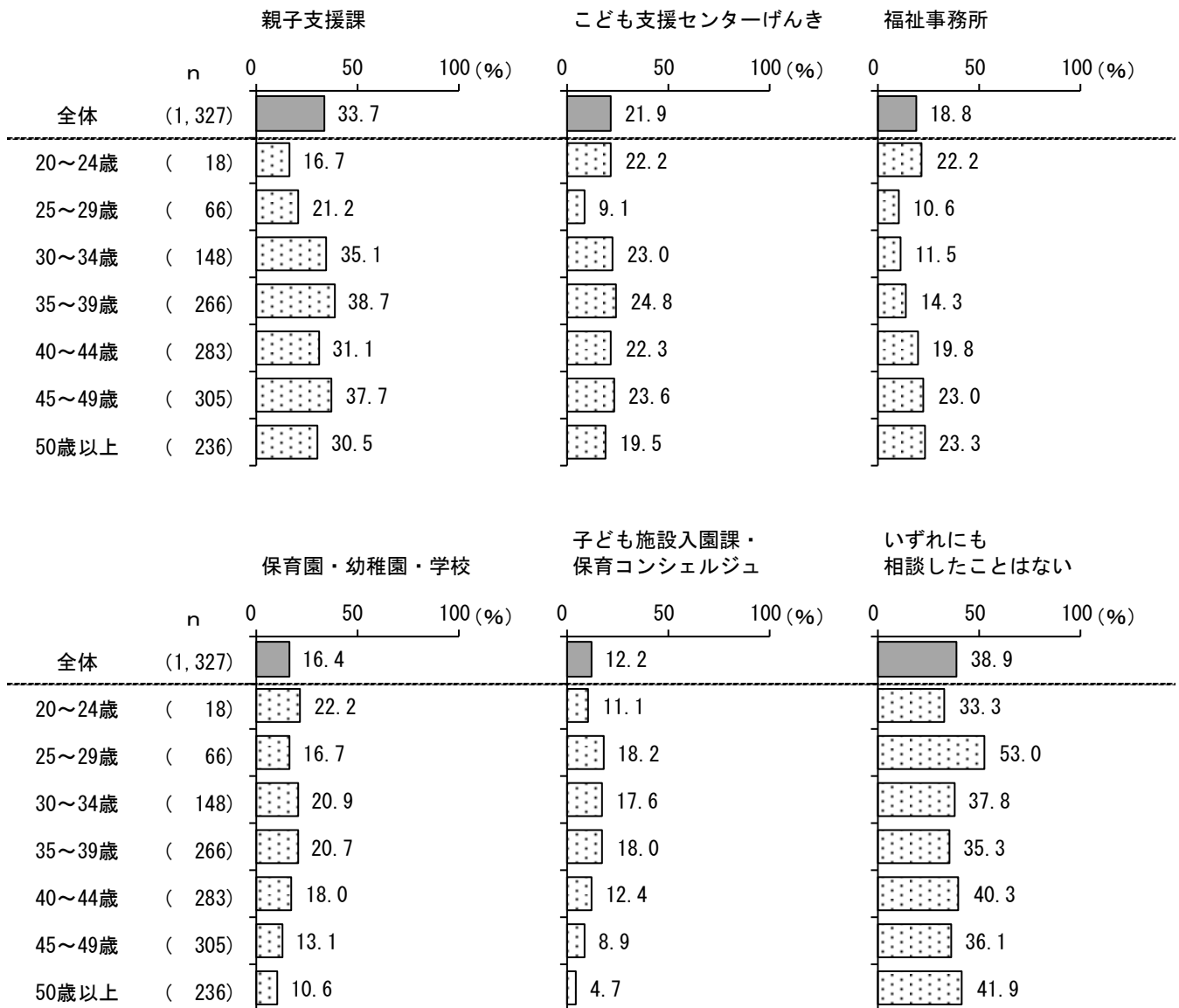
問 35. ひとり親家庭になってから、子育てや生活の悩みについて、区役所など公的機関の窓口で相談したことはありますか。相談で利用したことがある場所すべてに○をつけてください（○はいくつでも）。



「いずれにも相談したことはない」が 38.9% で最も高くなっている。

一方、「親子支援課（ひとり親家庭に関する相談など）」が 33.7%、「こども支援センターげんき（子育て相談、教育相談など）」が 21.9%、「福祉事務所（生活保護、母子・父子福祉資金に関する相談など）」が 18.8%、「保育園・幼稚園・学校」が 16.4%、「子ども施設入園課・保育コンシェルジュ（認可保育所、認定こども園に関する相談など）」が 12.2% などとなっている。

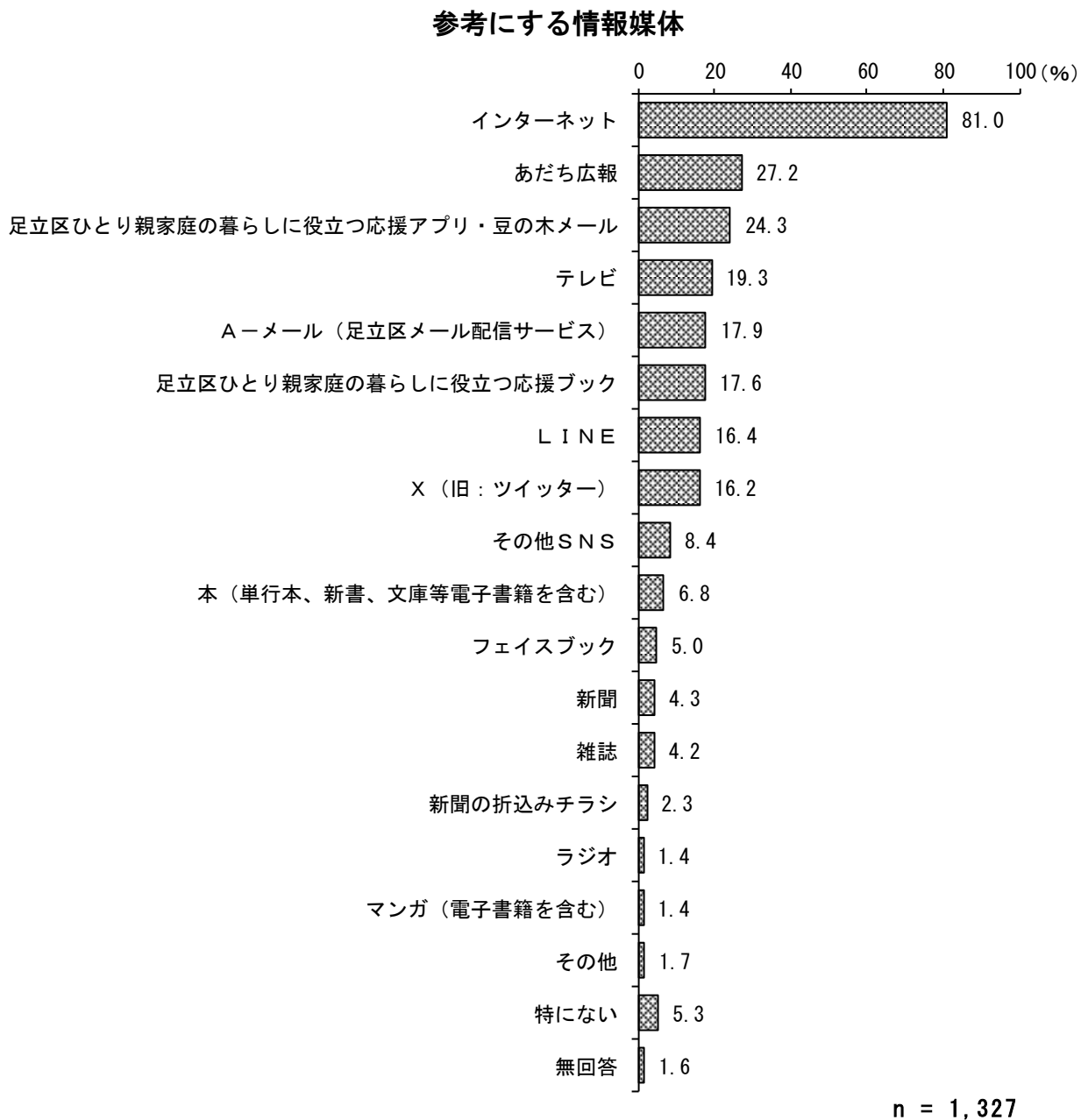
悩みを相談した公的機関の窓口
(上位5位+「いずれにも相談したことはない」)【年齢別】



上位5位+「いずれにも相談したことはない」について、年齢別にみると、「いずれにも相談したことはない」は【25～29歳】が53.0%と、他の区分に比べ、高くなっている。「子ども施設入園課・保育コンシェルジュ（認可保育所、認定こども園に関する相談など）」は【25～29歳】が18.2%と、他の区分に比べ、高くなっている。「親子支援課（ひとり親家庭に関する相談など）」は【35～39歳】が38.7%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(6) 参考にする情報媒体

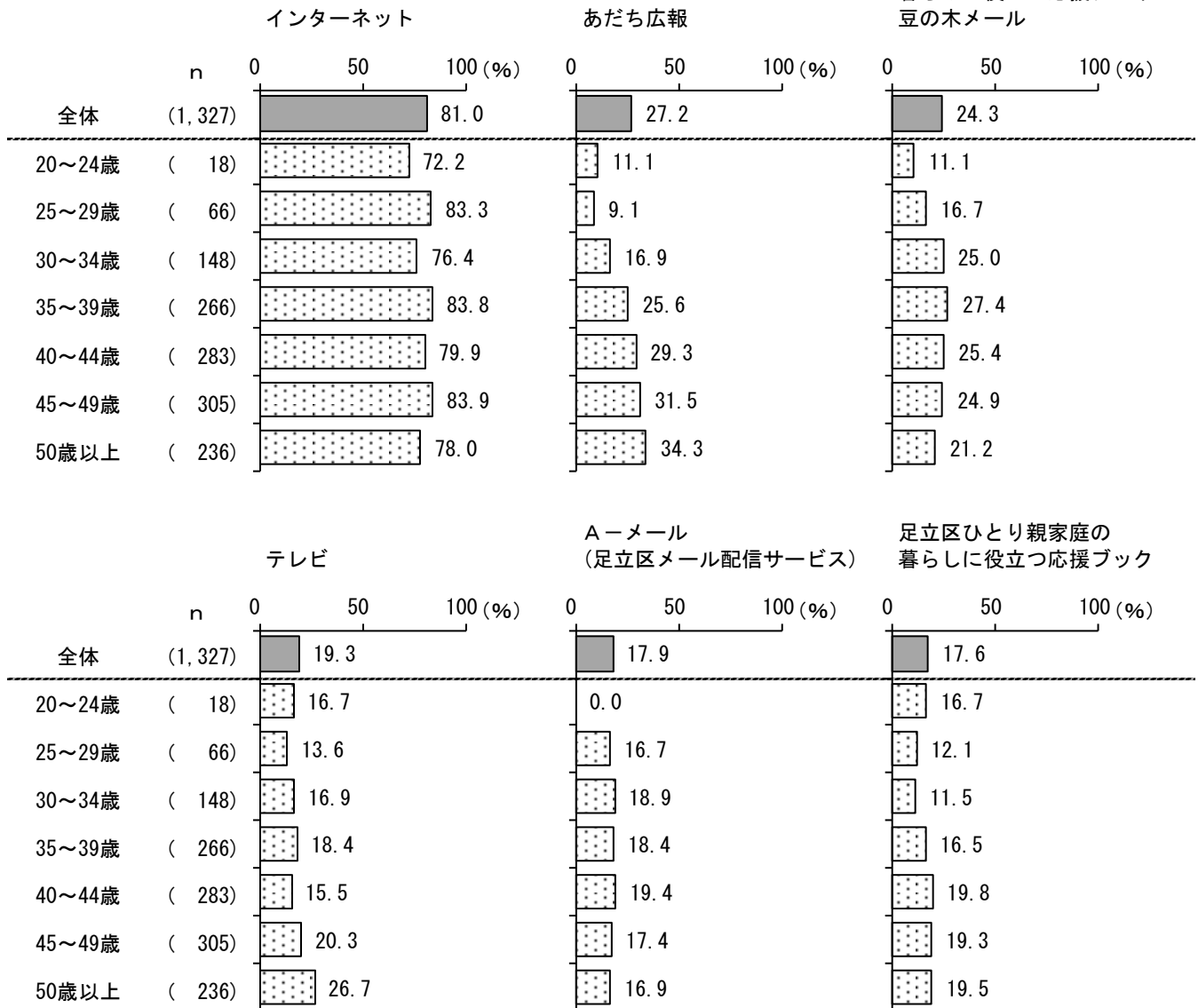
問 36. あなたが知りたい情報があるとき、どのような媒体を参考にしますか
(○はいくつでも)。



「インターネット」が 81.0%で最も高くなっている。以下「あだち広報」が 27.2%、「足立区ひとり親家庭の暮らしに役立つ応援アプリ・豆の木メール」が 24.3%、「テレビ」が 19.3%、「Aメール (足立区メール配信サービス)」が 17.9%、「足立区ひとり親家庭の暮らしに役立つ応援ブック」が 17.6%となっている。

参考にする情報媒体 (上位6位)【年齢別】

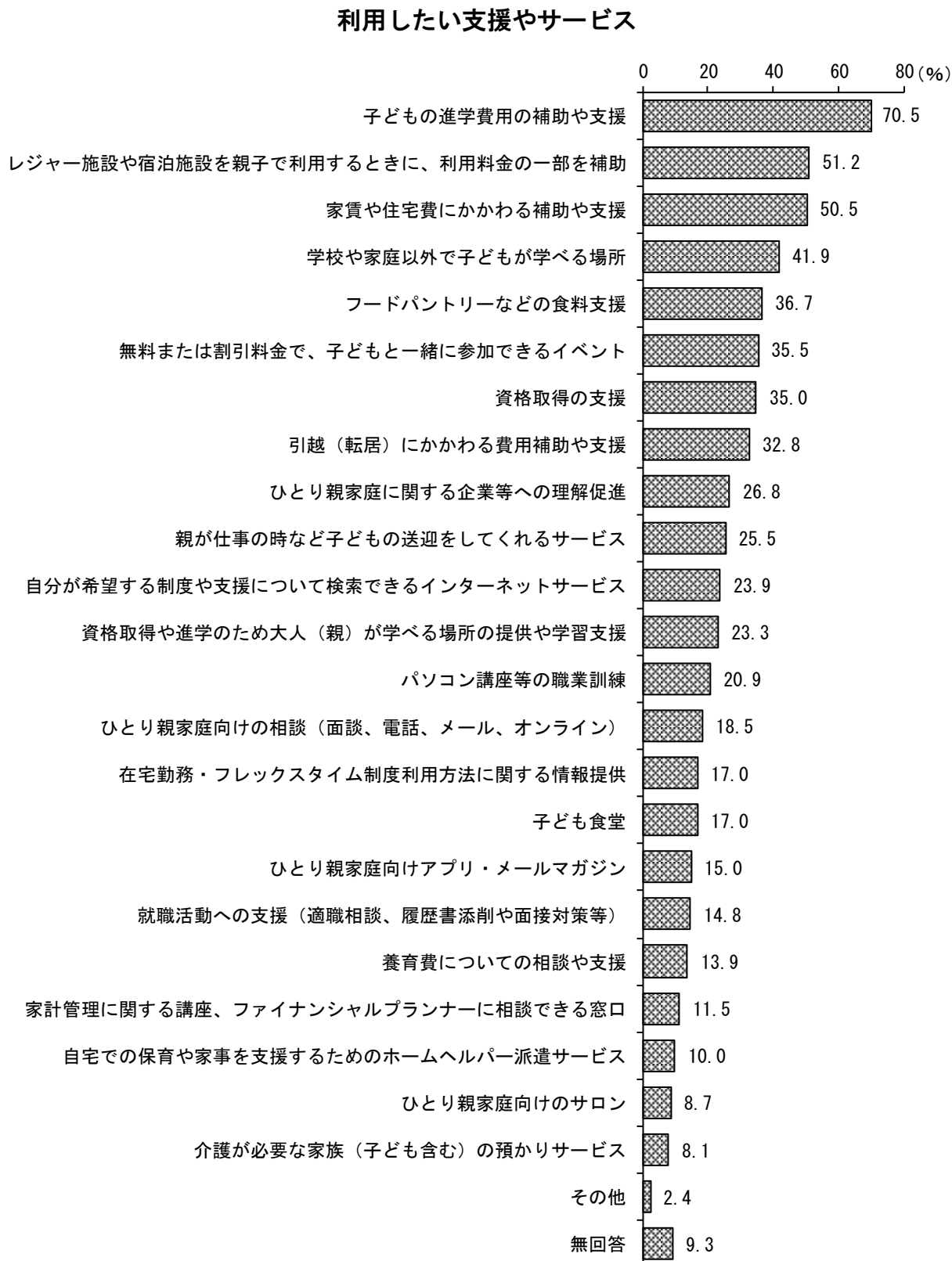
足立区ひとり親家庭の
暮らしに役立つ応援アプリ・
豆の木メール



上位6位について、年齢別にみると、【50歳以上】は「あだち広報」が34.3%、「テレビ」が26.7%と、他の区分に比べ、高くなっている。

(7) 利用したい支援やサービス

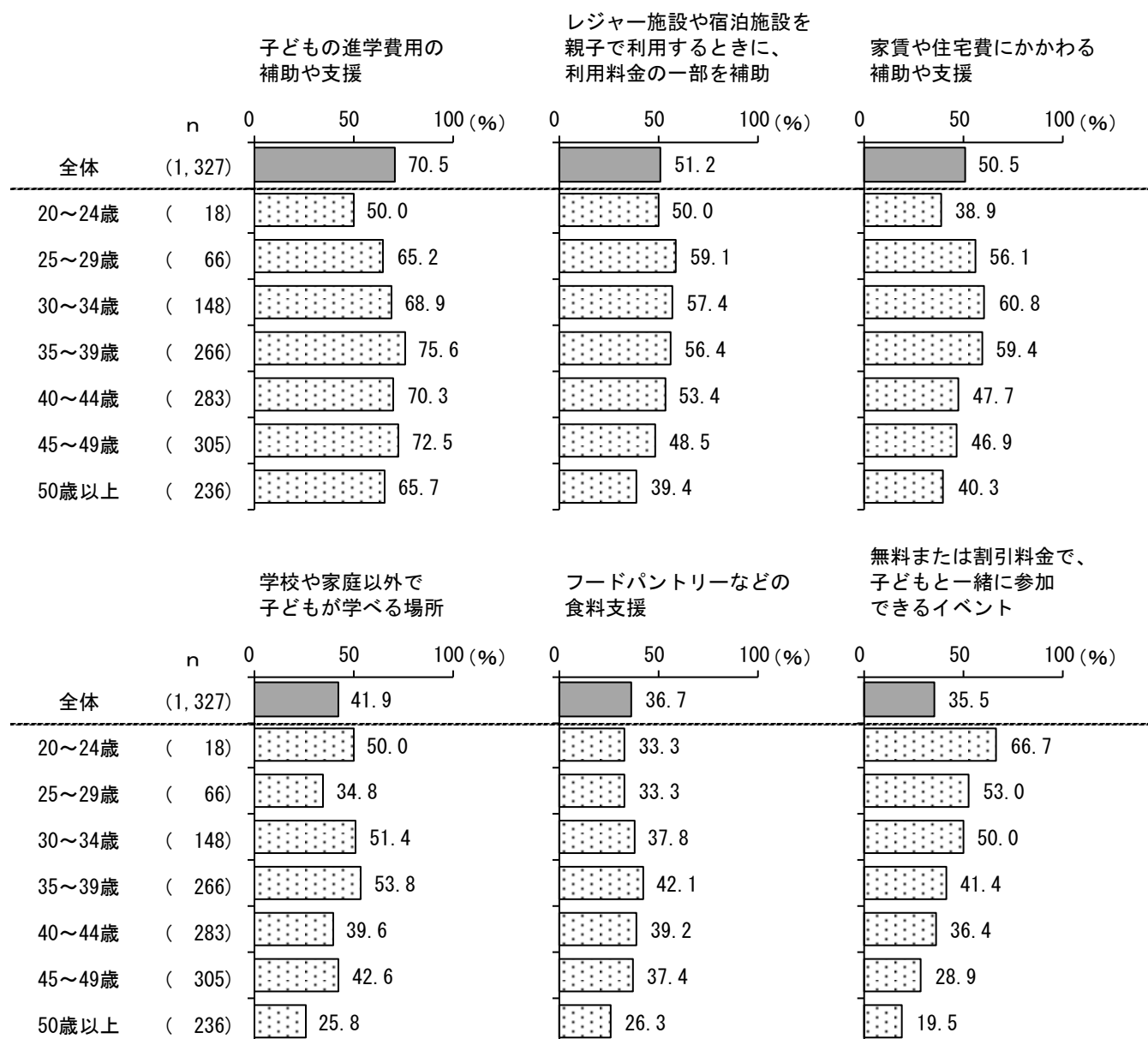
問 37. 次のような支援やサービスがあったら利用したいと思いますか（○はいくつでも）。



n = 1,327

「子どもの進学費用の補助や支援」が70.5%で最も高く、次いで「レジャー施設や宿泊施設を親子で利用するときに、利用料金の一部を補助」が51.2%、「家賃や住宅費にかかわる補助や支援」が50.5%、「学校や家庭以外で子どもが学べる場所」が41.9%と続いている。

利用したい支援やサービス (上位6位)【年齢別】



上位6位について、年齢別にみると、「家賃や住宅費にかかわる補助や支援」は【30～34歳】が60.8%と、他の区分に比べ、高くなっている。「学校や家庭以外で子どもが学べる場所」は【35～39歳】が53.8%と、他の区分に比べ、高くなっている。

7 自由意見

問 38. 最後に、区へのご意見・ご要望をご記入ください（自由記載）。

区への意見・要望を自由に記述していただいたところ、449 名から延べ 625 件のご意見などをいただいたので、その一部を抜粋して掲載する。

■手当（112 件）

- ・ 所得制限について 77 件
- ・ 支給金額について 17 件
- ・ 支給年齢について 13 件
- ・ 支払回数について 5 件

■悩み・不安・不満（116 件）

- ・ 都営住宅の防犯が悪い。
- ・ 高齢な親の介護と、障がいの家族と子育てで働けない。
- ・ 親子イベント、子ども食堂やフードパントリーなど、充実している地域とそうではない地域差を感じる。

■障がい・不登校・ひきこもり（28 件）

- ・ 障がいのある子どもの保育が足りない。
- ・ 重度の障がいの子どもの預かり時間が短く、働く時間が少ない。

■提案・意見（217 件）

- ・ 目標は自立だが、子どもと過ごす時間が減り、子どもを我慢させることが増える。
- ・ 学童の特別延長の費用の援助等があると助かる。
- ・ 各種手続きの内容が重複しているものが多い。同時期に一度で終わらせたい。ネットでの手続きでも時間がかかるので簡潔にしてほしい。
- ・ フードパントリーで食料を配送してほしい。
- ・ 発達障がいの子どもの大きくなると、親は体力的に対応が難しい。一時預かりの年齢を超えた子どものサービスが欲しい。
- ・ 発達障がいでも通える学習サービスやサークルがあると良い。
- ・ 病児保育が増えると良い。
- ・ 不登校の子どもが大人になって自立できるまで相談や支援できる環境がほしい。
- ・ 大学進学に向けての学習支援施策があると良い。
- ・ 思春期の子どもを持つ親同士の交流の場が欲しい。
- ・ 子ども食堂を増やしてほしい。
- ・ 収入制限なしに子どもの大学進学の支援をしてほしい。
- ・ 障がいを持つ子どもの親への支援を充実してほしい。
- ・ 子どもの障がいによるおむつ費用の補助が、薬業組合のものはドラッグストアより高く購入数が少なくなる。ドラッグストアでの購入も可能にしてほしい。

- ・ 受験生チャレンジのweb申請や申請自体の簡素化を希望。
- ・ 休日出勤に子どもを預けるところがない。働いている人向けにお金以外の支援をしてほしい。
- ・ 就職活動の際、「ひとり親家庭」や「子育て中」というだけで書類選考及び面接に至らない事が多いので、企業等に理解や環境等を知ってもらう機会を得られればよいと思う。
- ・ 在宅でできる仕事の支援情報をもっと知りたい。
- ・ 区では大学の給付型奨学金制度があるが成績基準が高い。人数を絞らずに公平に、少ない金額で広く多くの人が支援を受けられるようにしてほしい。

■感謝（122件）

- ・ 子どもと一緒に区のイベントに参加したり、公園、げんき、あしすと、保育園を利用している。足立区の子育て支援が充実していてとても助かっている。
- ・ 障がいがあり、あまり働けないので、児童扶養手当や児童育成手当などのおかげで子どもも成長できた。
- ・ 資格取得制度を利用して、現在の職につけて感謝している。
- ・ ひとり親向けの支援や奨学金制度で助かった。
- ・ 足立区は他の地域に比べて、ひとり親や低所得世帯への援助制度が整っていると感じる。

ひとり親家庭アンケート調査（豆の木アンケート調査）

報 告 書

令和6年3月発行

足立区福祉部親子支援課

住 所：〒120-8510 足立区中央本町1－7－1 中央館3階

T E L：03-3880-5932

F A X：03-3880-5573